

この写真集の内容をコピー等して使用する場合は、
「東京大学農学部森林理水及び砂防工学研究室所蔵」
と明記して下さい。

東京大学森林理水及び砂防工学研究室所蔵

諸戸北郎博士収集写真集

改訂版



平成 30 年 3 月

諸戸北郎博士砂防業績研究会

表紙の写真は

大正 6 年 7 月 東京帝国大学林学科卒業アルバム

（東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林所蔵）の諸戸北郎博士

はじめに

諸戸北郎博士は、日本の近代砂防の学問及び技術の礎を築いた人物である。博士は欧州留学時から大学退官後にわたって、国内外の現場の写真を多数撮影・収集している。これらの写真を博士が整理したアルバムが、東京大学森林理水及び砂防工学教室に所蔵されている。

本研究会は、平成 24 年度に、このアルバムに収納されている写真のうち約 1,500 枚を電子データ化するとともに、地域毎などに分類整理し、写真集（冊子）とデータベースを作成した。

これらの作業においては、被写体の場所が特定できない、撮影年月日が不明、写真に付けてあるキャプションが解読できない、写真が不鮮明などの理由により分類整理が十分でない点があった。研究会は、平成 25 年度以降アルバム写真に係る文献収集、現地調査等を行ってきた。その結果、写真の場所を特定することが出来たものが多くあり、また写真相互の関係が明らかになってきた。これをふまえ、平成 24 年度の写真集について、写真の分類整理と配置を修正する必要性が生じた。

こうした状況をふまえ、文献資料として今後の使い易さに資するため、平成 24 年度に作成した写真集（以下、「初版」という）を、以下の修正等を行った改訂版を作成した。

- ・写真集の作成方針と構成は、原則として初版のものを踏襲した。
- ・写真の分類・配置は、新たに判明した知見に基づき可能な範囲で見直しをした。特に、「丹沢」、「箱根」、「伊豆半島」については、細分類も加えて見直しをした。
- ・外国の写真のキャプションは、原文を尊重しつつ、地名のカタカナ表記については当該言語の発音に出来るだけ忠実に記した。ただし、データベース表の「写真コメント」欄は原文のままとした。
- ・砂防協会の機関誌「砂防」等における関連記事を必要に応じて追加した。特に、「丹沢」、「箱根」、「静岡県」について行った。
- ・データベースにおいて、それぞれの写真の修正版での掲載ページが分かるように、データベース表に「写真集ページ」欄を追加した。
- ・写真集の本文中の写真について、データベースとの不整合を解消するため、写真 ID 番号「1334」以降のものは、順次番号を 1 つずつ繰り上げた（例：「1334」→「1333」）。なお、平成 25 年度～28 年度の報告書における写真についてデータベースを参照する際には、写真 ID 番号「1334」以降のものは、写真 ID 番号を 1 つずつ繰り上げていただく必要がある。

本改訂版が砂防に携わる関係諸氏の参考になれば幸いである。

平成 30 年 3 月

諸戸北郎博士砂防業績研究会
代表 西本晴男

まえがき

諸戸北郎博士は日本の近代砂防の学問及び技術の礎を築いた偉大な人物である。博士は 1912（明治 45）年から 1934（昭和 9）年までの永きにわたり東京帝國大學森林理水及び砂防工学の教授の職にあった。教授就任直前にはオーストリア及びフランスに留学し当時の砂防の最先端の研究と技術を学び、帰国後は日本の砂防研究と技術の最高権威として活躍した。

博士は欧州留学時から大学退官後にわたって現場の写真を多数撮影収集しており、膨大な量のアルバムとし現東京大学森林理水及び砂防工学教室に所蔵されている。写真の撮影時期と場所は、1900~1910 年頃のオーストリアハンガリー帝國の写真、大正時代から昭和一桁までの日本と朝鮮半島の写真となっている。写真の内容は、砂防・治山施設、森林量水試験地、山地の荒廃状況、荒廃河川の土砂流出状況、大学演習林での学生砂防実習、林業地域での集材・運材作業など当時の砂防関係の研究・技術を知る上での貴重なものが数多くある。また、建物の様式、人物の服装など写真から当時の文化の一端に触れることもできる。

このように諸戸博士の写真は、学問上においても技術史上においてもきわめて貴重なものである。「諸戸北郎博士砂防業績研究会」は今後の研究と技術の検討に資するため、まずこれらの写真の電子データ化を行い、次にデータベースを作成し DVD に収録し関係者の供覧に資することができるようにした。さらに写真の分類整理を行い、本小冊子としてとりまとめた。

写真の整理にあたっては、東大演習林、東京都水源林、関東大震災後の丹沢地区など、撮影箇所が明確なものについては特定地域としてひとまとめにし、溪流の位置図やコメントを付けた。これらについては鈴木雅一教授の知見もふまえながら行った。また、オーストリアの写真については、西本が 2012 年 9 月にオーストリアで実施した現地調査において撮影箇所を特定できたものについて、当時と現在の状況比較を行った。ただし、この整理については当座気が付いたところについて行ったものであり、今後様々な視点で整理をしていく必要がある。

本冊子の写真について、関係各位からの情報提供を期待するところである。平成 26 年度は、新たな情報等をもとに、地区毎や災害イベント、演習林などのトピック毎に写真を整理する予定である。

平成 25 年 3 月

諸戸北郎博士砂防業績研究会
代表 西本晴男

諸戸北郎博士砂防業績研究会会員名簿

代表	西本 晴男	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境防災学講座 教授
副代表	鈴木 雅一	東京大学 名誉教授 (元東京大学大学院 森林理水及び砂防工学研究室 教授)
	小山内信智	北海道大学大学院 農学研究院 国土保全学研究室 特任教授
	執印 康裕	宇都宮大学 農学部森林科学科 教授
	堀田 紀文	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
	三上 幸三	広島県土木建築局長
	田中 延亮	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 生態水文学研究所 助教
	椎葉 秀作	国土交通省天竜川上流河川事務所長
	中矢 洋明	国土交通省中国地方整備局河川調査官
	吉村 元吾	国土交通省紀伊山系砂防事務所長
	千葉 幹	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構



諸戸北郎博士（1873-1951）
（写真：東京大学森林理水及び砂防工学研究室 所蔵）

諸戸北郎博士（1873-1951）略歴

明治 6 (1873) 年	9 月 6 日	伊勢国桑名郡桑名町 生まれ
明治 13 (1880) 年	4 月 1 日	桑名公立小學校入学
明治 20 (1887) 年	9 月 1 日	三重縣尋常中學校入学
明治 25 (1892) 年	9 月 1 日	京都第三高等中學校入学
明治 27 (1894) 年	7 月 1 日	京都第三高等中學校廃止にともない 東京第一高等學校大學豫科入学
明治 27 (1894) 年	11 月 1 日	仙台第二高等學校大學豫科に転学 (林学科を修める為)
明治 28 (1895) 年	7 月 11 日	農科大學入学
明治 31 (1898) 年	7 月 10 日	農科大學林学科卒業
明治 31 (1898) 年	8 月 11 日	大學院に入り、我國深山ノ利用法並ニ 治水事業ト森林ノ關係ニ付テ研究する
明治 32 (1899) 年	8 月 31 日	東京帝國大學農科大學助教授
明治 42 (1909) 年	1 月 30 日	壩佛留學に出発 (最初は私費留學を申し出て許可が出たが、 出発後に公費留學を認められた)
明治 45 (1912) 年	6 月 3 日	帰国
明治 45 (1912) 年	6 月 19 日	東京帝國大學農科大學教授
大正 8 (1919) 年	2 月 6 日	東京帝國大學農学部
大正 10 (1921) 年	4 月 30 日	臨時治水調査會臨時委員
大正 11 (1922) 年	4 月 17 日	平和記念東京博覽會審査官
昭和 5 (1930) 年	3 月 31 日	農学部林學實科主任
昭和 6 (1931) 年	6 月 8 日	欧米へ向け出発
昭和 6 (1931) 年	8 月 15 日	林學學第四講座擔任ヲ免ス
昭和 6 (1931) 年	11 月 12 日	帰国
昭和 6 (1931) 年	12 月 7 日	林學學第四講座擔任ヲ命ス
昭和 8 (1933) 年	1 月 6 日	東京帝國大學農學部長
昭和 8 (1933) 年	2 月 2 日	農学部林學實科主任ヲ免ス
昭和 9 (1934) 年	3 月 31 日	依頼免本官
昭和 9 (1934) 年	6 月 2 日	東京帝國大學名譽教授
昭和 26 (1951) 年	11 月 1 日	逝去

○本冊子について

諸戸北郎博士が所蔵していたアルバムの写真を、600dpi で電子データ化した後、各写真について、掲載されていたアルバム名、アルバムの欄外や写真裏に記載されていたコメント、撮影年、撮影場所等をリスト化した。(参考資料に示す)

このリストをもとに写真の DB を作成するとともに掲載写真のほぼすべてについて地域等に分類整理した本冊子を作製した。

写真の中には、不鮮明なものや内容がほぼ同じ写真もあったため、本冊子では、写真を選別し掲載した。

また、本冊子に掲載しなかった写真についても、写真 DB には収蔵している。

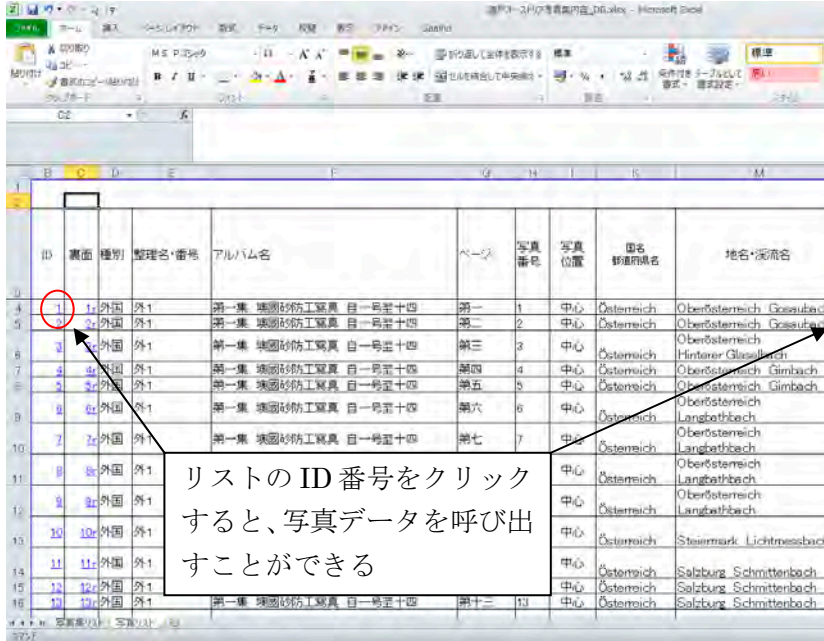
○写真 DB について

なお、本冊子の各写真には原則として右下に、写真 DB における ID 番号を記した。写真 DB では、ID 番号と各写真の電子データを関連付けさせており、ID 番号をクリックすると、写真の電子データを参照することが可能である。

Gosaubach



ID 番号

リストの ID 番号をクリックすると、写真データを読み出すことができる

ID	裏面	種別	整理名・番号	アルバム名	ページ	写真番号	写真位置	国名・郵便番号	地名・渓流名
1	1	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第一	1	中心	Österreich	Oberösterreich Gosaubach
2	2	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第二	2	中心	Österreich	Oberösterreich Gosaubach
3	3	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第三	3	中心	Österreich	Oberösterreich Hinterer Glöcklgraben
4	4	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第四	4	中心	Österreich	Oberösterreich Gimbach
5	5	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第五	5	中心	Österreich	Oberösterreich Gimbach
6	6	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第六	6	中心	Österreich	Oberösterreich Langbach
7	7	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第七	7	中心	Österreich	Oberösterreich Langbach
8	8	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第八	8	中心	Österreich	Oberösterreich Langbach
9	9	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第九	9	中心	Österreich	Oberösterreich Langbach
10	10	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第十	10	中心	Österreich	Steiermark Lichtnessbach
11	11	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第十一	11	中心	Österreich	Salzburg Schmittenbach
12	12	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第十二	12	中心	Österreich	Salzburg Schmittenbach
13	13	外国	外1	第一集 奥湖砂防工事写真 百一号至十四	第十三	13	中心	Österreich	Salzburg Schmittenbach

目 次

1. ヨーロッパ	1
・ 諸戸博士の写真と現況の比較	3
・ オーストリア	8
・ クロアチア	18
・ モンテネグロ	25
・ ポーランド	31
・ チェコ	33
・ イタリア	35
2. 特定地域・事項	44
・ 東京都水源林	44
・ 丹沢周辺	61
・ 北伊豆地震	84
・ 東大林学科	95
・ 東大愛知演習林	100
・ 東大千葉演習林	102
・ 東大富士演習林	104
・ 本科実習	106
・ 実科実習	107
・ 講習会	110
3. 都府県	118
・ 宮城県	118
・ 福島県	119
・ 東京都	124
・ 神奈川県	128
・ 新潟県	144
・ 長野県	151
・ 富山県	156
・ 岐阜県	161

・ 静岡県	162
・ 愛知県	171
・ 三重県	174
・ 滋賀県	175
・ 京都府	177
・ 兵庫県	179
・ 奈良県	183
・ 島根県	184
・ 広島県	187
・ 香川県	188
・ 鹿児島県	189
・ 県名不明	190

4. 朝鮮	196
-------	-----

5. 森林・林業	241
----------	-----

6. 人物	252
-------	-----

7. 文化	269
-------	-----

参考資料

・ 諸戸北郎博士収集写真 DB	1
-----------------	---

・ 諸戸北郎博士収集写真アルバム等カルテ	20
----------------------	----

1. ヨーロッパ

・ 諸戸博士写真と現況の比較	3
・ オーストリア	8
・ クロアチア	18
・ モンテネグロ	25
・ ポーランド	31
・ チェコ	33
・ イタリア	35

ヨーロッパの写真について

ヨーロッパの写真は、1900 年ころから 1912 年ごろに撮影されたものと思われる。その根拠は写真の中に 1899 年撮影を明記したものがあること、また諸戸博士は 1909 年~1912 年にかけてオーストリアに留学されていることによる。

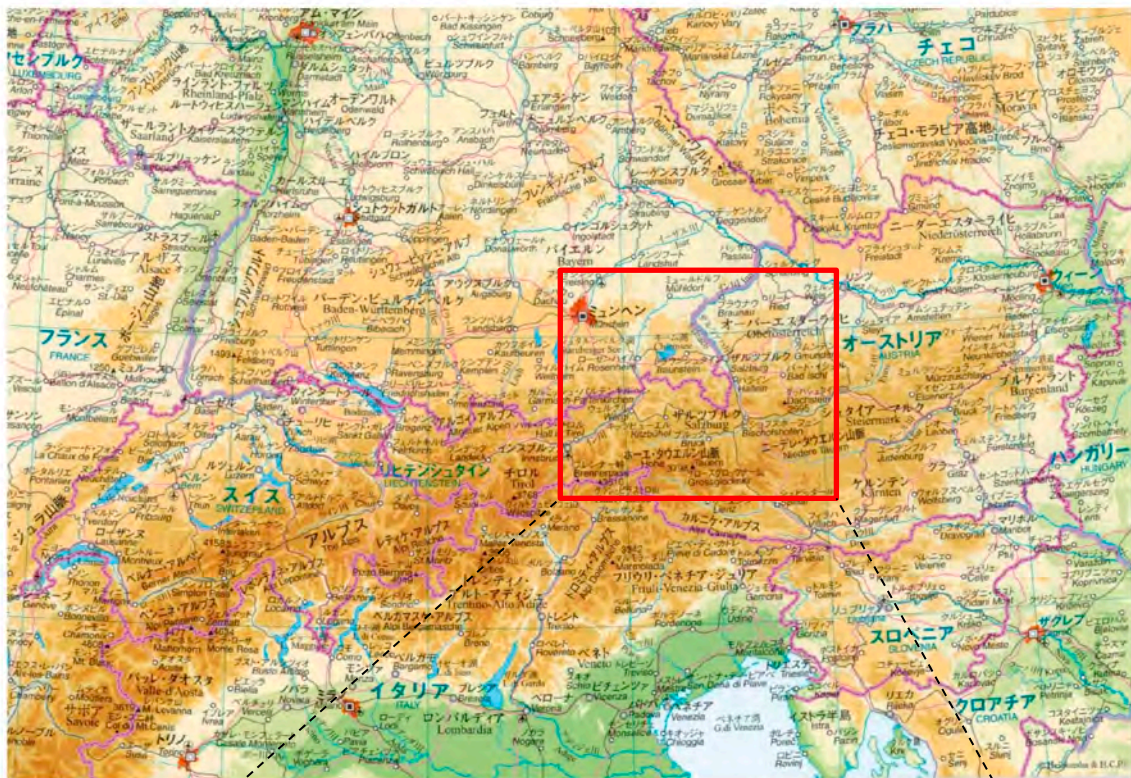
当時の国際情勢は 1867 年にオーストリア・ハンガリー二重帝国が成立し、現在のオーストリア・イタリア・クロアチア・モンテネグロ・チェコ・ポーランド・ボスニアヘルツェゴビナの一部がこれに含まれていた。諸戸博士は彼のアルバムを「奥國砂防工写真」と称している。この「奥國」とは、現在のオーストリアのみではなく、上記の国の地域も含まれている。

本冊子では、これらの写真を現在の国ごとに分類し掲載した。

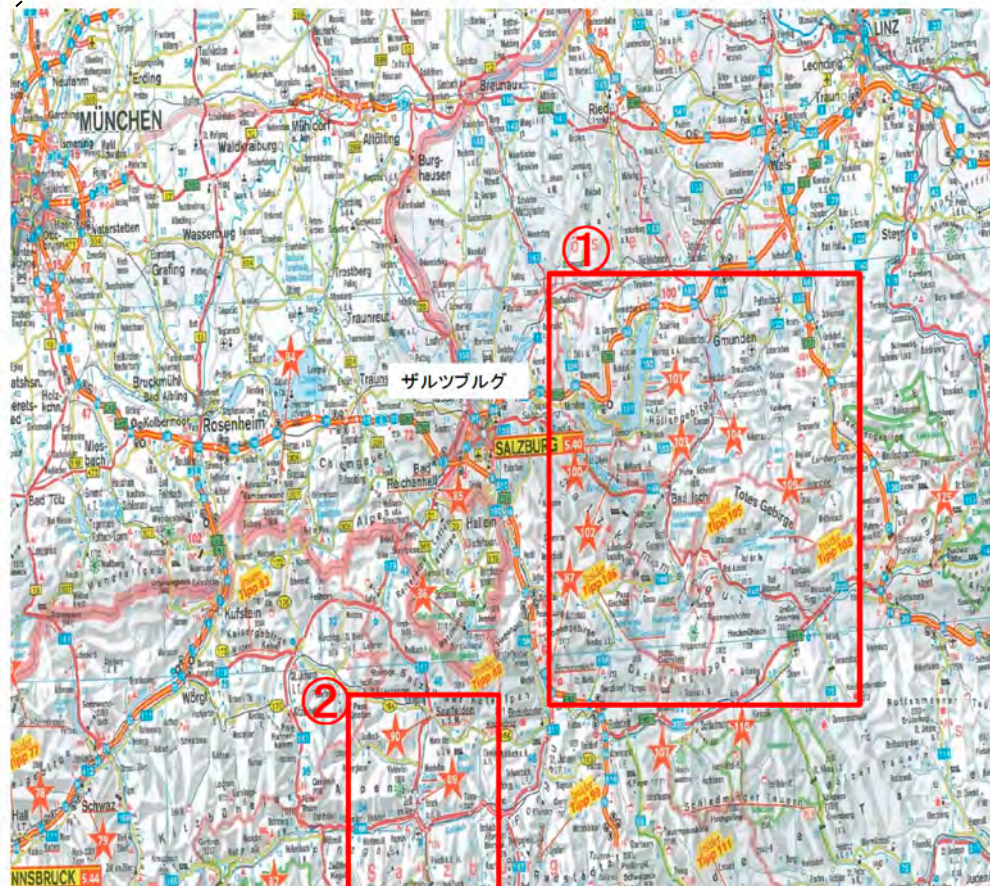
現在のウィーン農科大学にも、東京大学森林理水及び砂防工学教室所蔵の写真と全く同じ写真（ただし日本語の解説は無い）が所蔵されている。このことから、写真の撮影者は、オーストリア人であり、その際現場へ諸戸博士が同行されたものが多くあると思われる。

平成 24（2012）年 9 月に、西本がオーストリアで現地調査をし、諸戸博士の写真箇所と同一と特定できたものについて、両時期の写真比較を行った。この調査についてはウィーン農科大学ヒューブル（Hübl）教授の協力を頂いた。

諸戸博士の写真と現況の比較



ザルツブルグ周辺位置図



① Langbahtbach, Gosaubach, Gimbachの位置図



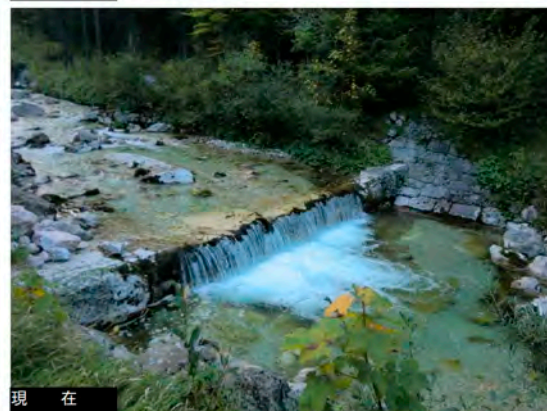
○ :Bad Ischl市にある
Langbahtbach,
Gosaubach, Gimbach
などを管理している
事務所

正式名:
WILDBACH-UND
LAWINENVERBAUUNG
Gebietsbauleitung
Zalzkammergut
(ザルツカメルグット砂防・
雪崩対策地方建設管理
事務所)

Langbahtbach (ラングバートバッハ) 中流部



- ・1899年に560mm/72hrの降雨で土石流災害が発生した(下流部写真参照)。
- ・災害後施工された砂防堰堤群は大きな変状もなく立派に機能している。
- ・2010年に386mm/36hrの降雨があったが、砂防堰堤群の効果で災害は発生しなかった。



Langbahtbach下流部

1900年当時



1899年の土石流災害の被害状況

現在

※後ろの山の形に注目

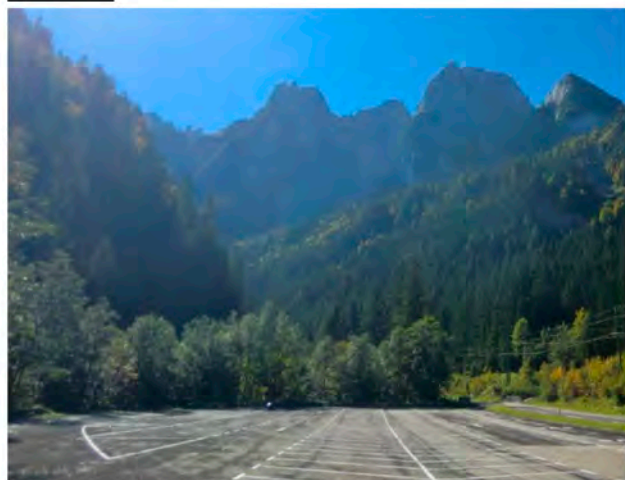


Gosaubach(ゴザウバッハ) 第二号堰堤附近と源頭部

1900年当時



現在



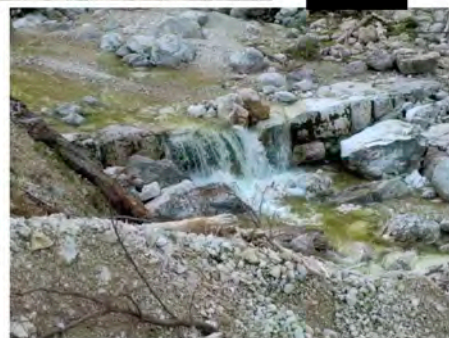
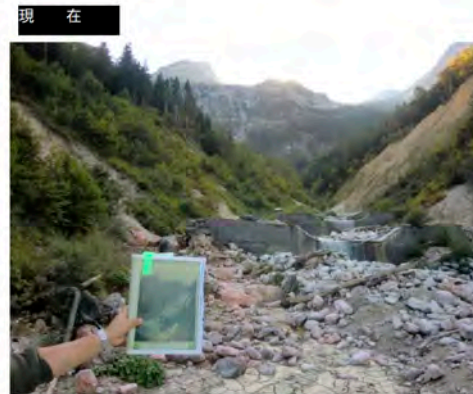
駐車場の左方にGosaubachの第二号堰堤がある。

Gosaubach第二号堰堤



諸戸博士アルバム中の写真(1904年)箇所(2号堰堤)を確認

Gimbach



- ・左岸崩壊地の形状から諸戸博士アルバムの写真箇所を確認
- ・2002年、2004年、2006年、2008年、2010年に大規模な土石流が発生した、現在も流出土砂量が多い荒廃溪流である。
- ・右の写真の砂防堰堤は、1900年頃施工のものである。

② Schmittenbachの位置図



○ Zell am See市にある
Schmittenbachなどを
管理している
事務所

正式名：
WILDBACH-UND
LAWINENVERBAUUNG
Gebietsbauleitung Pinzgau
(ピンツグアウ砂防・雪崩
対策地方建設管理事務所)

Scmittenbach104号堰堤

1900年当時



現在



堰堤の
銘版

○の部分と同
じである。

現在



104号堰堤位置

Österreich (オーストリア)

Oberösterreich

Gimbach



第四 上奥邦 ギム溪砂防設備以前ノ状態

4

Gimbach vor der Verbauung
上奥邦「ギム」溪砂防設備以前ノ状態



第五 上奥邦 ギム溪第十號石堰堤ノ築設中

5

Gimbach Sperre 10 in Bau
上奥邦「ギム」溪第十号石堰堤ノ築設中

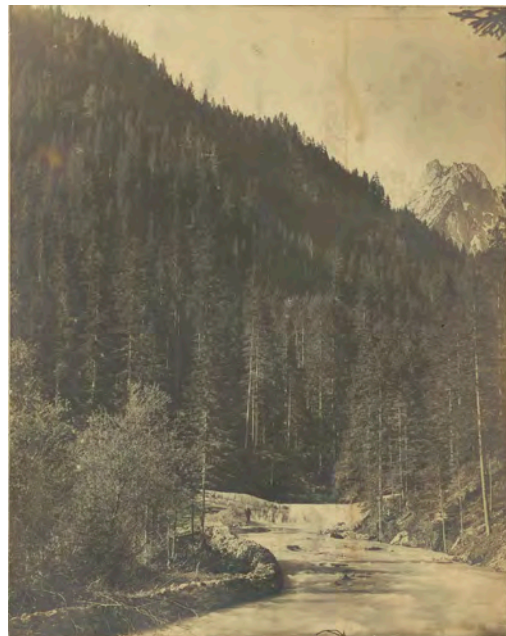
Gosaubach



第二 上奥邦 ゴザウ主溪第二號石堰堤

2

Gosau Hauptbach Sperre 2
上奥邦「ゴザウ」主溪第二号石堰堤



第一 上奥邦 ゴザウ主溪第一號石堰堤

1

Gosau Hauptbach Sperre 1
上奥邦「ゴザウ」主溪第一号石堰堤

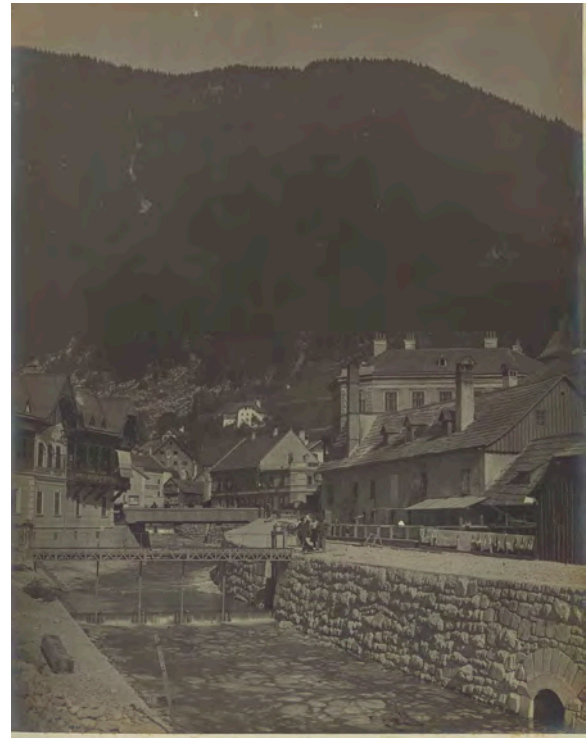
Langbahtbach



第六 上奥邦「ラングバード」河ノ治水及「ウエルツミューレル」堤

6

Langbahtbach Regulierung mit Wirtsmüllerwehr
上奥邦「ラングバード」河ノ治水及
「ウエルツミューレル」堤



第七 上奥邦「ラングバード」河ノ「サリー子ン」堤

7

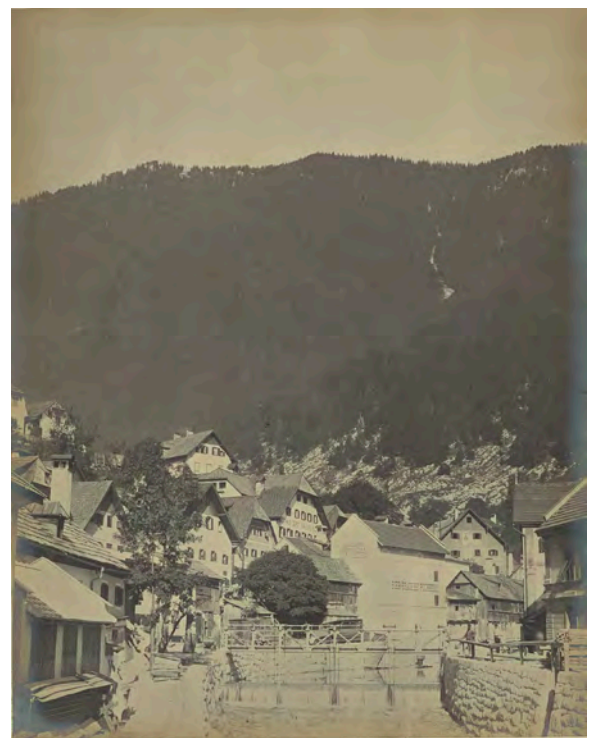
Langbahtbach Regulierung mit Salinenwehr
上奥邦「ラングバード」河ノ「サリー子ン」堤



第八 上奥邦「ラングバード」河千九百年ニ於ケル舊「ウエルツミューレル」堤

8

Langbahtbach
上奥邦「ラングバード」河千九百年ニ於ケル旧
「ウエルツミューレル」堤



第九 上奥邦「ラングバード」河千九百一年新築ノ第二「ウエルツミューレル」堤

9

Langbahtbach neues Wirtsmüllerwehr 1901
上奥邦「ラングバード」河千九百一年新築ノ
第二「ウエルツミューレル」堤



第二 上奥州「ラングバード」溪千八百九十九年ノ洪水後ノ景

16

Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪千八百九十九年ノ洪水後ノ景



第三 上奥州「ラングバード」溪沿岸「エーペンゼー」ニ於ケル千八百九十九年ニテ家屋ノ破壊

17

Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪沿岸「エーペンゼー」ニ於ケル千八百九十九年ニテ家屋ノ破壊



第四 上奥州「ラングバード」溪沿岸「エーペンゼー」ニ於ケル千八百九十九年ニテ家屋ノ破壊

18

Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪沿岸「エーペンゼー」ニ於ケル千八百九十九年ニテ家屋ノ破壊



第五 上奥州「ラングバード」溪砂防工ノ起工

19

Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪砂防工ノ起工



Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪
千八百九十九年ニ破壊セラレシ
「ウェーレルスツープン」橋

20



Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪千九百一年ニ
新造セシ「ウェーレルスツープン」橋

21



Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪ノ
千九百年ニ於ケル砂防工

22



Langbahtbach
上奥州「ラングバード」溪工事区
第八区ヨリ第十五区ニ至ル間ノ砂防工

23

Almbach



第一 上奥州「グリューネン」附近「アルム」溪ノ治水工事 15
Grünau Almbach
上奥州「グリューネン」附近「アルム」溪ノ治水工事

Hinterer Glaselbach



第三 上奥州「ゴザウ」溪ノ階段工事 3
Gosau Abtreppung im hinteren Glaselbach
上奥州「ゴザウ」溪ノ階段工事

Salzburg

Mur



第十四 サルツブルク「邦」溪ノ治水工 27
Mur Lungau
「サルツブルク」邦「ムル」溪の治水工



第十三 サルツブルク「邦」溪ノ治水工 28
Mur Lungau
「サルツブルク」邦「ムル」溪の治水工

Schmittenbach



第十一 サルツブルグ州シュミッテン溪砂防設備起工時ノ状態

Schmittenbach Salzburg
「ザルツブルク」州「シュミッテン」
溪砂防設備起工時ノ状態



第十五 サルツブルグ邦シュミッテン溪ノ砂防工

Schmittenbach Salzburg
「ザルツブルク」邦「シュミッテン」溪ノ砂防工事



第十六 サルツブルグ邦シュミッテン溪ノ砂防工

Schmittenbach Salzburg
「ザルツブルク」邦「シュミッテン」溪ノ堰堤
(堰堤左岸側に「104」の銘板あり)



第十七 サルツブルグ 邦「シュミッテン」溪ノ砂防工
Schmittenbach
「サルツブルク」邦「シュミッテン」溪の砂防工

29



第二十二 サルツブルグ 邦「シュミッテン」溪ノ砂防工事
Schmittenbach
「サルツブルク」邦「シュミッテン」溪の砂防工

31



第十八 サルツブルグ 邦「シュミッテン」溪ノ砂防工
Schmittenbach
「サルツブルク」邦「シュミッテン」溪の砂防工

30



第十三 サルツブルグ 邦「シュミッテン」溪ノ堰堤
Schmittenbach
「サルツブルク」邦「シュミッテン」溪の砂防工

32

Obersulzbach



Obersulzbach
「ザルツブルク」邦「オーベルスルツ」溪
「ノユスペーン」堰の築造中

14

Niederösterreich

Kirchschlag



Kirchschlag/ Zöbernbach
下奥州「キルヒシュラーグ」ニ於ケル
「ツェーベルン」溪ノ治水工

24



Kirchschlag/ Zöbernbach
下奥州「キルヒシュラーグ」ニ於ケル
「ツェーベルン」溪ノ治水工

25



Kirchschlag/ Zöbernbach
下奥州「キルヒシュラーグ」ニ於ケル
「ツェーベルン」溪ノ治水工及堰

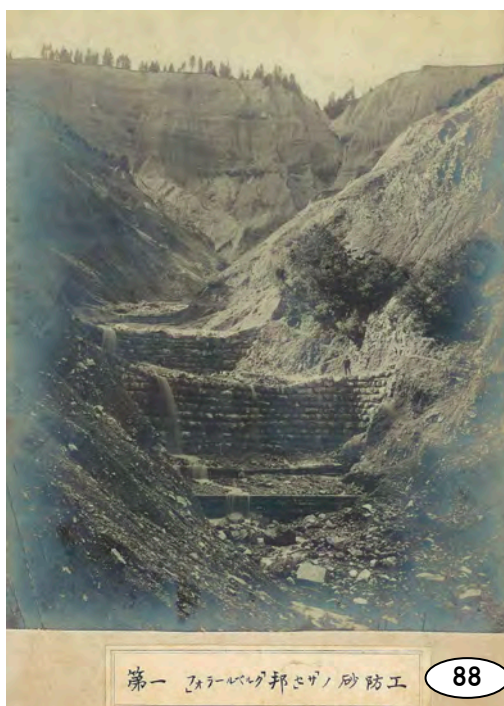
26

Steiermark Lichtmessbach



Steiermark, Lichtmezbach
「スタイエルマルク」邦
「リヒトメス」溪階段工事

Vorarlberg Schesatobel



Verbauung der Schesa
「フォアールベルグ」邦「セサ」ノ砂防工



Lawinenverbauung bei Langen, Vorarlberg
「フォアールベルグ」邦「ランゲン」附近ノ雪崩防御工

Kroatien (クロアチア)

Dalmatien

Mahnitas



Dalmatien Wildbach "Mahnitas"
bei Knin, Mittellauf vor der
Verbauung
「マーニタス」溪砂防工事以前
中流ノ景

第三 マーニタス 溪砂防工事以前中流ノ景

54



Dalmatien Wildbach "Mahnitas"
bei Knin, Mittellauf nach der
Verbauung / Thalsperre Nr. 35,
36, 37 und 38
「マーニタス」溪砂防工事竣工
後ノ景

55



Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Thalsperre Nr. 35 und
Arbeiterschaft
「マーニタス」溪第三十五号
石堰堤及ヒ勞力者

56



Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Correction im Mittellaufe,
Beiderseitige Leitwerke und
1.0 m hohe Traversen Nr. 29,
30 im Cementmauerwerk
「マーニタス」溪中流ノ工事

57



Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" Bei Knin,
Thalsperre Nr. 31 in
Hauptbache
「マーニタス」溪第三十一号
石堰堤

58



Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin, Fertige
Thalsperre Nr. 33, sammt
bergseitigem linksufrigem
Leitwerke
「マーニタス」溪第三十三号
石堰堤

59



第九 マーニタス溪第三十三号石堰堤築設中

60

Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Thalsperre Nr. 33 im Baue
「マーニタス」溪第三十三号
石堰堤築造中



第十 マーニタス溪第四十号石堰堤

61

Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Thalsperre Nr. 40 und
bergseitiges, linksufriges
90 m langes Leitwerk
「マーニタス」溪第四十号
石堰堤



第十一 マーニタス溪第五十七号石堰堤

62

Dalmatien Wildbach "Mahnitas"
bei Knin; Thalsperre Nr. 57 im
Seitenarme "Ivaz" mit den
bergseitigen Längsgraßbauten
als Uferschutz
「マーニタス」溪第五十七号
石堰堤



第十二 「マーニタス」溪第五十八號及第五十九號石堰堤

Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Thalsperre Nr 58 und 59 im
Seitenarme "Ivaz" im
Cementmauerwerk
「マーニタス」溪第五十八号
及第五十九号石堰堤

63



第十三 「マーニタス」溪第六十號石堰堤

Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
Thalsperre Nr 60 im
Seitenarme "Ivaz" im
Cementmauerwerk
「マーニタス」溪第六十号
石堰堤

64



第十四 「マーニタス」溪第六十九號石堰堤

Dalmatien Wildbach
"Mahnitas" bei Knin;
verbauter Seitenarm "Ivic" /
Thalsperre Nr. 69 - Weiden
und Akazienpflanzungen
「マーニタス」溪第六十九号
石堰堤

65



第十五 「マーニタス」溪。底張石工建設中ノ景

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin; Cünetten-Endstück im Bau
「マーニタス」溪ニ於ケル
底張石工築設中ノ景

66



第十六 「マーニタス」溪。底張石工建設中ノ景

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin; 1300 m Thallaufcünette
「マーニタス」溪ニ於ケル底張石工
竣工後ノ景
(底張石工ノ長千三百「メートル」)

67



第十七 「マーニタス」溪上流砂防工事以前ノ景

68

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin;
「「マーニタス」溪上流砂防工事以前ノ景



第十八 「マーニタス」溪上流砂防工事竣工後ノ景

69

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin;
「「マーニタス」溪上流砂防工事竣工後ノ景



第十九 ベトリ子⁷域ニ於ケル草堰堤工

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin;
「ベトリ子」域ニ於ケル草護岸工

70



第二十 ベトリ子⁷域ニ於ケル草護岸工

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin;
「ベトリ子」域ニ於ケル草護岸工

71



第九 ダルマチクエン⁷邦「マニタス」溪砂防設備以前ノ景

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin;
Oberlauf des Seitenarmes "Ivic" vor der
Verbauung
「ダルマチクエン」邦「マニタス」溪砂防設備
以前ノ景



第十 ダルマチクエン⁷邦「マニタス」溪砂防設備以後ノ景

Dalmatien Wildbach "Mahnitas" bei Knin; Oberlauf
des Seitenarmes "Ivic" nach der Verbauung/
Thalsperre Nr. 72, 73
「ダルマチクエン」邦「マニタス」溪砂防設備
以後ノ景

Makose



Dalmatien Wildbach "Makose" bei Ragusa / Consolidierung von Bruchterrain durch Sickerschlitzte und Künettenherstellungen
「マコセ」溪ノ砂防工（漏水ロヲ設ケ底張石工ヲ設ケテ河底ヲ固ムル工事）

44

Potocina



Dalmatien, Wildbach "Potocina" in Bol auf der Insel Brazza (kroatisch: Brac), vor der Verbauung/ Aufgenommen von der Bergseite
「ポトチナ」溪砂防工事以前ノ景



Dalmatien, Wildbach "Potocina" in Bol auf der Insel Brazza (kroatisch: Brac), nach der Verbauung
「ポトチナ」溪砂防工事竣工後海上ヨリ写シ得タル景
（張底石工ノ長サ八百六十「メートル」）

34



Dalmatien, Wildbach "Potocina" in Bol auf der Insel Brazza (kroatisch: Brac), nach der Verbauung/ Aufgenommen von der Bergseite
「ポトチナ」溪砂防工事竣工後山上ヨリ写取リタル景

35

Montenegro (モンテネグロ)

Krimalj



第四 「クリマリユ」溪砂防工事以前ノ中流ノ景

Mittellauf vor der Verbauung
/ Krimalj
「クリマリユ」溪砂防工事以前
ニ於ケル中流ノ景

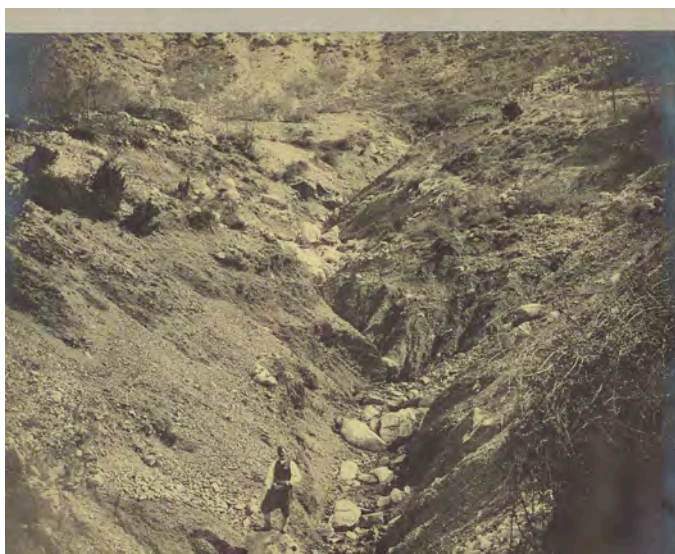
36



第五 「クリマリユ」溪砂防工事竣工後ノ景

Mittellauf vor der Verbauung
/ Krimalj
「クリマリユ」溪砂防工事竣工
後ノ景

37



第六 「クリマリユ」溪ハニチノ國内ノ部分ノ砂防工事以前ノ景

Wildbach "Krimalj" in
Montenegro / Wildbachstrecke
oberhalb der Grenze vor der
Verbauung
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」
国内ニ於ケル部分ノ砂防工事以前
ノ景

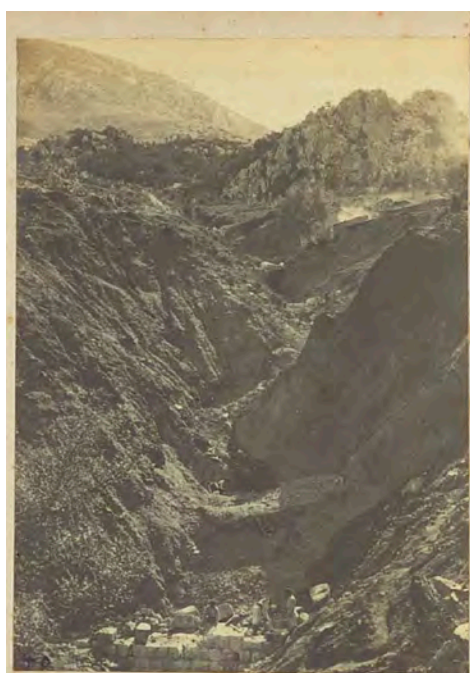
38



第ニ「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

39

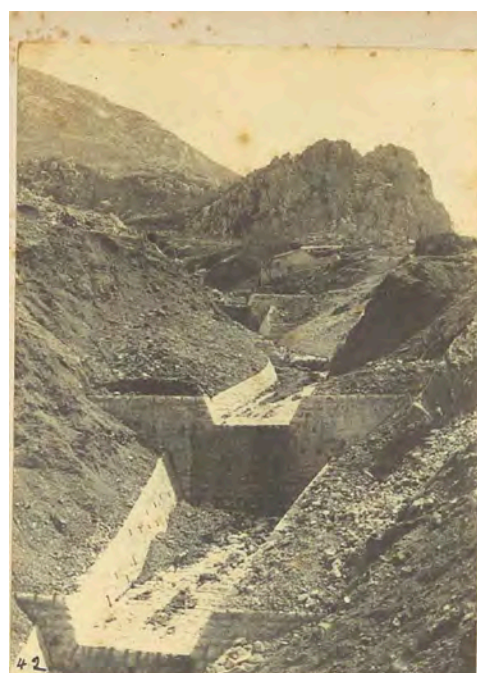
Wildbach "Kriminalj" in
Montenegro / Wildbachstrecke
oberhalb der Grenze vor der
Verbauung
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」
国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工
後ノ景



第ニ「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

40

Kriminalj / Montenegro
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内
ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景



第ニ「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

42

Kriminalj / Montenegro
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内
ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景



第九 クリマルジ溪モンテネグロ国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

Krimalj / Montenegro
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内
ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

41



第十一 クリマルジ溪モンテネグロ国内ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景
(下流ニ於ケル七百五十二メートルノ底層石工)

Krimalj / Montenegro
「クリマリユ」溪「モンテネグロ」国内
ニ於ケル部分ノ砂防工事竣工後ノ景

43

Zvironjak



第二十一 ツヴィロニャク溪石堰堤

72

Zvironjak / Montenegro
「ズヴィロニャック」溪石堰堤

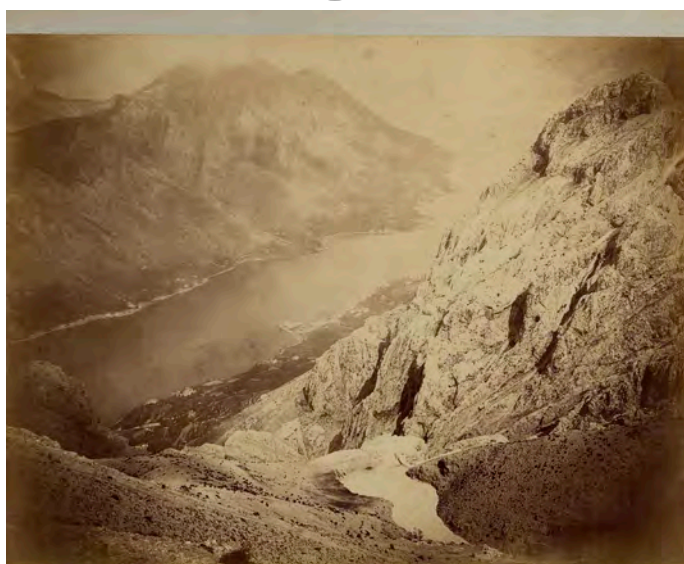
Škurda



第十三
「スクルダ」溪上流ノ砂防工事以前ノ景

Wildbach "Škurda" in Montenegro/ Oberlauf vor der Verbauung
「シュクルダ」溪上流ノ砂防工事以前ノ景

45



第十四
「スクルダ」溪第一號石積堰堤周圍ノ景

Škurda/Thalsperre Nr. 1 (?) Mit theilweiser Verlandung
「シュクルダ」溪第一號石積堰堤周辺ノ景

46



第十五
「スクルダ」溪第一號石積堰堤

Wildbach "Škurda" in Montenegro/ Thalsperre Nr. 1 von der Bergseite gesehen und linksseitiges Leitwerk um ein Übersetzen des Wildbaches zu verhindern
「シュクルダ」溪第一號石積堰堤

47



Wildbach "Škurda" in
Montenegro/ Thalsperre Nr. 1 /
16,10 m hoch/ in
Portland-Cementmauerung
「シュクルダ」溪「セメント」
石堰堤 高十六、一〇「メートル」

第十八 スクルダ溪セメント石堰堤 高十六、一〇「メートル」

48



第十八 スクルダ溪セメント石堰堤 高十六、一〇「メートル」

49

Wildbach "Škurda" in Montenegro /
Verlandung der Thalsperre Nr. 1
「シュクルダ」溪石堰堤ニ於ケル滞留土石



第十八 スクルダ溪セメント石堰堤 高十六、一〇「メートル」

Škurda / Thalsperre Nr. 3, Leitwerk
und Leitwerk und Künette auf dem
rechtem Ufer
「シュクルダ」溪ニ於ケル第三号石堰
堤（右岸ニ導壁及底張石エヲ有ス）

50



Wildbach "Škurda" in
Montenegro, Oberlauf nach der
Verbauung/ Sprengung eines
Felskopfes welcher das Wasser
auf die rechte Bruchlehne
trieb, Leitwerke, Thalsperre
Nr.3, Brückenbau zur
Wegumlegung, welche am Bilde
nicht ersichtlich
「シュクルダ」溪上流ノ砂防工竣
工後ノ景

51

Purosras



2 km von Makarska-Hafen
entfernt, Purosras, Montenegro
「プロスラス」溪ノ砂防工事

52

2 km von Makarska-Hafen
entfernt, Purosras, Montenegro
「プロスラス」溪ノ砂防工事



53

Polen (ポーランド)

Galizien

Bistra



Galizien/ Wildbachgebiet
"Zakopane"
ガリツェン州・「ビストラ」溪
底張石工事

78



Galizien/ Wildbachgebiet
"Zakopane"
ガリツェン州・「ビストラ」溪
底張石工事

79

Dniester



第一 セイリング氏水制ノ杭堰堤

73

Galizien/ Wildbachgebieth
"Dniester"
ガリツェン州・「セイリング」氏
水制ノ杭堰堤



Galizien/ Wildbachgebiet
"Zakopane"
ガリツェン州・「ビストラ」溪
底張石工事

80

Glinsko



Galizien/ Runsengebieth "Glinsko"
「ルンセン」域造林地固工事

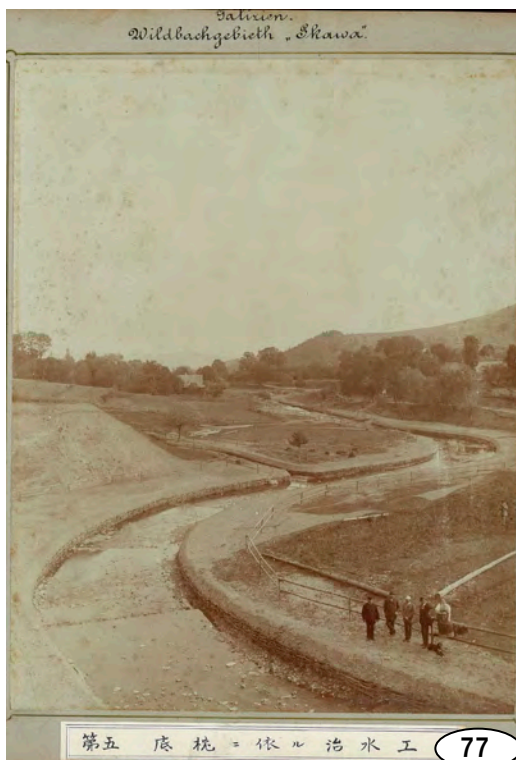
74



Galizien/ Runsengebieth "Glinsko"
「ルンセン」域造林地固工事

75

Skawa



第五 底杭ニ依ル治水工

77



Galizien/ Runsengebieth "Glinsko"
「ルンセン」域造林地固工事

76

Galizien/ Wildbachgebieth "Skawa"
底杭ニ依ル治水工

Tschechien (チェコ)

Rakonitzer Bach



Runse Nr. 1 bei Senomat 2. Baujahr
「ラコニツチエル」溪域「セノマート」
第一号支溪右方分派二年目の景

Runse Nr. 1 Bei Senomat 4. Baujahr
「ラコニツチエル」溪域「セノマート」
第一号支溪右方分派四年目の景

Bärengraben



Bärengraben; linksseitiger Zufluss der Elbe; im unverbautem Zustand
「エルベ」河左方ノ支流「ベーレン」溪工事前の景



Bärengraben; verbaute Mittellaufstrecke; mit der "Rossipalsperre"
「エルベ」河左方ノ支流「ベーレン」溪工事竣工後
中流の景



Bärengraben; verbaute Unterlaufstrecke
「エルベ」河左方ノ支流「ベーレン」溪
工事竣工後下流流の景

Italien(イタリア)

Südtirol

Getorio



Getorio-Wildbach. Tirol
「チロール」邦「ゲトリオ」溪ノ砂防工



Getorio-Wildbach. Tirol
「チロール」邦「ゲトリオ」溪ノ砂防工



Getorio-Wildbach. Tirol
「チロール」邦「ゲトリオ」溪ノ砂防工



第五 チロール 邦ノ荒溪

92

Tirol
「チロール」邦ノ荒溪



第六 チロール 邦ノ荒溪

93

Tirol
「チロール」邦ノ荒溪

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げまつてくちを
二年生ノ人工造林地

99

Karstaufforstungs - Commission
für die gefürstete Grafschaft
Görz und Gradisca; Künstliche
Aufforstung, 2 Jahre alt
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
二年生ノ人工造林地



Karstaufforstungs - Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz und
Gradisca; Künstliche Aufforstung, 2
und 6 Jahre alt
げるつ及ぐらじすの地方かるすと造林、
二乃至六年生ノ人工造林地

100



Mittellauf vor der Verbauung
げるつ及ぐらじすの地方かるすと造林、
二乃至十年生ノ人工造林地

101



Mittellauf vor der Verbauung
げるつ及ぐらじすの地方かるすと造林、
二乃至十二年生ノ人工造林地

102

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
ろ
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
地
二
乃
至
十
四
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
二乃至十四年生ノ人工造林地

103

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
ろ
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
地
四
乃
至
六
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
四乃至六年生ノ人工造林地

104

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
ろ
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
地
六
乃
至
十
六
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
六乃至十六年生ノ人工造林地

105

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
る
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
、
八
乃
至
十
四
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
八乃至十四年生ノ人工造林地

106

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
る
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
、
十
四
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
十四年生ノ人工造林地

107

Karstaufforstungs-Commission für die gefürstete Grafschaft Görz und Gradisca



げ
る
つ
及
ぐ
ら
じ
す
の
地
方
か
る
す
と
造
林
、
十
五
年
生
ノ
人
工
造
林
地

Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
十五年生ノ人工造林地

108



Karstaufforstungs - Commission
für die gefürstete Grafschaft
Görz und Gradisca; Künstliche
Aufforstung 16 Jahre alt
げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
十六年生ノ人工造林地

109



Karstaufforstungs -
Commission für die
gefürstete Grafschaft Görz
und Gradisca;
「げるつ及ぐらじすの地方
かるすと造林、
三十年生ノ人工造林地

110



とりえずと地方かるすと協会
造林地

111



かるすと協会造林地
（とりえすて地方）

112



かるすと協会造林地
（とりえすて地方）

113



とりえすて地方かるすと協会
造林地

114

とリエすて地方かるすと協会
造林地



とリエすて地方かるすと協会
造林地

115



とリエすて地方かるすと協会
造林地

116

とリエすて地方かるすと協会
造林地

とリエすて地方かるすと協会
造林地



とリエすて地方かるすと協会
造林地

117



とりえすて地方かるすと協会
造林地

118

2. 特定地域・事項

・ 東京都水源林	44
・ 丹沢周辺	61
・ 北伊豆地震	84
・ 東大林学科	95
・ 東大愛知演習林	100
・ 東大千葉演習林	102
・ 東大富士演習林	104
・ 本科実習	106
・ 実科実習	107
・ 講習会	110

東京都水源林



東京都水源林位置図

東京都水道局 <http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/water/pp/hureai/index.html> より引用

水道水源林の沿革

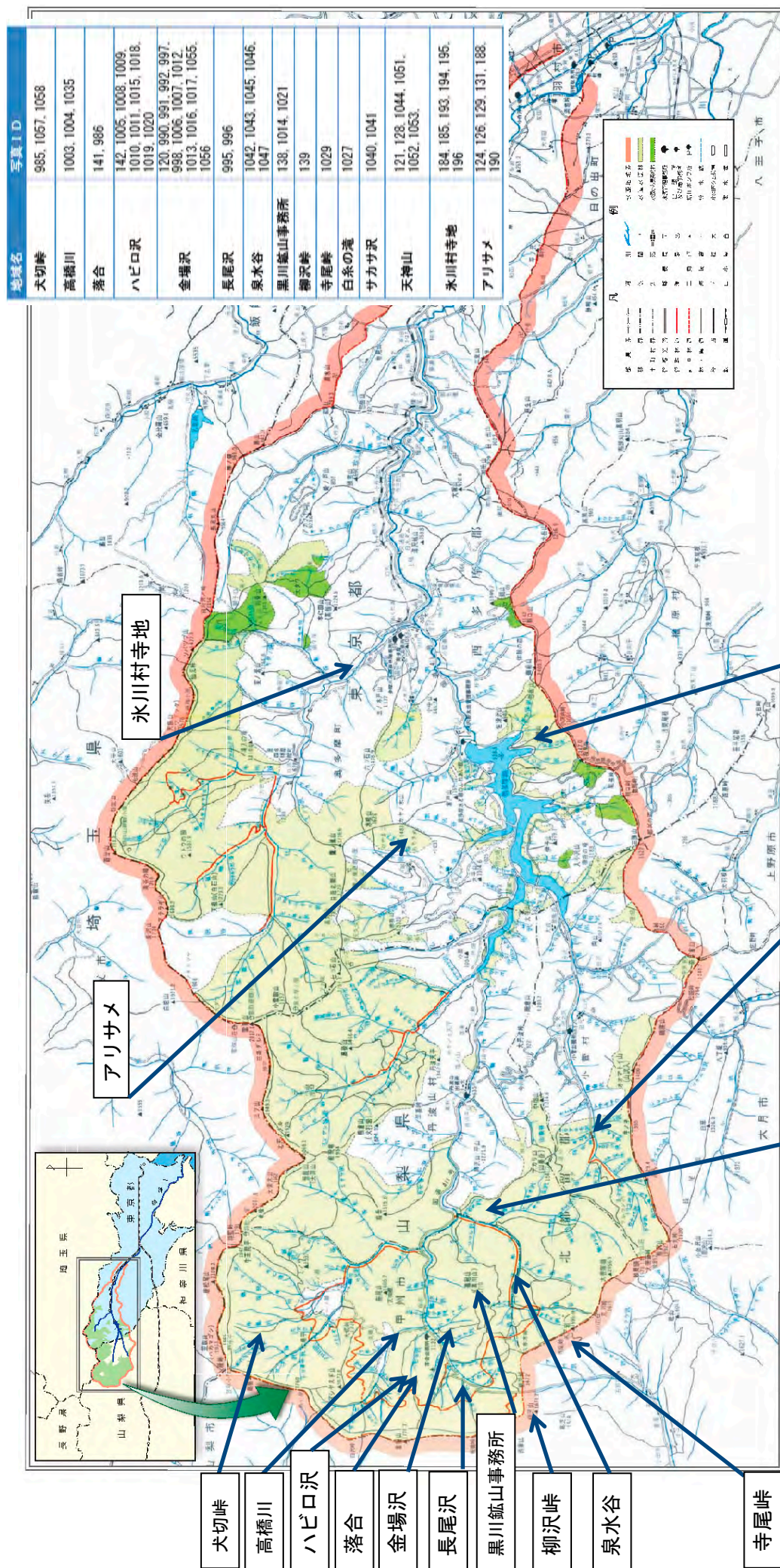
年次	西暦	内 容	所 有 者	備 考
江戸時代	～1867	多摩川上流域一帯の森林は、おおむね徳川幕府の領地に属し、地域住民は入会権 ^{※1} を持ち、生活に必要な林産物の収穫が許されていました。また、幕府直轄の「お留(止)め山」(主に御旗山)も各所にあり、おおむね良好な森林を形成していました。	徳川幕府	承応3年(1654) ・玉川上水完成
明治元 ～30年	1868 ～1897	多摩川上流域の山林は「山林原野官民有区分」により官林に編入され、その後御料林 ^{※2} に編入されたことで、従来の入会権が制約を受けることになり、農上流部等では、森林の荒廃が進行しました。	農商務省 山林局等	明治11年(1878) ・東京府更費山城 地が多摩川源 流(水千)を確保
明治34年	1901	東京府は水源地の荒廃を憂いて、山梨県丹波山村、小菅村内の約8,140ha及び日原川上流約320haの御料林を譲り受け、府自ら経営を開始しました。また、同時に日原川流域の公・私有林約5,100haを保安林に編入しました。	東京府	明治26年(1893) ・神奈川県から三 多摩地域が東京 府に編入
明治41 ～42年	1908 ～1909	水源林の荒廃は、市民への給水の義務を有する市自ら復旧すべきであるとして、尾崎行雄東京市長は調査を行い、水源地経営案を作成しました。		明治30年(1897) ・森林法発布
明治43年	1910	上記の経営案が市議会で議決され、10月に水源林事務所を開設しました。また、府内の御料林約700haを譲り受け、積極的に水源かん養林の経営に着手しました。		
明治45年	1912	山梨県萩原山(現甲州市)の恩賜国有林 ^{※3} 約5,610haと、既に府有林であった約8,460haを東京府が譲り受けました。	東京市	
大正2 ～15年	1913 ～1926	山梨県及び府内の私有林約610haを買収し、明治44年から開始した府内の公・私有林との部分林 ^{※4} 約870haを合わせ、経営面積は約16,250haとなりました。		
昭和8年	1933	日原川上流の私有林約4,780haを買収しました。	昭和18年(1943～)	
昭和25年	1950	旧古里村(現奥多摩町)の部分林約90haに同村有林約100haを加え、約190haを買収しました。		
昭和42年	1967	小河内ダム建設時に買収したダム周囲林約460haが小河内貯水池管理事務所から移管され、水道水源林はほぼ現在の形になりました。さらに数件の売却や交換等を経て、経営面積は約21,634haになりました。		昭和32年(1957) ・国立公園法は廃 止となり、自然 公園法が成立 ・小河内ダム完成
平成2年	1990	多摩川流域の水源施設の管理一元化をはかるため、水源林事務所を水源管理事務所に改組し、村山・山口貯水池及び小河内貯水池とともに、水道水源林を水源施設の一つとして管理することになりました。	東京都	
平成13年	2001	水道水源林の管理を開始してから100年を迎えました。		
平成14年	2002	多摩川水源森林隊を設立しました。		
平成18年	2006	第10次水道水源林管理計画を策定しました。		

(注) ※1 入会権(いりあいけん): 農民が肥料等の生活資材を共同で採取できる権利
 ※2 御料林(ごりょうりん): 皇室で管理していた森林
 ※3 恩賜国有林(おんしけんゆうりん): 皇室により直接に下賜された森林
 ※4 部分林: 私有地又は村有地に地上権を設定し、水道局で管理していた森林(現在はその一部を買収し、大部分は水源かん養御料林として管理しています)

東京都水道局

http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/water/pp/antei_03_rekisi.html

より引用



東京都水源林 諸戸写真撮影地 (鈴木雅一)

犬切峠



985



1057

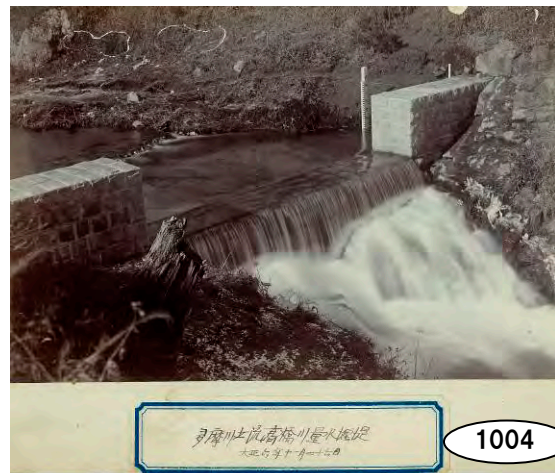


1058

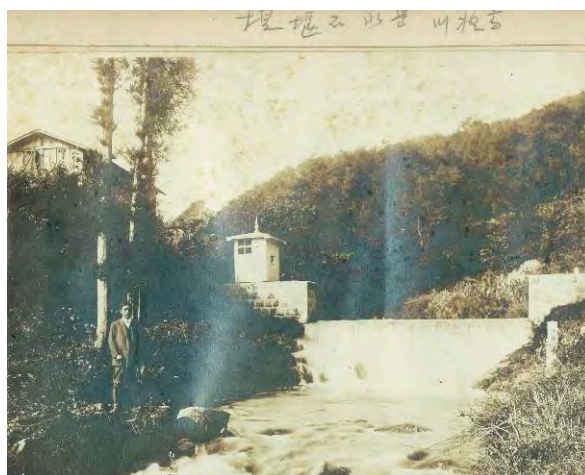
高橋川



1003



1004



1035

落合



141



(1006 と同じ量水堰堤)

986

ハビロ沢



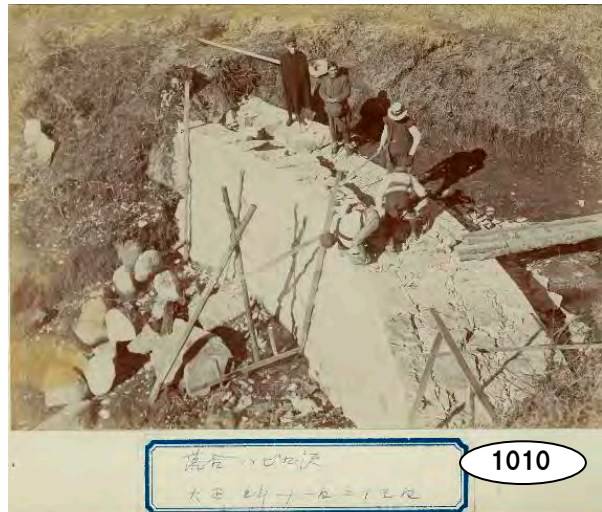
142



1005



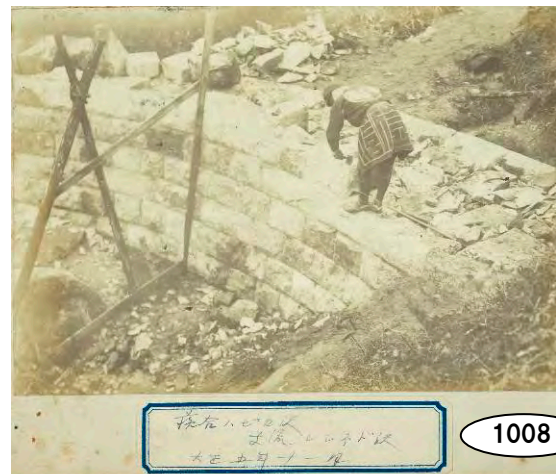
1009



1010



1015



1008



1011



1018



1020



1019

金場沢



金場沢工事途中の石壁 (大正八年九月二日)

120



金場沢工事途中の石壁

990



金場沢工事途中の石壁

991



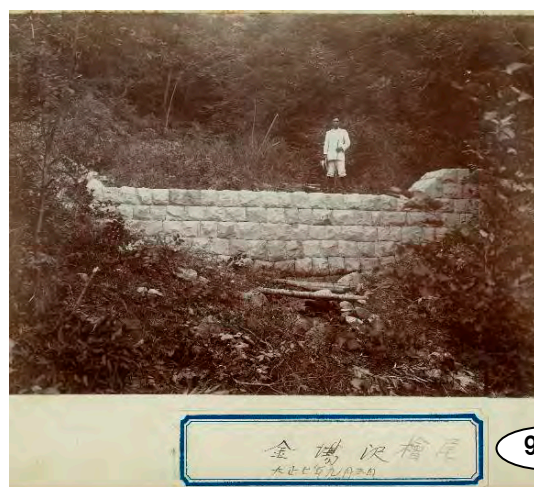
金場沢工事途中の石壁

992



金場沢

997



金場沢工事途中の石壁

998



(991 の堰堤を下流から見た写真)

1006



1007



1012



1013



1016



1017



1056



1055

長尾沢



995



996

泉水谷



1042



1043



1045



1046



1047

場所不明



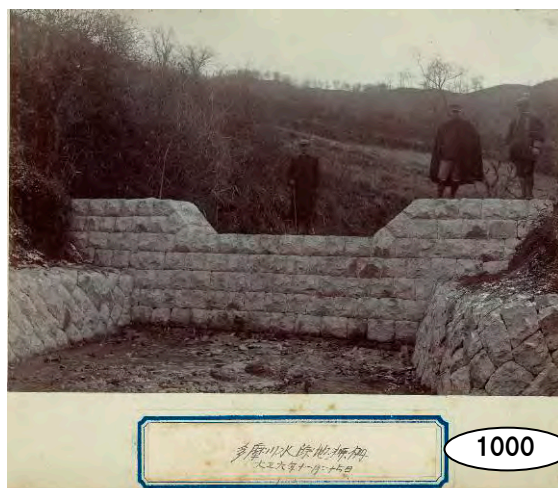
993



994



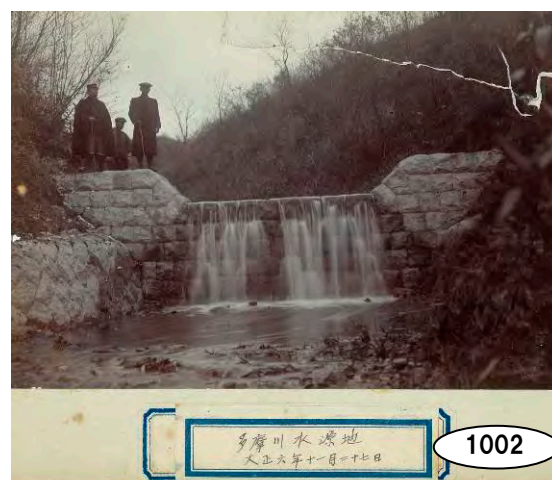
999



1000



1001



1002



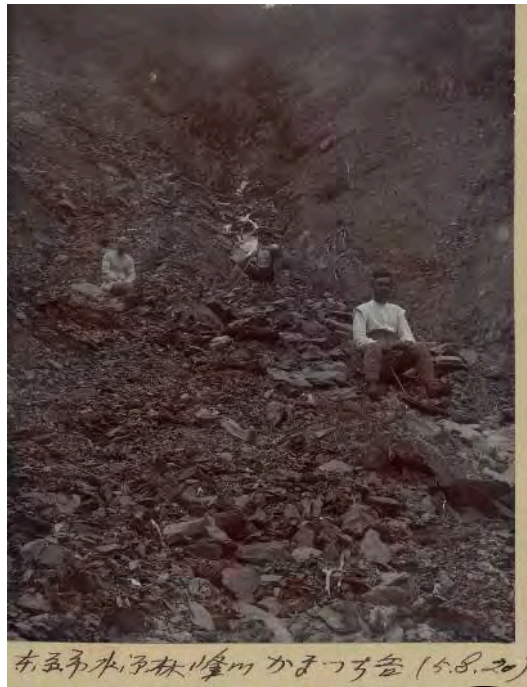
塩山杭棚工

1049



東京市小笠原町之塩山杭棚工 (明治四十二年)

132



東京市水原町之塩山杭棚工 (明治四十二年)

123



130



989

黒川鉦山事務所



138



1014



1021

柳沢峠



139

寺尾峠



1029

白糸の滝



1027

サカサ沢



1040

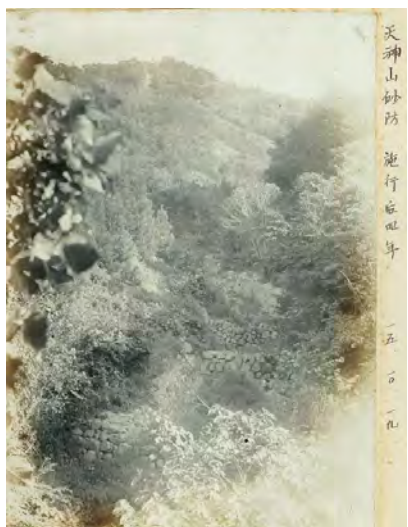


1041

天神山



1051



1052



1053



天神山、崩壊地

1044



小河次天神山 (大正五年八月廿七日)

128



小河次天神山護岸工事 (40回)

121

氷川村寺地



184



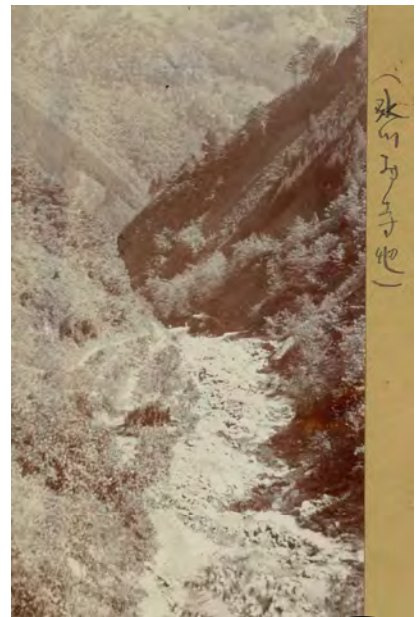
196



193



194



195



185

アリサメ



峰川あけさめ (大正五年八月二十一日)

124



あけさめ市林前堰地上部崖壁地 (大正五年)

126



峰川あけさめ市林前堰地 (大正五年八月二十一日)

129



131



190



(小幡村あけさめ 8.10.5)

188

丹沢周辺



丹沢位置図

諸戸写真アルバムには、東京水源林に次いで、丹沢山地周辺の写真が多くある。特に、現在の三保ダムの集水域の写真が多い。東京に近いことに加え、関東大震災で荒廃した後の復旧事業(治山事業)が活発に行われていたためである。

三保ダムは、酒匂川支流河内川(神奈川県足柄上郡山北町神尾田字尾崎地先)にある。ダム湖に3つの支流が流入する。西から世附川、北から中川、東から玄倉川である。

このうち世附川は流域の多くが国有林(御料林か?)で、諸戸の写真が多い。当時、世附事業区は、南側の静岡県小山町(河内川の流域外)も含んでいる。小山町の写真は、丹沢の写真と一体として扱うのが適当に思われる。

※近年、2010年と2011年にこの流域は大きい降雨があった。三保ダムの最大日雨量は、495.5mm(2010/9/8)、457.5mm(2011/7/19)である。2010年9月8日の雨では、世附川流域と小山町の両方で、斜面崩壊と土石流が発生している。

玄倉川流域の写真などで、流域単位では撮影位置がわかるが小支流単位で未特定のものは未だ記載していない。

(鈴木雅一)

神奈川県

青根

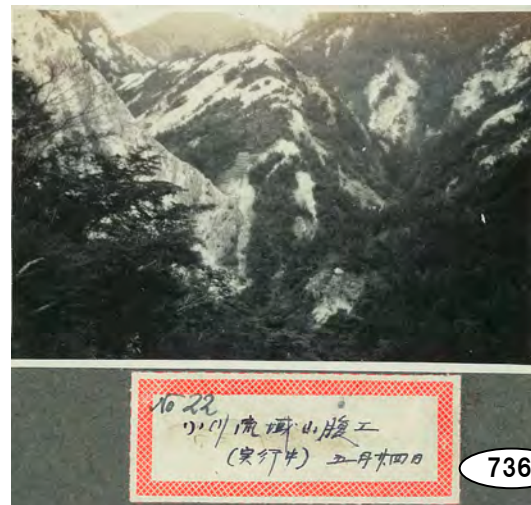


1337

小川谷



735



736

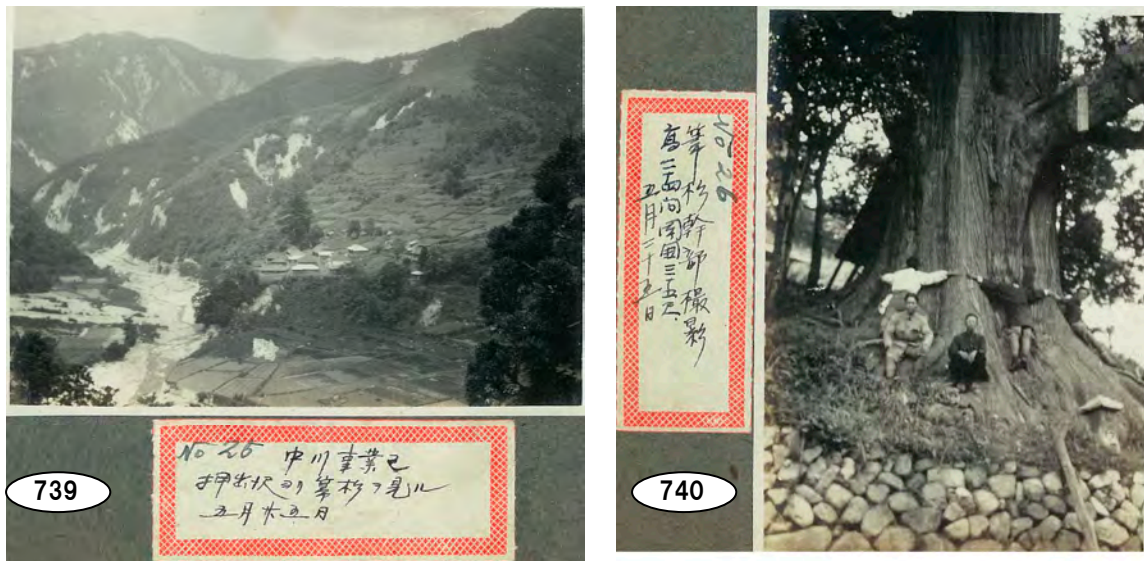


737

【昭和5年5月24日】

此れより小川に入り内務省の堰堤あり高さ10米工費25,000圓なりと其水叩きの所に3米立方のブロック二個あり
(昭和五年五月相州丹沢御料林視察旅行日記, 砂防第12号, 1930, p.32)

箒スギ

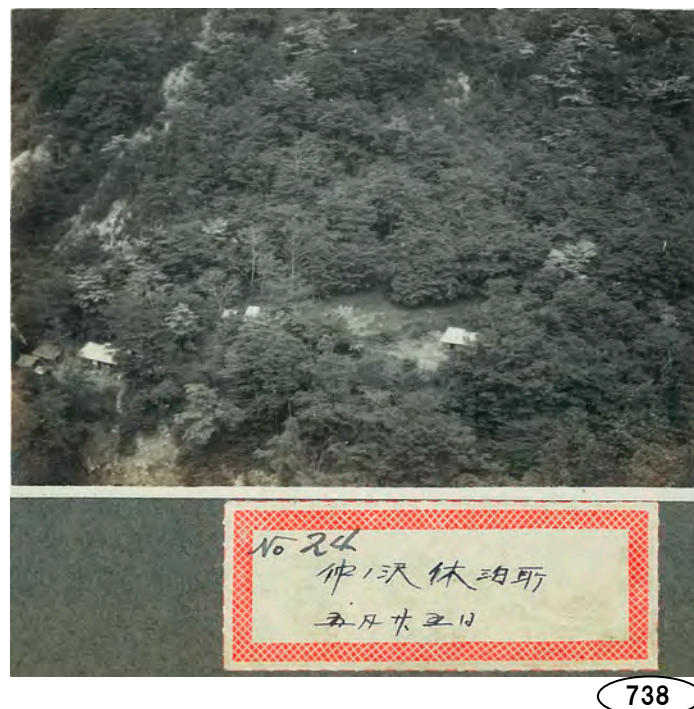


【昭和5年5月25日】

此樹は神社の境内に在りしものにて二本ありしが造道の為め一本伐り今日は一本残存す
高さ24間周囲3丈5尺あり年齢2000年と言う。

(昭和五年五月相州丹沢御料林視察旅行日記，砂防第12号，1930，p.33)

仲の沢





No.21 在附草葉已叶地、能樹
大又吹区則即三、株、1根極付
五月=十六日

741



No.27 法行徑路の對岸
(已則即四十一) 崩壞地ヲ望ム
五月=十六日

743



No.30 法行徑路の對岸
区則即=十九イ 崩壞地ヲ
望ム 五月=十六日

744



No.31 織戸徑路の對岸
山腹工 (昭和=新施行)ヲ望ム
五月=十六日

745

【昭和5年5月26日】

十一時法行峠に着す之より路傍の樹木を採取しつつ十二時四十分織戸峠に着し織戸峠より対岸にある昭和二年施工の山腹筋工を見て辨当

(昭和五年相州丹沢御料林視察旅行日記, 砂防第12号, 1930, p.34)

水の木沢



世附事業区 水ノ木沢 第一号
煉積石堰堤、高サ四米、昭和二年

437



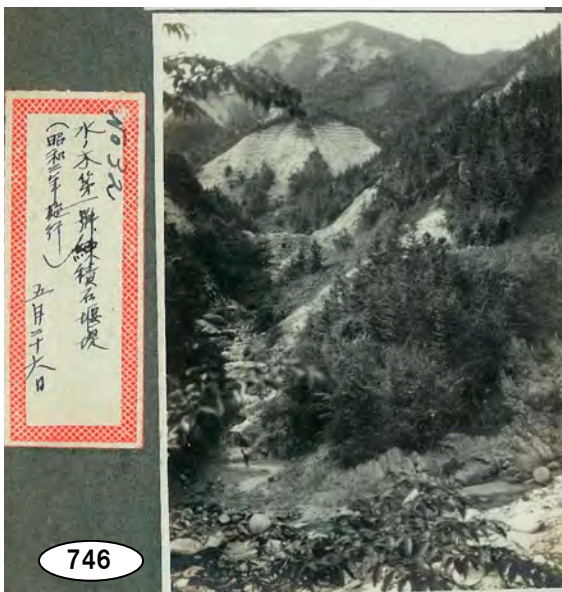
世附事業区 水ノ木沢 第二号
煉積石堰堤、高サ五米、昭和二年

438



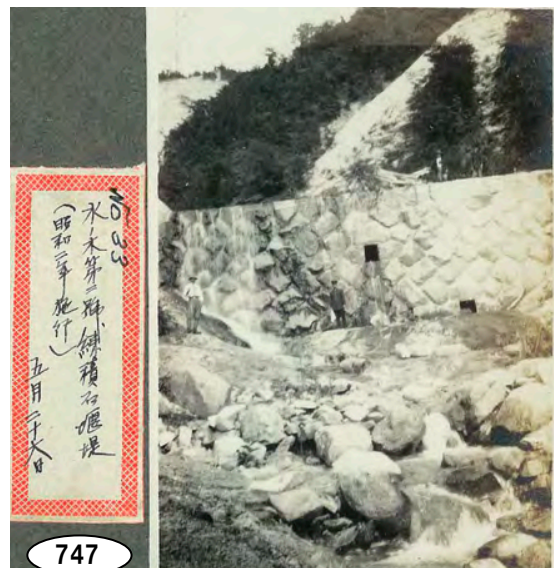
世附事業区 水ノ木沢 第三号
煉積石堰堤、高サ六米、昭和二年

439



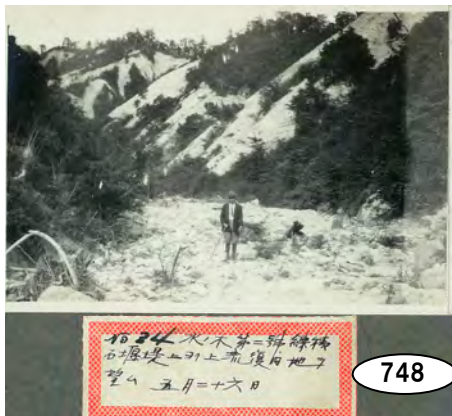
水ノ木沢
煉積石堰堤
(昭和二年施行)
五月二十日

746



水ノ木沢
煉積石堰堤
(昭和二年施行)
五月二十日

747



748



749



750

【昭和5年5月26日】

水ノ木沢に行き既設の山腹工事及昭和二年度施行の第一號及第二號練積石堰堤を見て六時休泊所に帰り記念の為長さ六尺許のケヤキを庭園に植栽す、

(昭和五年相州丹沢御料林視察旅行日記，砂防第12号，1930，p.34)



935

【昭和7年5月10日】

(水ノ木沢休泊所を) 出発に先だち昭和五年五月二十六日に記念の為植栽したケヤキを撮影して午前八時出発、金山澤流域を視察す。

(昭和七年初夏の丹沢及箱根御料地砂防工事調査旅行日記，砂防第25号，1932，p.33)

金山沢



751



937



938

【昭和7年5月10日】

（水ノ木沢休泊所を）出発に先だち昭和五年五月二十六日に記念の為植栽したケヤキを撮影して午前八時出発、金山沢流域を視察す。

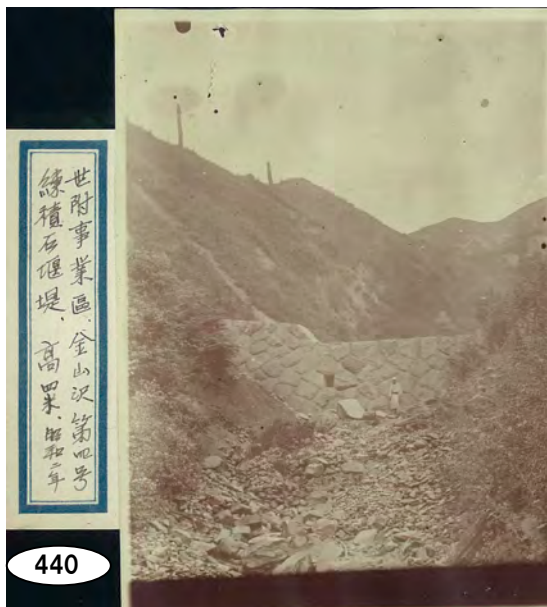
（昭和七年初夏の丹澤及箱根御料地砂防工事調査旅行日記，砂防第25号，1932，p.33）



939



936



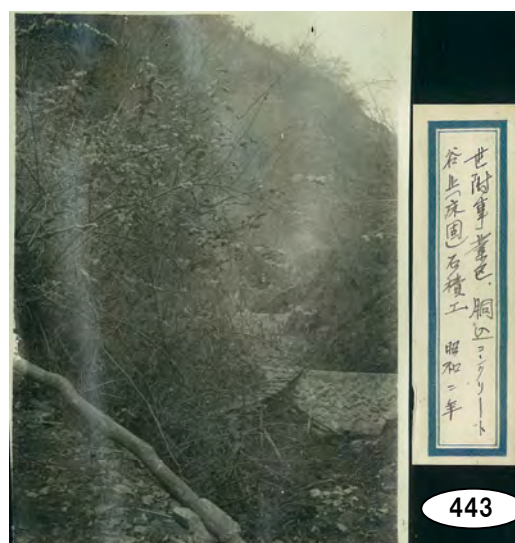
440



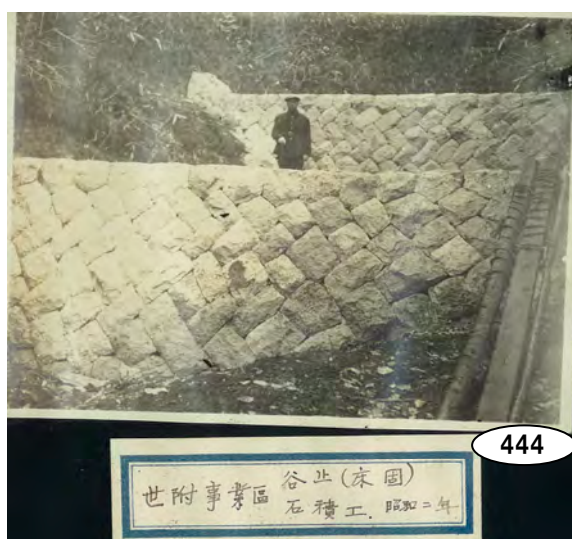
441



442



443



444



752

【昭和5年5月28日】

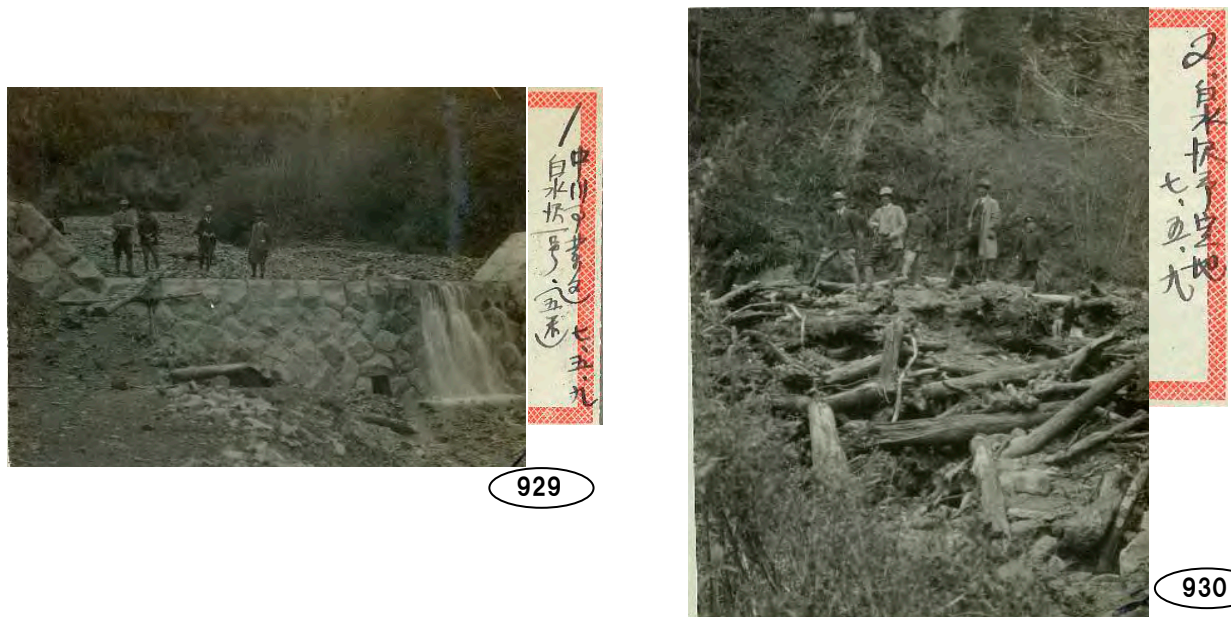
昨夜来大雨なりしが七時半晴る、記念の為め長さ5米直径5厘のケヤキを休泊所の前の畑に植える、

(昭和五年相州丹沢御料林視察旅行日記, 砂防第12号, 1930, p.35)

大又沢



白水沢



【昭和7年5月9日】

これより白水沢に行き昭和六年築設の練積堰堤を見る、高さ五米工費は一立法米に付約十一圓を要したとのことである。次に白石沢に行き六年築設の練積堰堤二本を見る。

(昭和七年初夏の丹澤及箱根御料地砂防工事調査旅行日記，砂防第25号，1932，p.32)

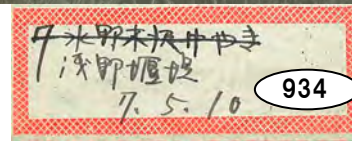
白石沢



← 白石沢の間違い

931

浅野堰堤



934



932



933

【昭和7年5月9日】

之れより白水澤に行き昭和六年築設の練積堰堤を見る、高さ五米工費は一立法米に付約十一圓を要したとのことである。次に白石澤に行き六年築設の練積堰堤二本を見る。

(昭和七年初夏の丹澤及箱根御料地砂防工事調査旅行日記、砂防第25号、1932、p.32)



941

【昭和7年5月11日】

午前七時昭和五年五月二十八日記念の為植栽したるケヤキ三本を撮影し八時出発。

(昭和七年初夏の丹澤及箱根御料地砂防工事調査旅行日記、砂防第25号、1932、p.33)

静岡県

明神峠付近



5037 明神峠-ア-行
五月二十八日

753

【昭和5年5月28日】

八時出発八時半明神峠に達し少憩、萱筋工を見る Y君 KO君に分かれて

(昭和五年五月相州丹沢御料林視察旅行日記, 砂防第12号, 1930, p.35)



942

【昭和7年5月11日】

八時半に明神峠に達し記念撮影をなして二の澤休泊所の人々に分かれ途中大崩壊地、既設の萱筋工の成績を見て…

(昭和七年初夏の丹澤及箱根御料地砂防旅行日記, 砂防第25号, 1932, p.33.)



940



943

小山町柳島



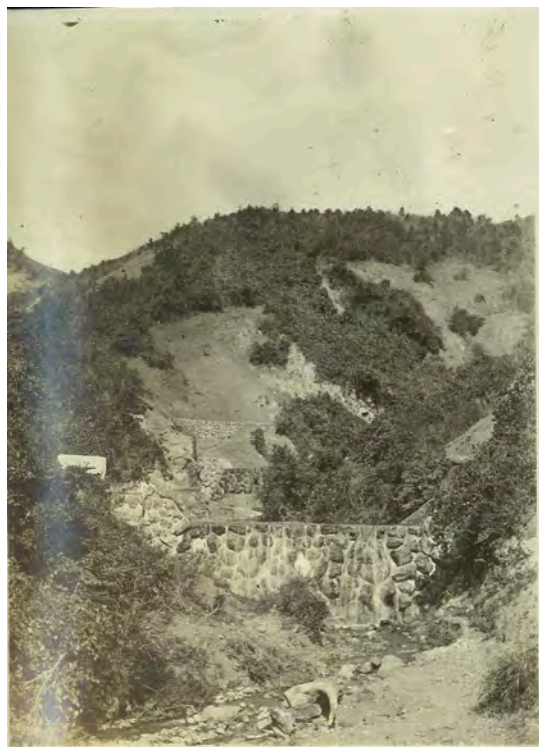
大正十五年十一月三十一日
小山町柳島 勝又乙吉氏方チ
撮影

1354



944

小山町峯坂沢



明神峠事業正峯坂澤
第一、三、五号堰堤並山腹石積工
大正十五年春施行 大正十五年秋堰

418



明神峠事業正峯坂澤
第四号堰堤 十五年春施行
大正十五年秋

417



明神峠事業正峯坂澤
第三号堰堤護岸及谷山石積工
大正十五年施行 十五年秋堰

419



明神峠事業正峯坂澤
第一号堰堤 大正十五年春施行
大正十五年秋堰

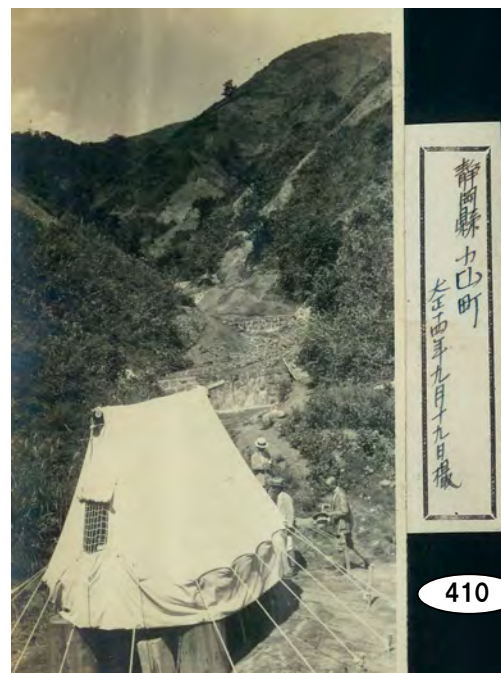
420

小山町湯船沢



静岡縣東郡小山町大字湯船沢
大正十四年九月十九日撮

406



静岡縣小山町
大正十四年九月十九日撮

410



静岡縣小山町
外務省工事
大正十四年九月十九日

413



静岡縣小山町
即料工事
大正十四年九月十九日撮

411



静岡縣小山町
縣工事
大正十四年九月十九日撮

408



497



425



426



428



430



427

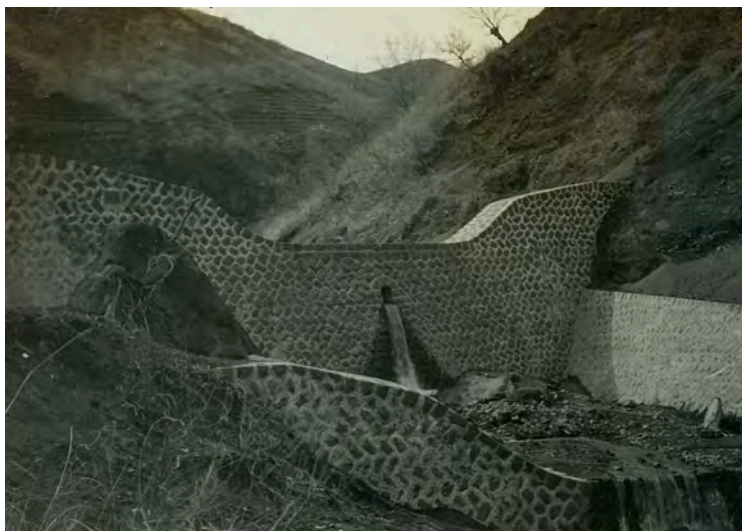


429



内務省民衆館
其二 昭和四年三月廿八日
湯船沢大堰建設風景

814



No.1 小山町
昭和四年三月廿八日

796



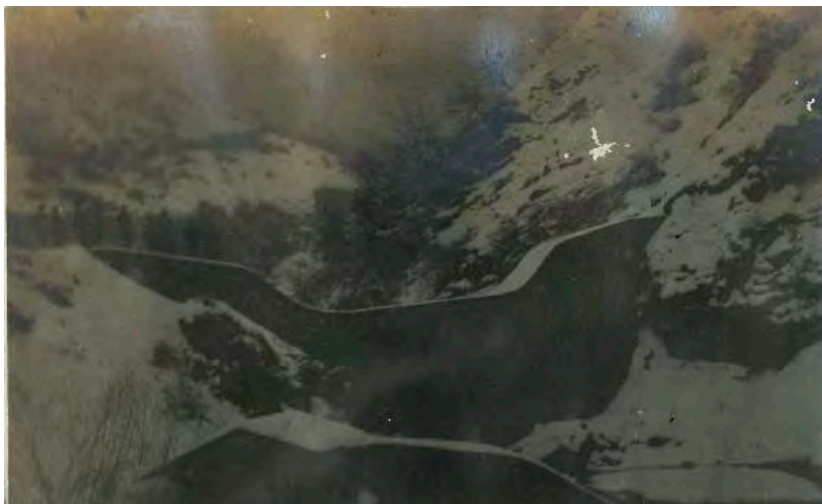
内務省民衆館
其一 昭和四年三月廿八日
湯船沢大堰建設風景

813



No.2 小山町
昭和四年三月廿八日

797



小山町内務省
堰堤
昭和三年三月廿八日
417

434



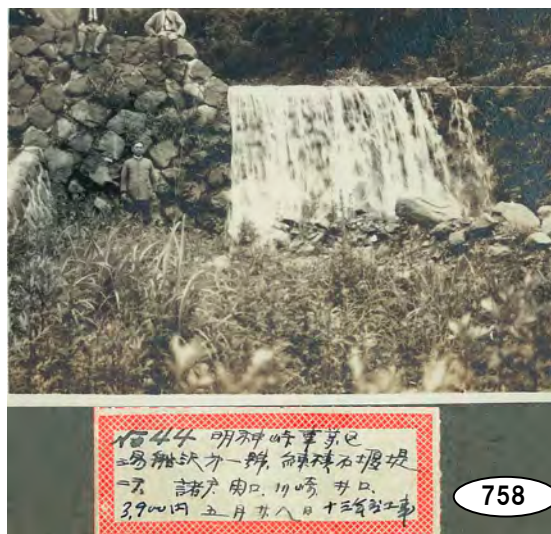
小山町内務省堰堤
昭和三年三月廿八日
418 49

435



湯船内務省堰堤

698



【昭和5年5月28日】

九時出立十一月湯船沢に下り帝室
營林局の第一號練積堰堤に到り…此
堰堤は大正十三年度の施工にして立
積 147.4 立方米工費 2279 圓なり、

(昭和五年相州丹沢御料林視察旅行
日記，砂防第 12 号，1930，p.35)



三保村落合(今はダム湖)



三保村落合
昭和四年三月十七日

794



三保村
昭和四年三月十七日

795



石、
神奈川三保村落合
昭和四年四月

809

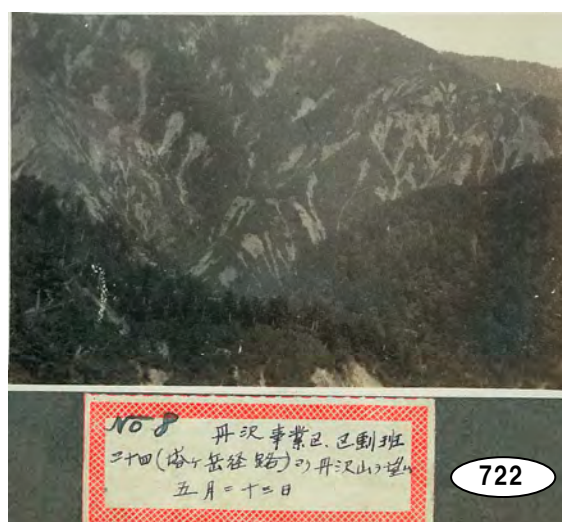
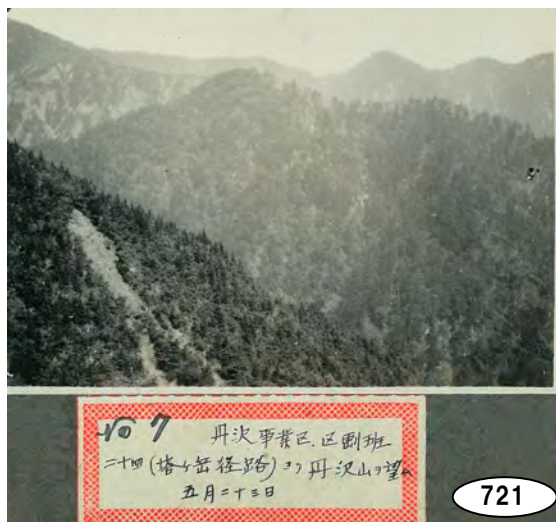
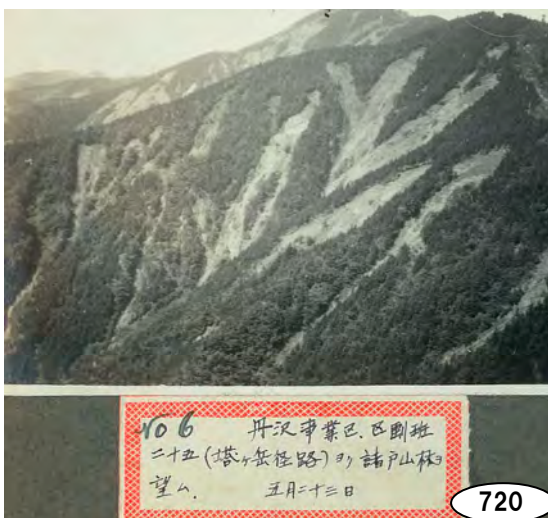
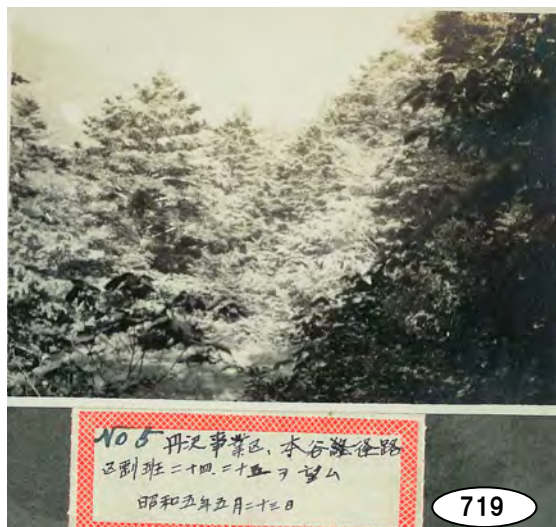
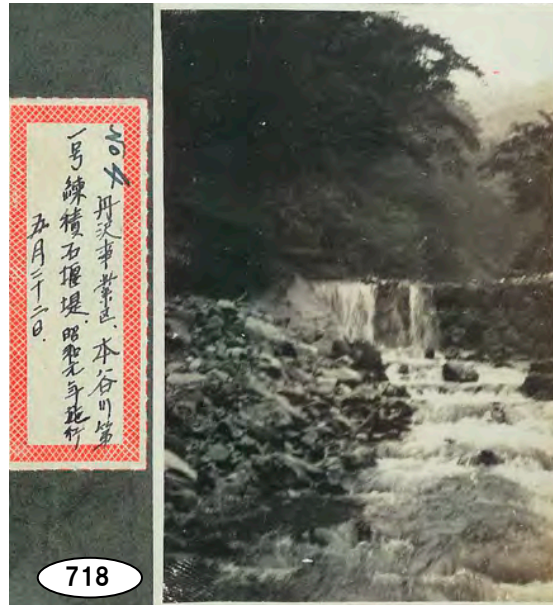


神奈川縣三保村
昭和四年四月

810

その他

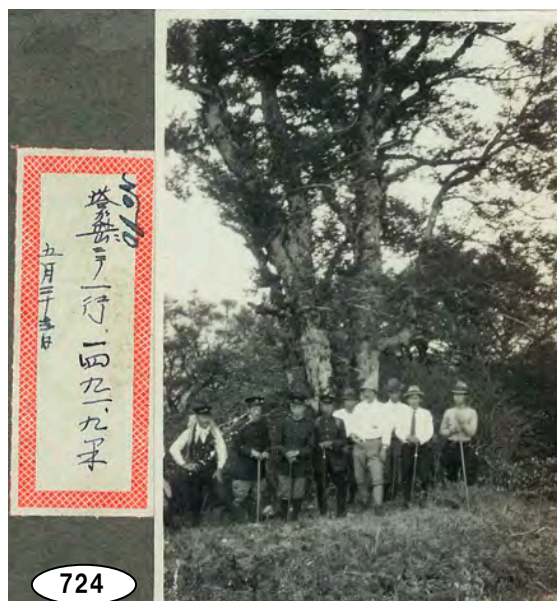
※この写真は昭和5年の旅行日記の p. 34-35 に関係記事あり





No. 9 丹沢事業区、区副班ニ
十二(塔ヶ岳径路)の区副班ニ十一
ノ山腹工被露地ヲ撮ル。五月二十三日

723



塔ヶ岳ノ一行、一四九、九ノ
五月二十三日

724



No. 11 中川事業区、小金沢の
對岸明沢一帯ノ崩壊地ヲ撮ル
五月二十三日

725



No. 12 小金沢口の河上流
崩壊狀此ノ望ム
五月二十三日

726



No. 13 樺樹沢ノ右岸(区副班)
五十九「樺ノ根」
五月二十三日

727



No. 14 区副班四人ニ於テ
五月二十三日 樺ノ根樹

728



No 15 中川事業区
諸子平杉根株
五月二十四日

729



No 16 中川事業区
諸子平杉根株
五月二十四日

730



No 17
玄倉山神領路より
村岸野常山腹上
五月二十四日

731



No 18
玄倉山神領路より村岸
野常山腹上
五月二十四日

732



No 19

733



No 20
玄倉山間内務府施工堰堤
五月二十四日

734



北伊豆地震



図 北伊豆地震 [昭和 5 (1930) 年 11 月 26 日]関係写真撮影位置図

地域名	写真 I D
大明神川	890, 891, 892, 893, 907, 908, 909, 910, 973, 974, 975
むじな窪	945, 955
箱根旧道	883, 885, 886, 887, 888, 889, 911, 912
丹那断層	897, 898, 899
大野	901
城	919, 920, 921, 922, 923, 924, 978, 979, 980
梶山	925, 926, 927, 967, 968, 969, 981, 982, 983
山中新田	894, 896

北伊豆地震

昭和 5(1930)年 11 月 26 日午前 4 時 3 分、伊豆半島北部を震源とする北伊豆地震が発生した。この地震は伊豆半島北部をほぼ南北に走る丹那断層及び修善寺断層の左横ずれ運動、これらと直交方向(西北西-東南東方向)に走る姫之湯断層の横ずれ運動により発生した内陸直下型地震である。マグニチュードは 7.3 で、震源の深さは 5 km 未満と浅く、最大震度 7(予測震度)の揺れを観測した。この地震により、人的被害として伊豆半島北部及び箱根町周辺を中心に死者 261 名、行方不明者 11 名、負傷者 572 名、家屋被害として全壊及び半壊家屋 7,681 戸の甚大な被害をもたらした。また断層活動の影響で地表に亀裂、隆起及び水平変位等が生じたほか、土砂災害も多数発生した。

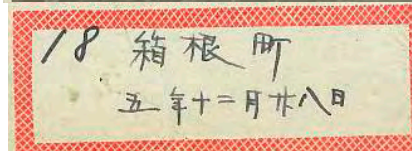
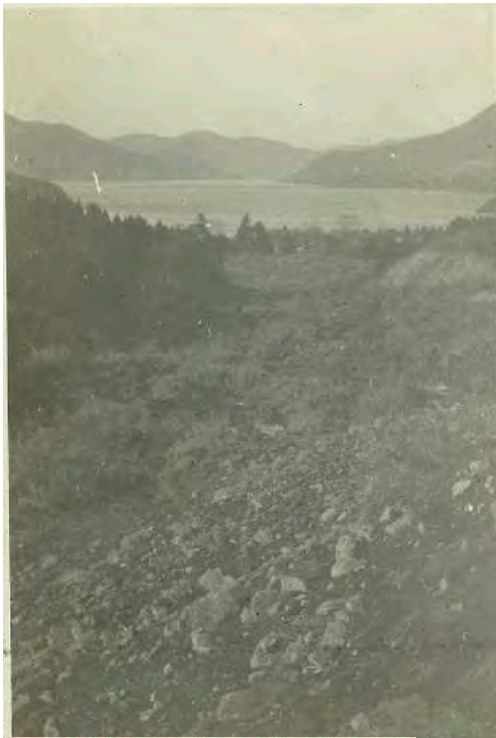
(北伊豆地震報告書第 1 報告, 中央气象台, 1930)

箱根町

大明神川

北伊豆地震により、孫助山の北西側斜面標高約 850m の箇所で山腹崩壊が発生し、崩壊土砂は土石流となって大明神川を流れ下った。土石流は下流地区を襲い、萬福寺に居た 1 名が寺と共に押し流されて行方不明となったほか、本還寺や住宅が被災した。

諸戸北郎博士アルバムと「砂防」には諸戸博士が学生指導と技術講習会の現場視察で現場を訪れた際の記事が多くある。



891



890

【昭和 5 年 12 月 28 日】

箱根町山の手の土石流の跡を見る、長さ 1000M、幅 60M 乃至 100M、面積 8 ヘクタール、堆積せる土砂の厚さは 4M の所あり。此土石流の原因は地震の為上流の山地が崩壊し之に水の作用が加わり下流に押し出しせしもの、溪の出口に 2 寺院あり、留守居番が行方不明。

(度山(1930)：昭和 5 年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第 16 号，砂防協會，p. 34)



892



893

【昭和 5 年 12 月 28 日】

東京帝大演習林の事務所は動いて土台がはずれている、また艇庫は東へ傾いている。

(度山(1930)：昭和 5 年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第 16 号，砂防協會，p. 34)



4 箱根の土名 六・二七

910



3 箱根の土名 六・二七

909



1 箱根の土名 六・二七

907



2 箱根の土名 六・二七

908



973



974

【昭和9年10月21日】

9時箱根町に着し字三島町(大明神川)の工事を見る。此地は昭和5年の豆相地震で起った土石流の所の復旧工事で昭和7年7月竣工した工事である。上流の工事は神奈川県林務課で下流の工事は土木課で施行したのである。林務課の部分は施業面積 8.45 ヘクタール、植栽面積 3.15 ヘクタールである。工種は鉄線蛇籠谷止工、山腹空積工、埋設空積工、張石水路工、張芝水路工、丸太柵工、萱筋工である。

(度山(1930)：昭和5年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第16号，砂防協會，p.22)



975

むじな窪



945



955

【昭和5年12月28日】

湖畔の御料の造成地が崩壊して造林小屋に居た八名の造林夫が湖底に落ち死体が見付からない、多分湖底に埋没したのである。

(度山(1930)：昭和5年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第16号，砂防協會，p. 34)

箱根旧道(二子山、畑宿)



885



911

【昭和5年12月28日】

午前九時湯本発箱根旧道を登る途中石垣の崩れるもの多く又山腹の崩れた所が多い、畑宿に到れば寺が倒れて居る、此寺で老僧と妻と子と孫と四人死亡したと、二子山の山腹より大石が道路に落下して道路の上方に在る石垣を破壊して居る又忠臣蔵の神崎與五郎東下りで有名な牛喰の馬五郎の甘酒茶屋は其の裏手の山腹から重さ二百五十貫もある大石が転落して便所押入を打破り老婦の寝床の上に乗った、老婦は危うく圧死する所であった、明治大帝が関東へ御下りの際御駐輦になった御駐輦記念碑も墜石の為に打砕かれて居る。

(度山(1930)：昭和5年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第16号，砂防協會，p. 33)



伊豆半島北部

丹那断層

丹那断層は、箱根町の芦ノ湖南部から伊豆の国市南部にわたってほぼ南北方向に分布する、全長約 17km の活断層である。北伊豆地震時には左横ずれ運動が発生し、最大 2.7m の水平変位が生じた。丹那断層はこれまでに何度も左横ずれ運動が発生しており、現在までに南北に約 1km の水平変位が生じている。丹那断層の単位変位量を 2.7m(北伊豆地震時の変位量)とすると、700～1000 年に 1 回の割合で北伊豆地震並みの地震が発生している。

(丹那断層発掘調査研究グループ(1983)：丹那断層(北伊豆・名賀地区)の発掘調査，地震研究所彙報，第 58 巻，東京大学地震研究所，pp. 797-830)



897



898

大野



901



899

【昭和 5 年 12 月 29 日】

北狩野村大野に到る、大野及大仁は倒壊家屋が多く目下復旧中である。大野は山崩の爲め三戸埋没し六名惨死した、此崩壊は東南面で此の爲に狩野川の支流古川を堰止めた、

(度山(1930)：昭和 5 年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第 16 号，砂防協會，p. 36)

城



919



921



920



980

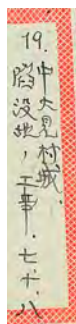
【昭和 5 年 12 月 30 日】

中大見村城に着す、歩むこと約二十分に
して陥没地に達す、陥没地は桑畑であつて
面積約三ヘクタール高十四米ある、此れ地
下に水蝕作用其の他の原因で空所があつ
たためであらう、今村博士は地震に帰因す
る地形変動のサイフォン現象地と言われ
たとのところである、之れより幅十米許の小
溪を越えて百米も離れた所に隆起地があ
る、此地は字横山の齋藤喜市氏宅にて高さ
五米、延長百米、幅四十米ある、此上に長
さ十米許りの物置小屋があつたが之れが
半分丈折れて隆起地の上に他の半分は従
来の土地に在る。

(度山(1930)：昭和 5 年冬の豆相震災地視
察旅行日記, 砂防第 16 号, 砂防協會, p. 37)



978



966



6
城
六
二
九

923



16. 中
大見村
城

963



7
城
六
二
九

924



10. 9
夏
城
起
隆
地

979



18.
中大見村
橋、破壊
七十八

965



17. 中
大見村
耕地、渡岸
七十八

964

梶山



926



968



927

【昭和5年12月29日】

狩野村佐野区の梶山に着す、此处は土石流あり長さ千五百米幅二百五十米、面積三十五ヘクタール堆積土砂の立積六十萬立坪狩野川を堰止め、家屋埋没し死者十五名を出した。崩壊地は馬蹄形をなして居て山林の崩壊二十五ヘクタールである、此崩壊の原因は上方に原野があり草刈場であつて松が点生して居る、ワサビ田があつたから湿地であつたためである。

(度山(1930): 昭和5年冬の豆相震災地視察旅行日記, 砂防第16号, 砂防協會, p. 36-37)



925



982



967



981



22. 中狩野村雪金ノ工事
七十八

969



南無妙法蓮華御震災殃死霊供養塔



No. 13
二月廿 伊豆梶山

983

山中新田



21 静岡県中牧田 五三三八

894



23 山中新田 五三三八

896

【昭和5年12月28日】

錦田村山中新田の山崩を見る、崩壊面積は三ヘクタールあり笹生地及麦畑なり、其下方人家一戸埋没され飯塚元次郎一家七人惨死して死体が発見されずと、その崩壊の原因を考えるに此地方は粘土層厚く内部に安山岩の大石が混じて居る、

(度山(1930)：昭和5年冬の豆相震災地視察旅行日記，砂防第16号，砂防協會，p. 34)

東大林学科



1445





1444

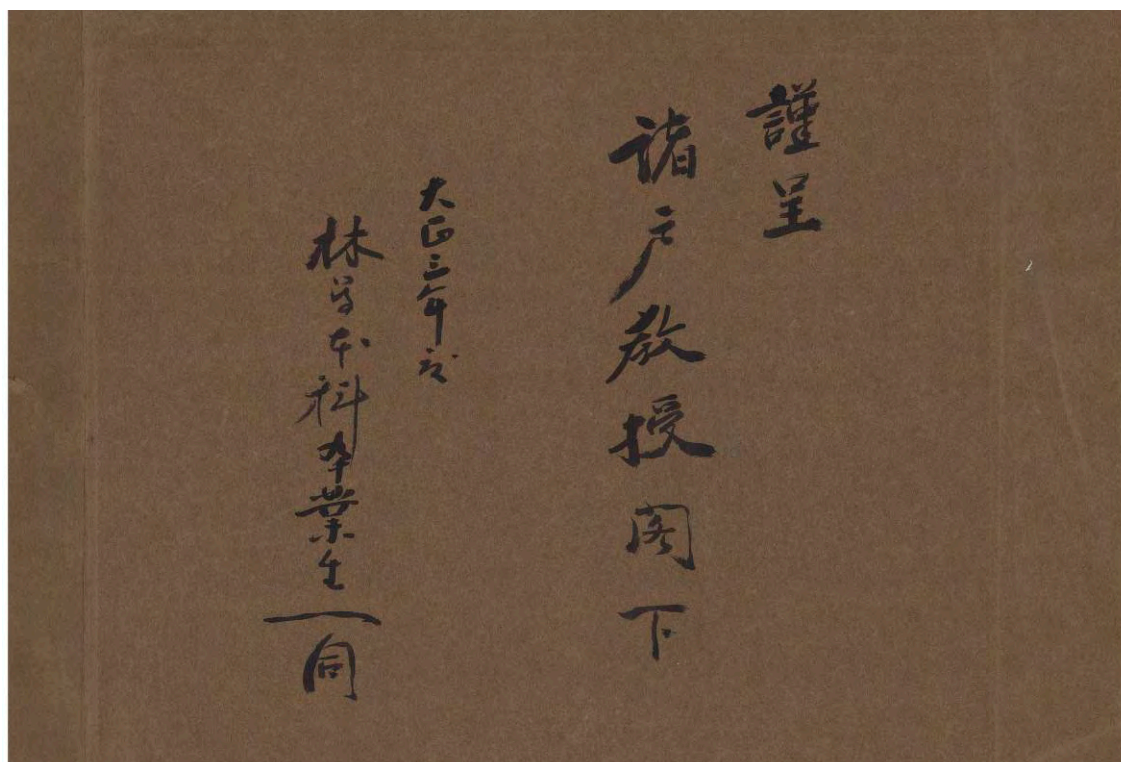


1447



大正三年度 林学科卒業生一同 写真

1441



※写真裏面の文字



1340



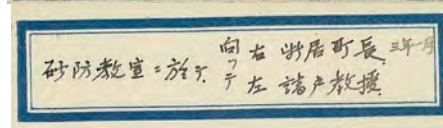
1395



1411



1412



1394

この写真は、「砂防教室ニ於テ向ッテ右 新居町長、左 諸戸教授、昭和3年(1928)1月」の記載がある。当時は、静岡県浜名郡新居町。2010年3月23日、湖西市に編入された。

新居町と諸戸教授との関係は、新居町への演習林設置が関係している。

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/eri/about.html>

「生態水文学研究所とは」に、以下の記載がある。(生態水文学研究所は、旧称：愛知演習林)

「1925年には静岡県浜名郡新居町長から東京帝国大学総長宛に、遠州灘に面して細長い砂丘地を新居試験地として設置する請願書が提出されました。これを受けて1928年に新居試験地約20ヘクタールが設置され、強風による飛砂を防ぐ目的で海岸砂防林造成を開始しました。気象観測も1929年から開始しています(1966年中止)。」

現在も、東京大学附属演習林生態水文学研究所の74林班(新居試験地)である。

昭和3年(1928)3月に新居試験地が設置されているので、それに関する訪問があったものと思われる。
(鈴木雅一)

東大愛知演習林



昭和五年十二月十日
愛知演習林事務所

1433



愛知演習林事務所玄関ニテ
昭和三年六月十日

1416



1335



愛知演習林事務所
大正拾叁年一月拾叁日

1410



昭和五年十二月撮影

1440



愛知東山廳舎 三、五、二〇

1414



愛知縣岡田村二十分
秋防六日
昭和五年十二月撮影

1434



庄内川ヲ見下口
愛知縣東春日井郡小幡龍泉寺眺望
三、五、一八

1415



雲興寺瀧ノ橋 三、五、二一

1417



曲野
昭和五年十二月撮影

1436



園一ノ撮影
昭和五年十二月

1435



雲興寺一、瀧 三、五、二

1413

東大千葉演習林



1059



1060



1061



1063



清澄山（清澄寺）の大杉

1032



1033



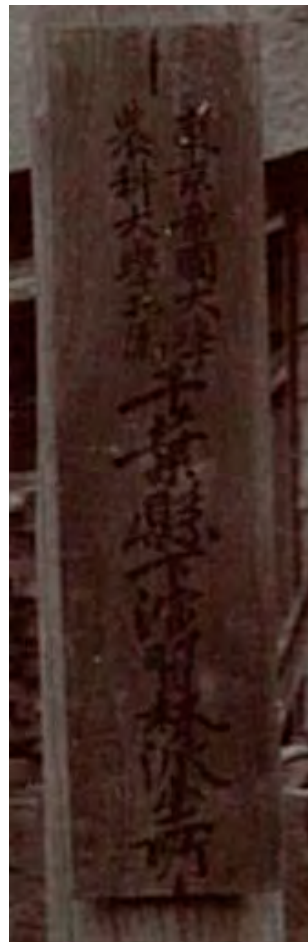
1064



1066



1065



(右側門柱の文字)

東京帝國大學
農科大學

千葉縣演習林派出所

東大富士演習林



1. 山中湖 五、三、二七

874

5. 山中湖 五、三、二七



878



2. 山中湖 五、三、二七

875

6. 山中湖 五、三、二七



879



3. 山中事務所 五、三、二七

876

7. 山中 五、三、二七



880



これら7枚の写真は、昭和5年12月27日に山中湖で撮影されたものである。「山中事務所」とあるのは、東大演習林に「富士演習林（現名称：富士癒しの森研究所）」があり、その事務所である。

富士演習林略年表

- 大正14年（1925） 11月 浅間神社社有地および高村靖氏ほか144名の個人所有地の寄付申込を受ける
- 大正14年（1925） 11月 富士演習林設立
- 大正15年（1926） 8月 演習林事務所と苗畑6ヶ所完成
- 大正15年（1925-6） 12月 村民の好意と理解により部分林分収入権放棄。
山梨県より県有地の貸与を受ける
- 昭和2年（1927） 一昭和10年（1935） III林班にカラマツの植林
- 昭和4年（1929） III林班にカラマツ生長測定地を設定

撮影時期は、富士演習林設立後丸5年たったところ。諸戸は、昭和5年12月16日より、神奈川・静岡・山梨へ出張しており、富士演習林に関わる何らかの業務で訪問したものと思われる。

（鈴木雅一）

本科実習



岐阜縣養老
大正十五年十二月十八日撮影

1357



愛知縣瀬戸市
大正十五年十月
科三年、砂防演習(一部)

1356



昭和四年三月二十日
細沢子(本科三年好爵進氏贈)

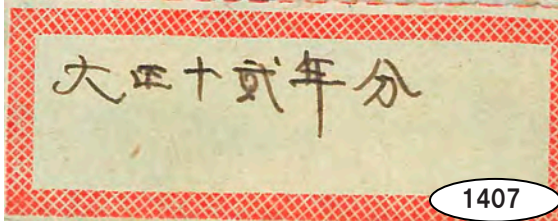
811



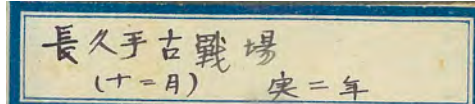
昭和四年三月二十日
湯原静光園氏

812

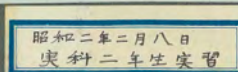
実科実習



1407



1358



1365



1409



1408



大井 夕 4
昭和五年十二月五日

1439



昭和五年十二月撮影

1438



大井 夕 4
昭和五年十二月三十一日

1437



1397



1396



1398



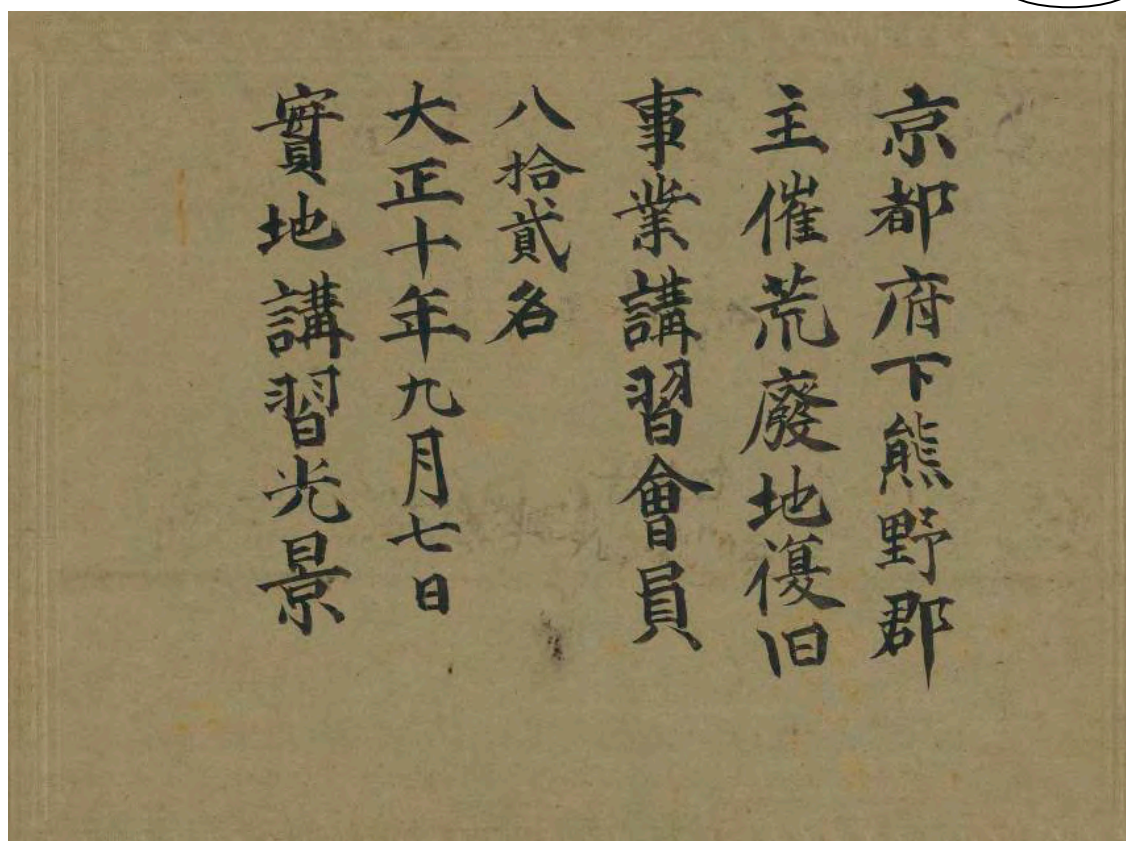
1400

講習会

第三回荒廃地復旧技術講習会 大正 10（1921）年



1446



※写真裏面

A large group of men, likely the members of the Japanese American Citizens League, posing in front of a building with a portico. The men are arranged in several rows, some standing and some sitting. They are dressed in formal attire, including suits and ties. The building has a prominent portico with columns. The foreground is filled with dense, low-lying vegetation.

八木淳造
 勝野正雄
 坂本榮作
 深井淳太郎
 古厓吉郎
 龜山淳一郎
 後藤雄雄
 門川恒勢
 前西大佐
 大羽栄次郎
 田村義男
 田内熊雄
 松永多鶴居
 宮本正巳
 伊藤俊威
 吉井晴一郎
 吉村信次
 河上茂
 草川源藏
 雨宮四郎
 高野 属
 早川一雄
 河西清一
 田中講師
 山口左司
 諸戸講師
 山中半吾
 白澤場長
 堀内美穂多
 三井茂雄
 石水徹
 佐々木地方課長
 坂藤 幸義
 川添 技師
 前田鉄門
 伊藤登雄
 和田 技手
 炭電省吾
 上條芳郎
 只野武躬
 須臾文也
 武藤与市

111

第五回荒廢地復旧技術講習会 大正 12 (1923) 年



1346



1347



1348



1349



1350



1351



1352



1353

第七回荒廃地復旧技術講習会 大正 14 (1925) 年



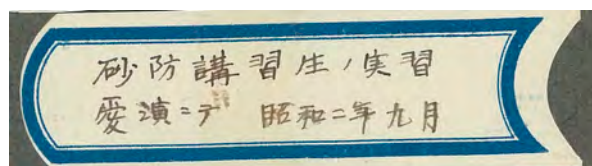
409

第八回荒廃地復旧技術講習会 大正 15 (1926) 年



1442

第九回荒廃地復旧技術講習会 昭和2（1927）年



1372



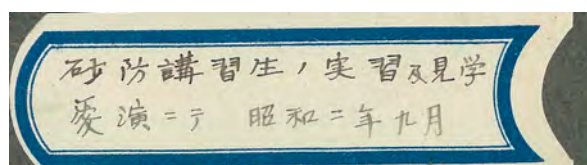
1374



1373



1375



1376



1378

砂防講習生、実習及見学
愛媛ニテ 昭和二年九月



1377



1379



1380



第二組
持田氏組

昭和二年九月

1384



第三組
柴田氏組

昭和二年九月



1382



1383



第六組
江口氏組

大岡氏組

1385



第四組
江口氏組
昭和二年九月

1386



1387

第五組
酒匂氏組
昭和二年九月

1389



第六組
宮澤氏組
昭和二年九月



1388



1390



第七組
昭和二年九月

1391



1392



第八組
朝野氏組
昭和二年九月

1393

3. 都府県

・ 宮城県	・ 118
・ 福島県	・ 119
・ 東京都	・ 124
・ 神奈川県	・ 128
・ 新潟県	・ 144
・ 長野県	・ 151
・ 富山県	・ 156
・ 岐阜県	・ 161
・ 静岡県	・ 162
・ 愛知県	・ 171
・ 三重県	・ 174
・ 滋賀県	・ 175
・ 京都府	・ 177
・ 兵庫県	・ 179
・ 奈良県	・ 183
・ 島根県	・ 184
・ 広島県	・ 187
・ 香川県	・ 188
・ 鹿児島県	・ 189
・ 県名不明	・ 190

宮城県



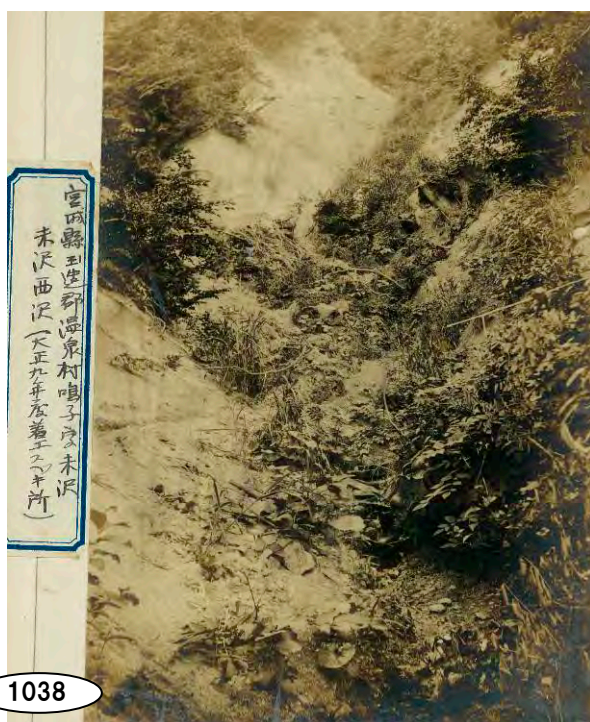
1036



1037



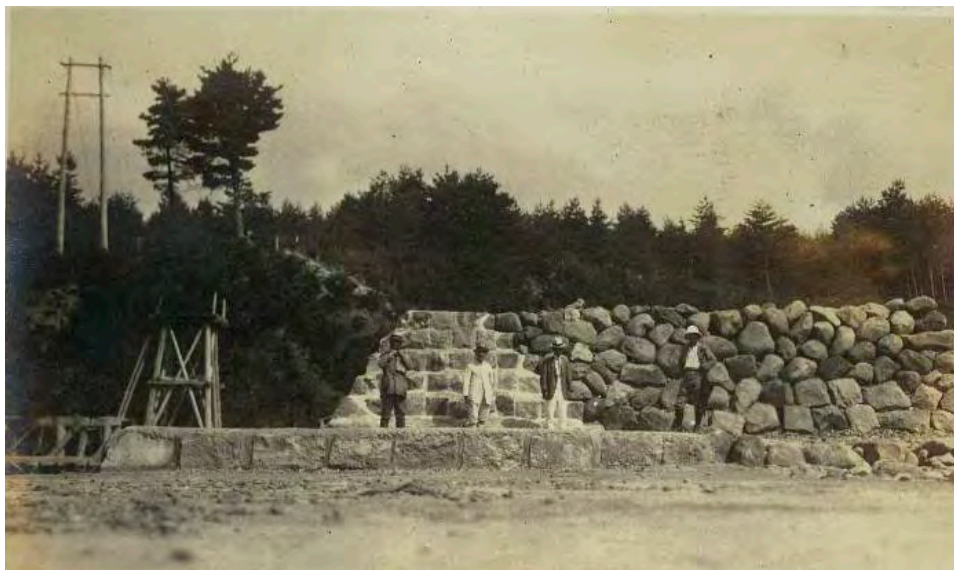
1039



1038

福島県





福島縣信夫郡佐倉村内務省
河川工事
大正十四年七月二十日

462



福島縣信夫郡佐倉村
内務省河川工事
大正十四年七月二十日

463



福島縣信夫郡土湯村赤鳥川
砂防工事
大正十四年七月二十日

464









(石山七郎氏所蔵、石山七郎氏撮影)

119



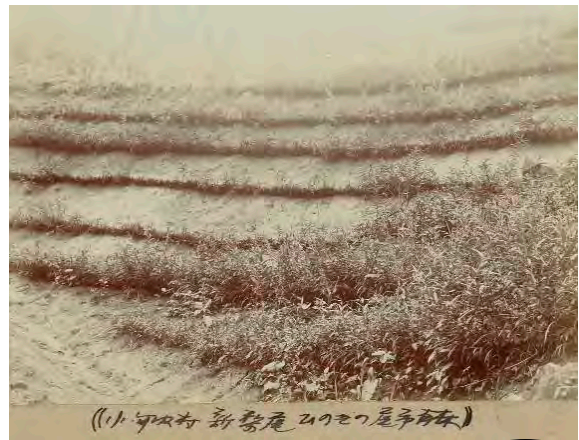
丹波山(石山七郎氏所蔵、石山七郎氏撮影)

122



富士山(石山七郎氏所蔵)

127



(石山七郎氏所蔵、石山七郎氏撮影)

125

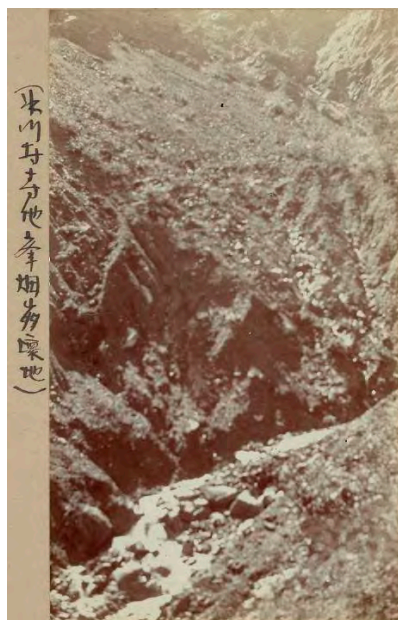


サイケ 杭棚工 (11年10月)

1048



1031



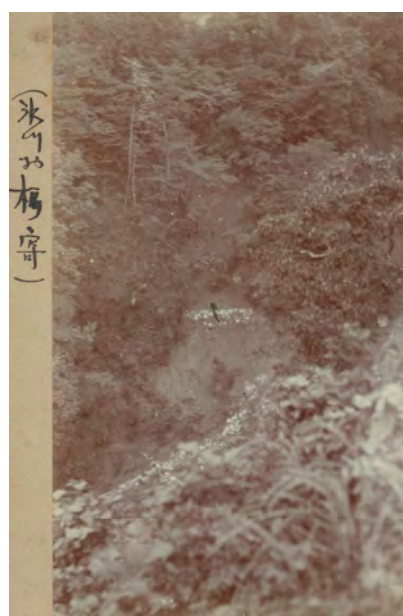
(米川村土地多煙為害地)

186



(釜土谷八十ノ六)

187



(米川村寄)

189



(山内村釜土谷八十ノ六)

191



(米川村寄地)

192

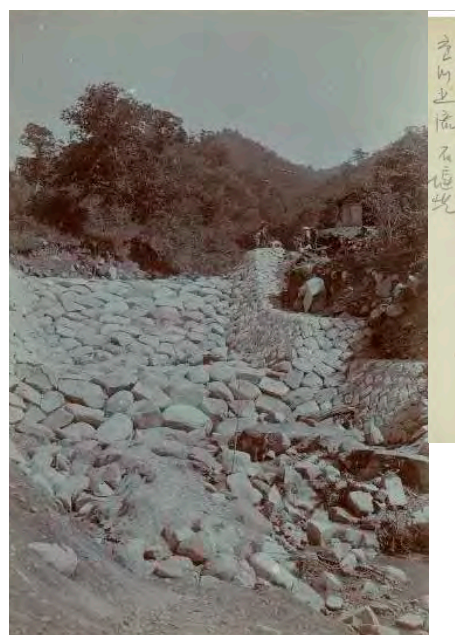


市、撫金銀、銅坑 (大正九年八月七日)

987



1025



1026



1028



1030



1054



1023



1022



1024

神奈川県

三浦半島



箱根

神奈川県

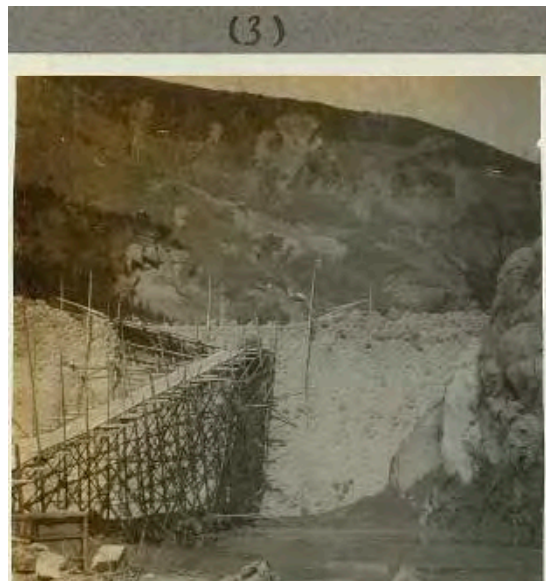


箱根 大平台停留所附近の
大正十五年九月廿日撮 22

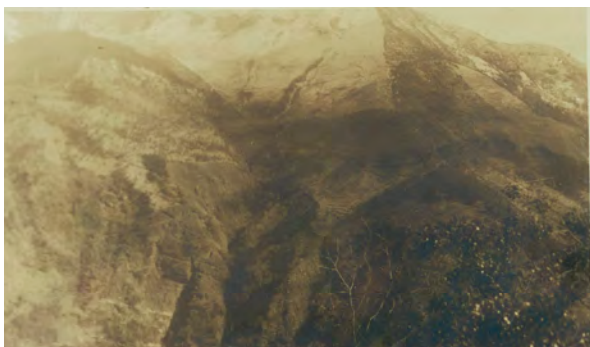
424



767



766



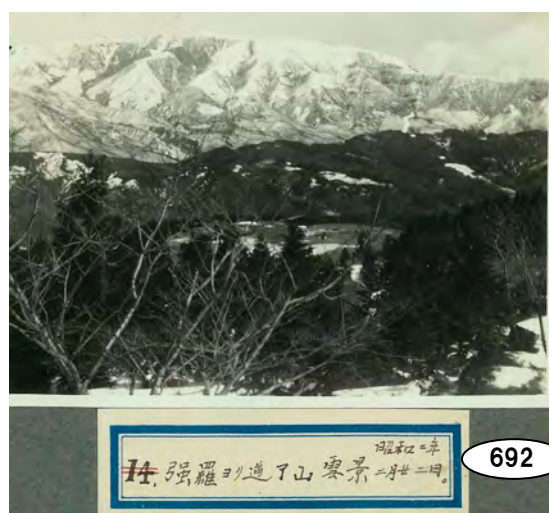
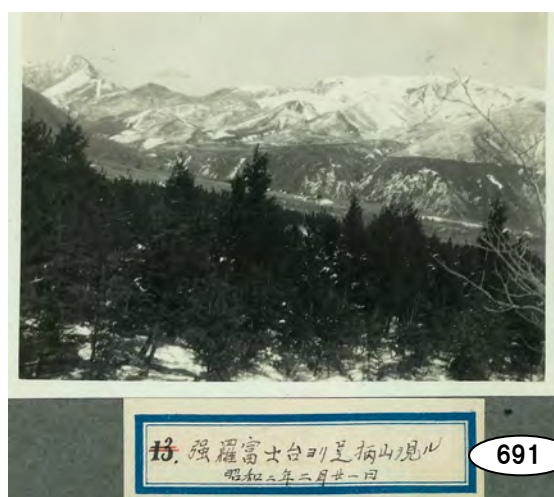
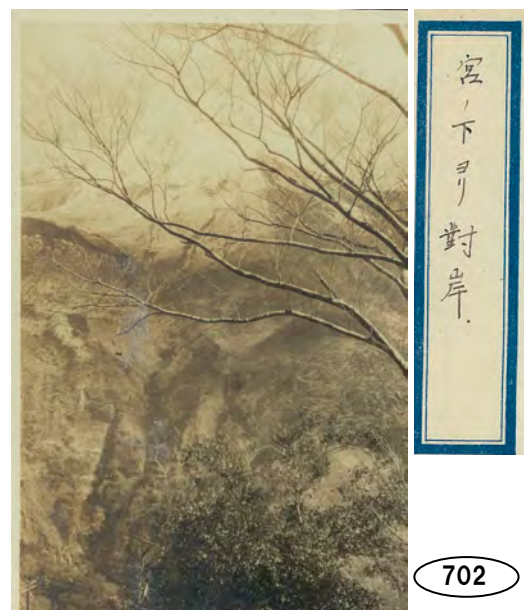
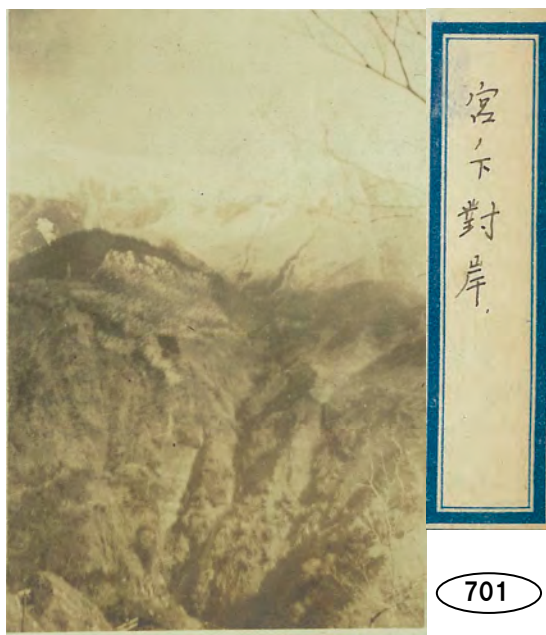
1. 宮ノ下ヨリ足柄山ヲ見
ル。(昭和三年三月十一日)

679



2. 金時山 二月十一日

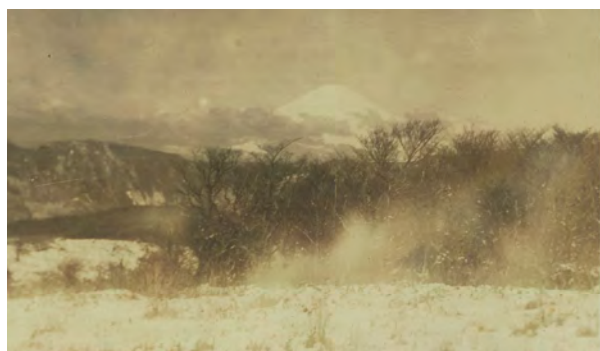
680





3 大涌谷 昭和二年
二月十一日

681



4 大涌谷 昭和二年
三月廿一日

682



大涌谷ヨリ姥子道雪 昭和二年
二月廿二日

693



大涌谷ヨリ湖水へ下ル道ノ附近
昭和二年

694



大涌谷ヨリ左岸ノ山

695

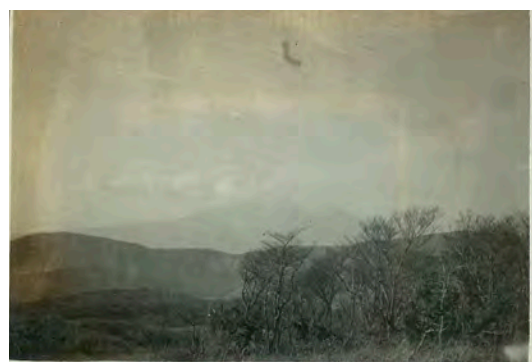


大涌谷ノ畔ヨリ富士

697



771



780



769



768



770



953



標高見よ 昭和三年三月二十七日
花ノ木沢ノ堰堤(石塊)

815



7. 須雲川花ノ木沢 2.2.21.

685



湯元花ノ木ノ堰堤

704



8. 須雲川花ノ木沢

686



764

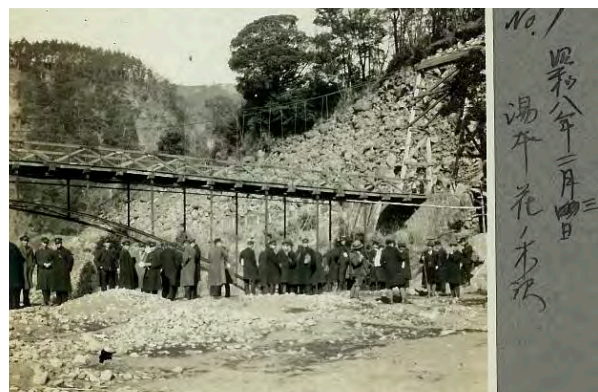


昭和三年三月二十八日
湯元花ノ木沢

759



950



971



684



853



855



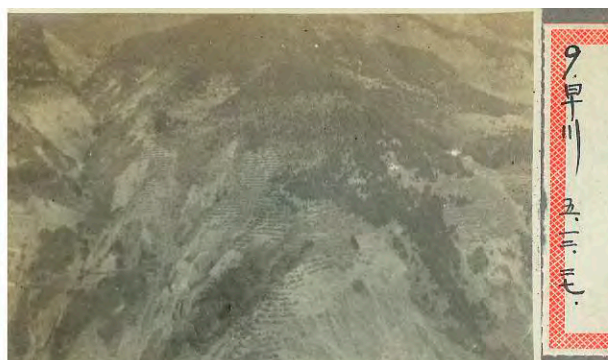
854



913



914

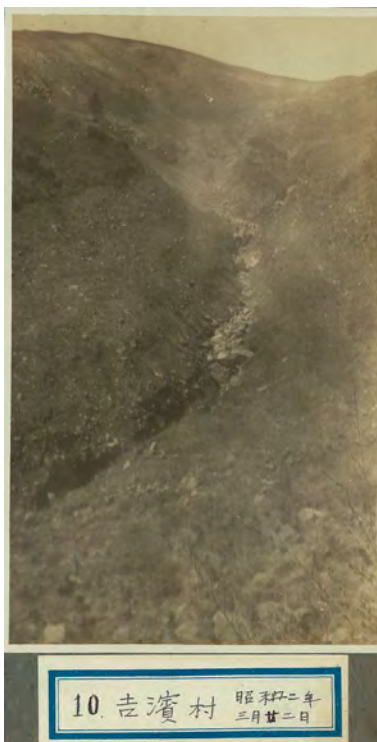


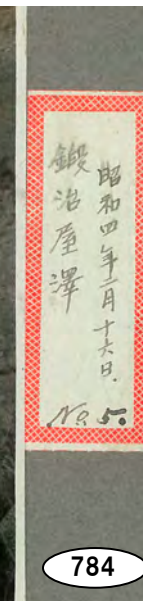
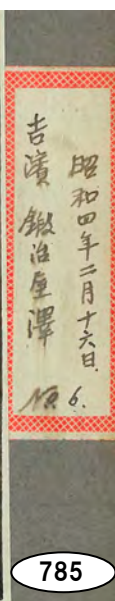
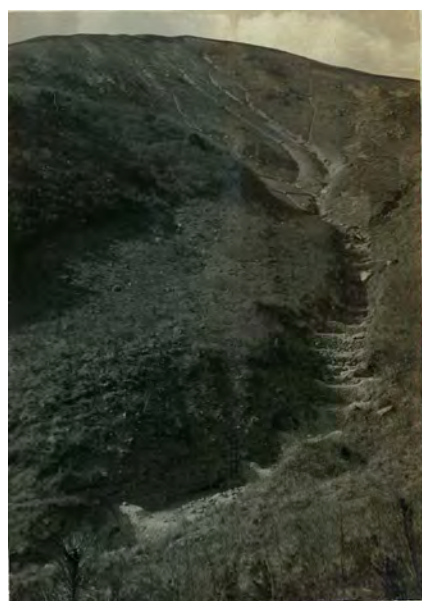
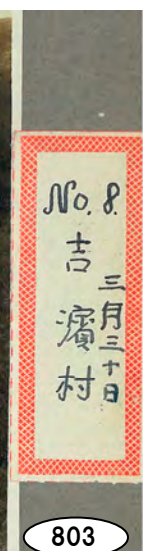
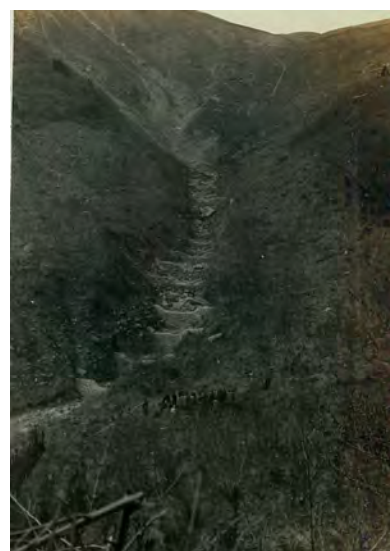
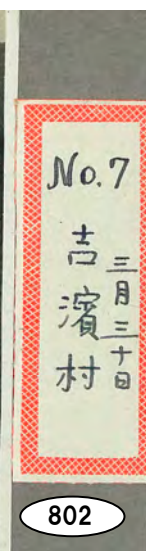
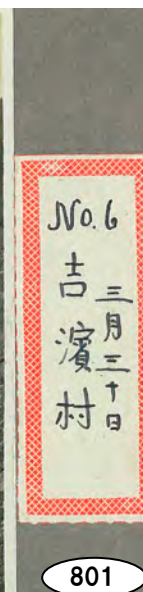
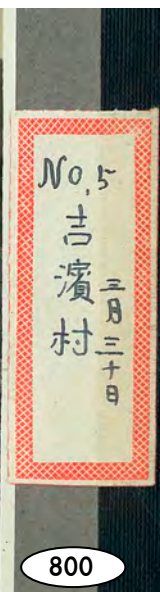
882



884

湯河原



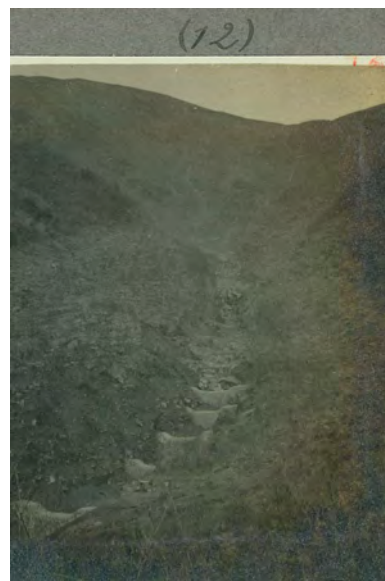




773



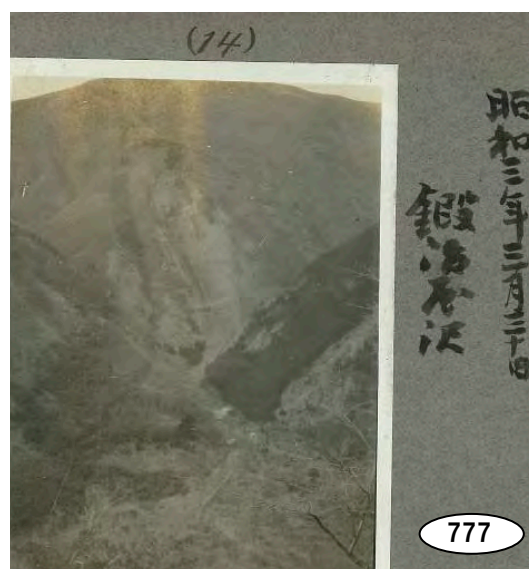
774



775



776



777



783



799



No. 9 吉濱村
三月三十日

804



864



湯河原に於て、谷留土の
上部に鉄線蛇籠を用
いたもの。 4.3.30

817



細波の山腹工。
4.3.30.

816



1/4
鐵
線
蛇
籠
工
十
月
二
日

863

No. 6
二月五日
細波

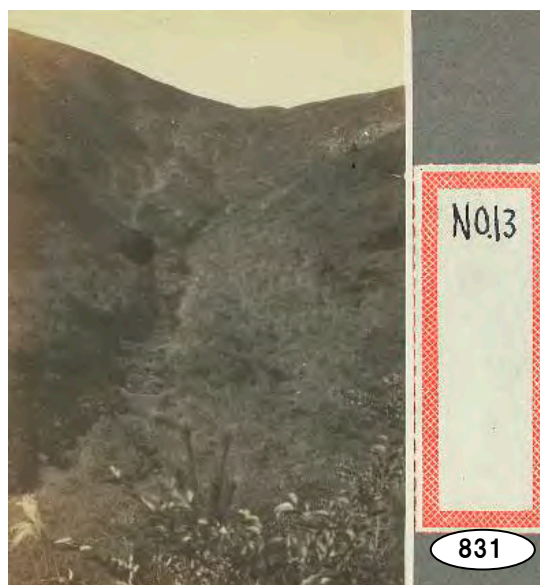
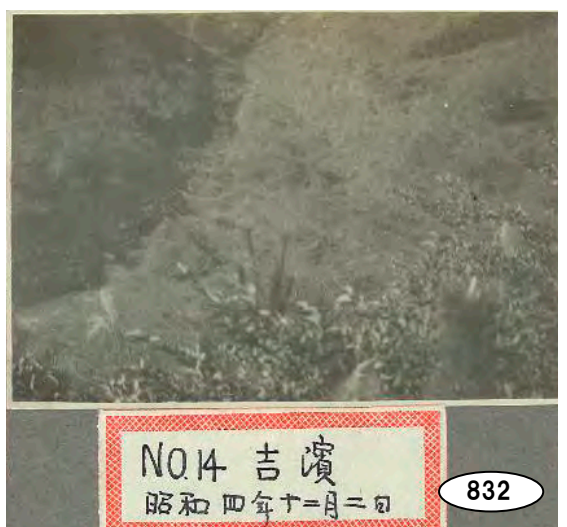
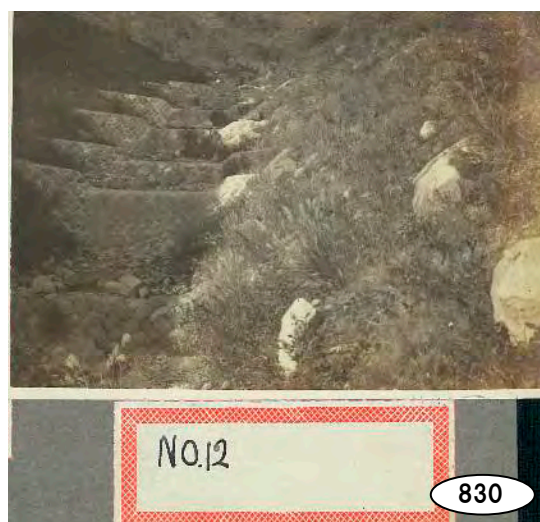
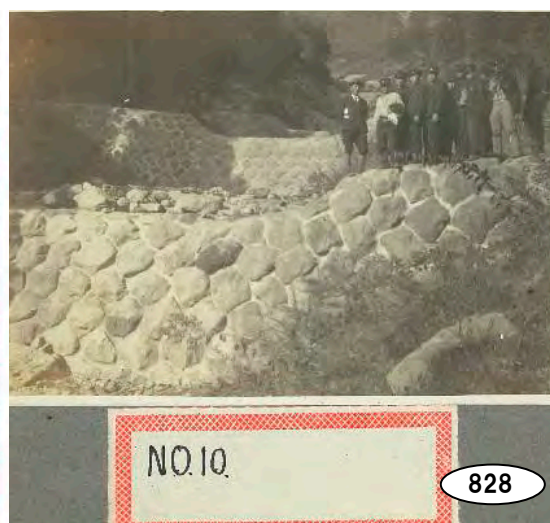
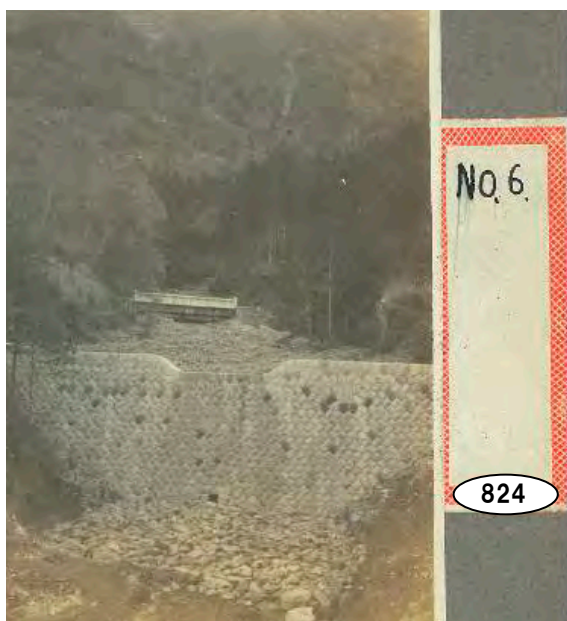


976



湯河原に於て、谷留土の
上部に鉄線蛇籠工
4.3.30. 内務省工務局

818





No.5
細澤
五、二、一〇、

842



No.3 細澤 五、二、一〇、

840



841

No.4
細澤
五、二、一〇、

No.6
吉濱村細澤
五、二、一〇、



843



10 吉濱
五、二、一〇、

916



9. 吉濱
五、二、一〇、

915

11. 古河村 細澤
七十七



958



13. 古河村 細澤
七十七

960



12. 古河村 細澤
七十七

959



833



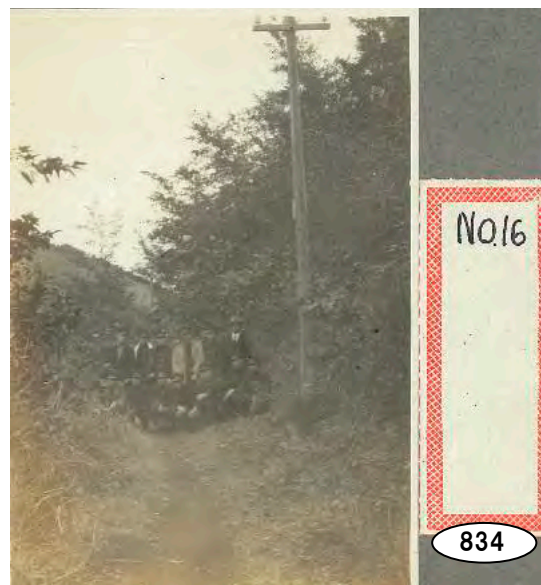
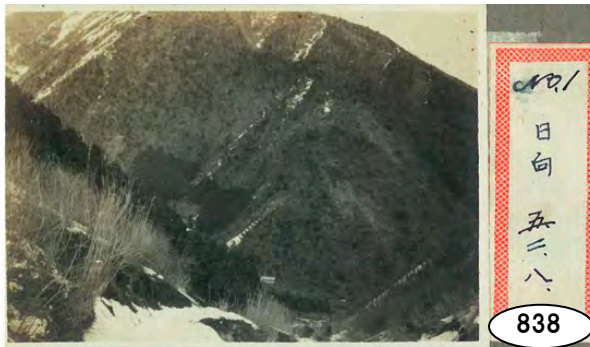
No.3. 湯ヶ原
三月三十日

798

10. 湯河原
七十六



957



新潟県

魚沼地方



486



487



488



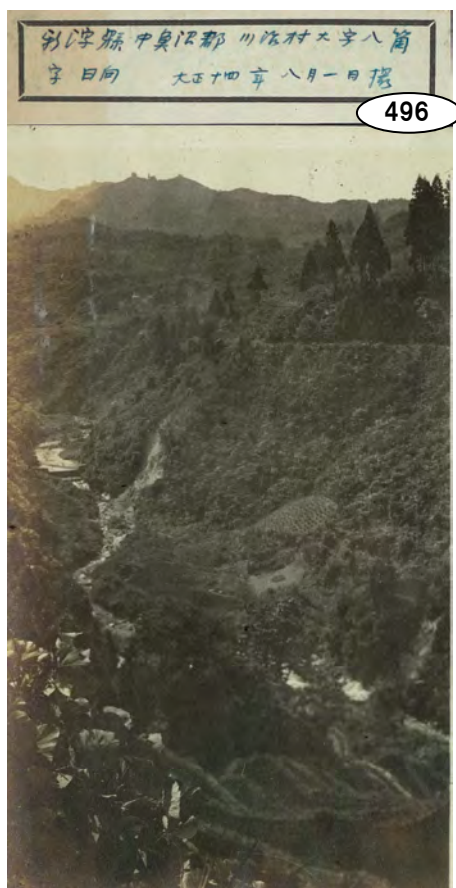
489



491



492



496

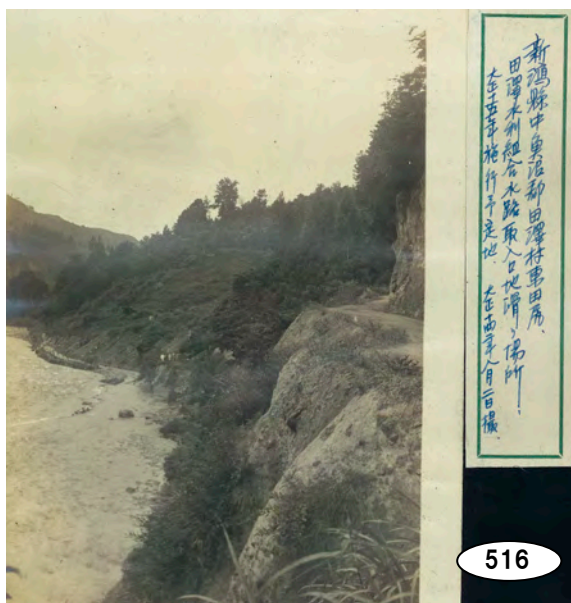


493



501





516



517

妙高地方



499



500

古志郡



485

新潟県古志郡入谷村大字松尾
縣管復旧工事山腹崩落柵架加しや施設計
大正十四年七月三十一日撮



505

古志郡松尾、縣管工事
岩本枝所撮



506

古志郡松尾、縣管工事
岩本枝所撮



507

古志郡入谷村松尾、縣管荒廢地
工事、大正十三年完成施行
岩本枝所撮

糸魚川



526

新潟縣西頸城郡根知村地内
縣管荒廢地復旧工事堰堤完成状況
大正十五年九月撮影



527

新潟縣西頸城郡西海村中條
縣復旧工事事務所(植野技手寄贈)

松之山



508



509



510



511



512



513



519



495

長野県

中津川



197



198

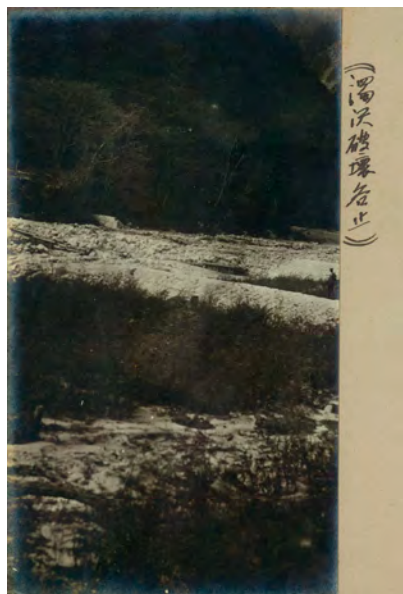


199



200

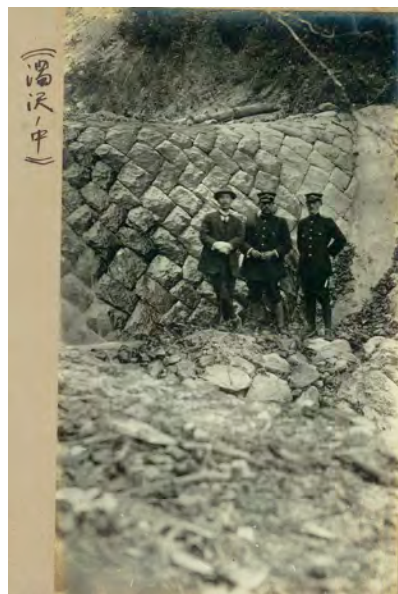
濁沢



201



203



204

島々川



206



207

高瀬川



《高瀬川》

208



《高瀬川》

209



《信州北条》

210



《高瀬川破壊堰堤》

211



《七倉澤》

213

木曾



大正五年六月十三日
本郷
本郷お

284

大正五年六月十三日
本郷
本郷お

287



上高地



上高地

300

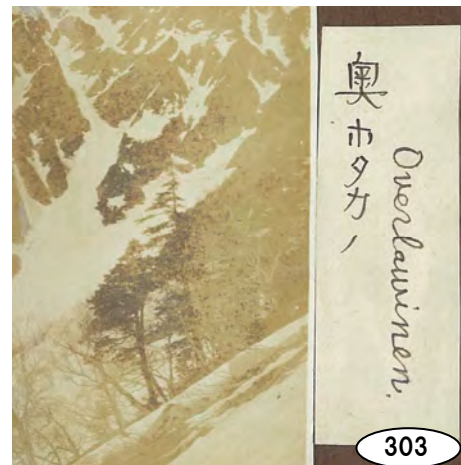


徳本峠ヨリ
市タカラ田

301



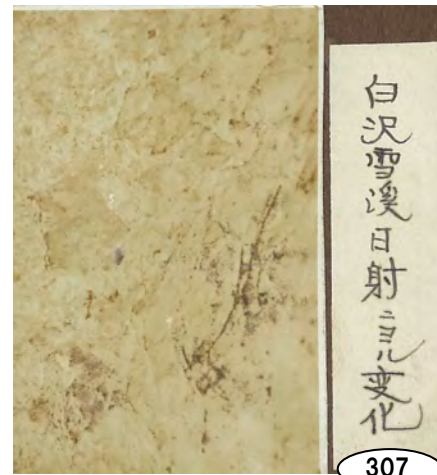
302



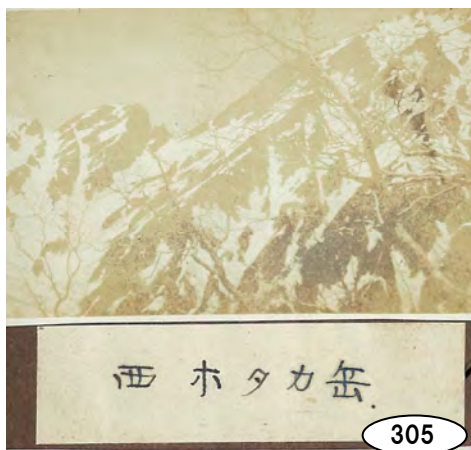
303



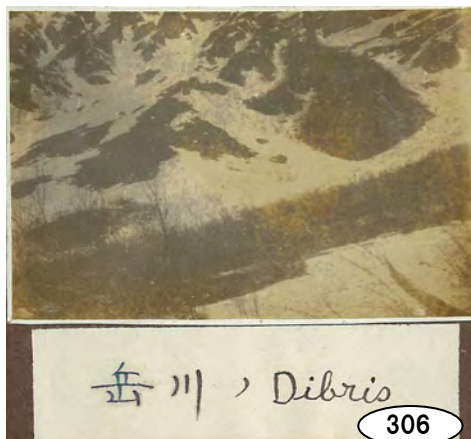
304



307



305



306

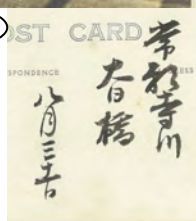


223

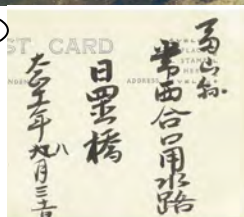
富山県 常願寺川



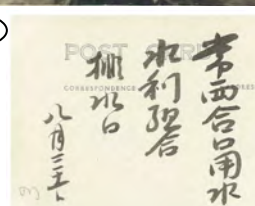
245



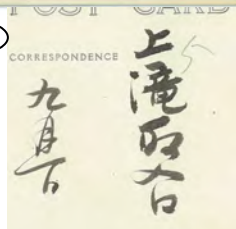
246



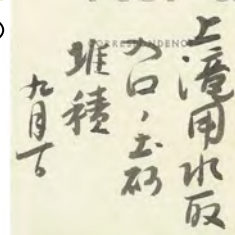
248



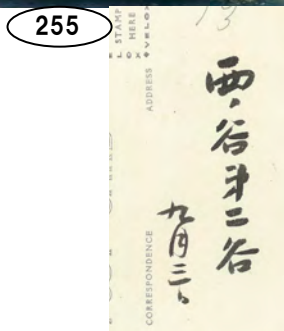
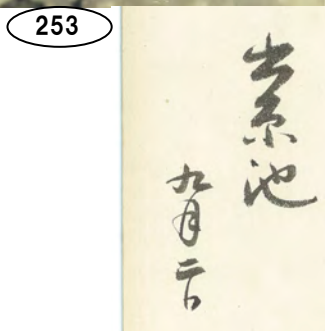
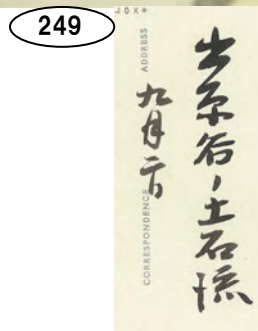
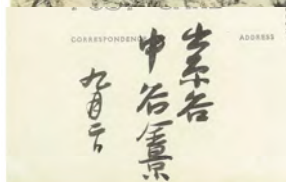
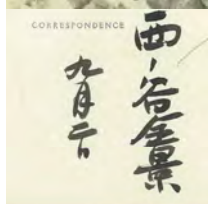
247



250



立山カルデラ





西ノ谷より下ス
九月三日

256



中ノ谷
九月三日

257



大雪山中ノ谷
九月三日

259

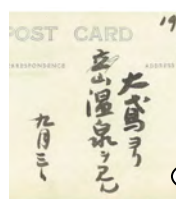


258



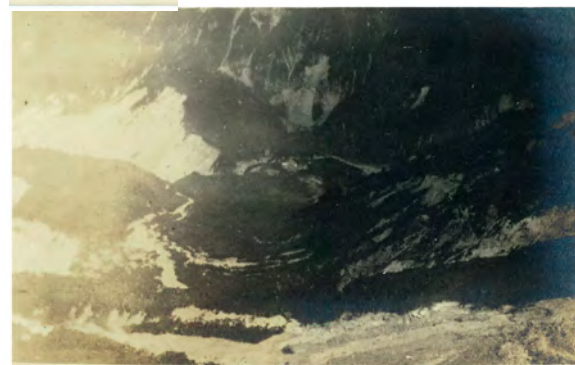
大雪山より下ス
九月三日

260



261

大雪山より
下ス
九月三日





262

大島
高田泉
九月三

263

生糸
西沢
中沢
九月三

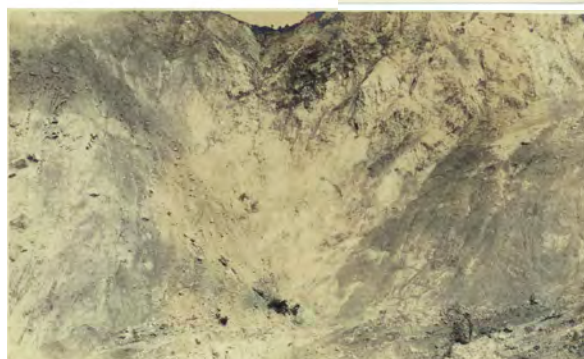


264

大島
生糸
九月三

生糸
九月三

267



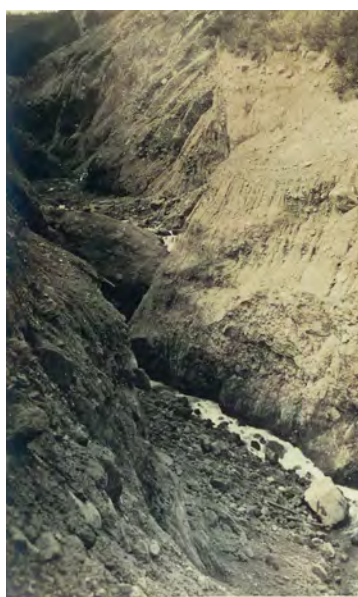
265

大島
奥山
九月三

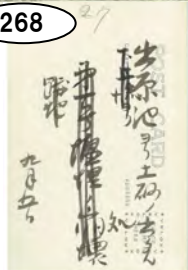
266

大島
西沢
中沢
九月三

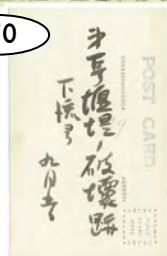




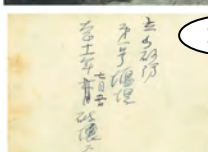
268



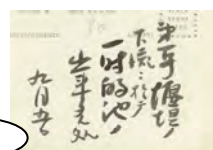
270



269



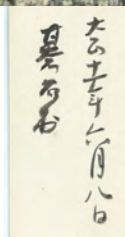
272



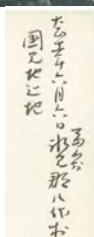
氷見



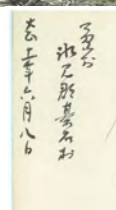
283



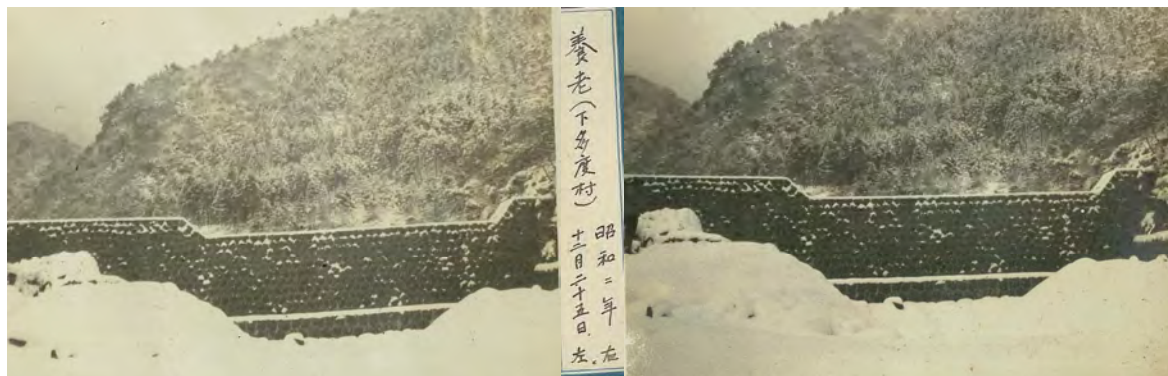
271



282



岐阜県

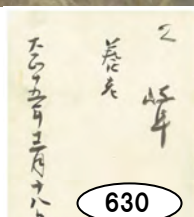
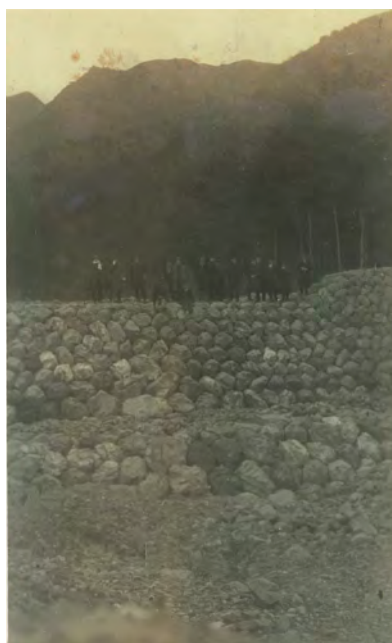


596

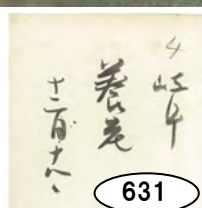
598



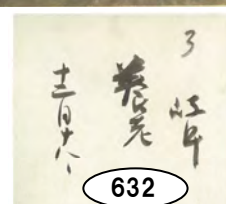
587



630



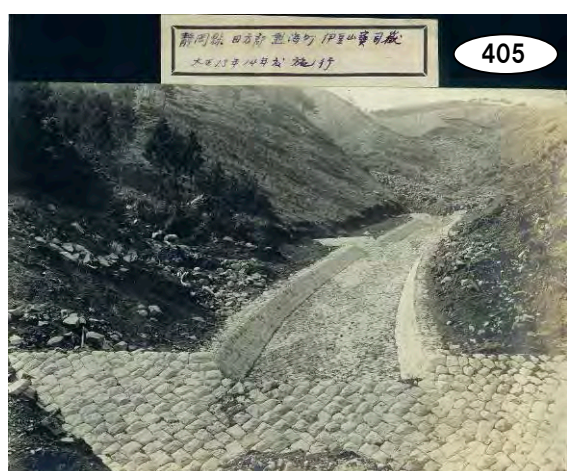
631



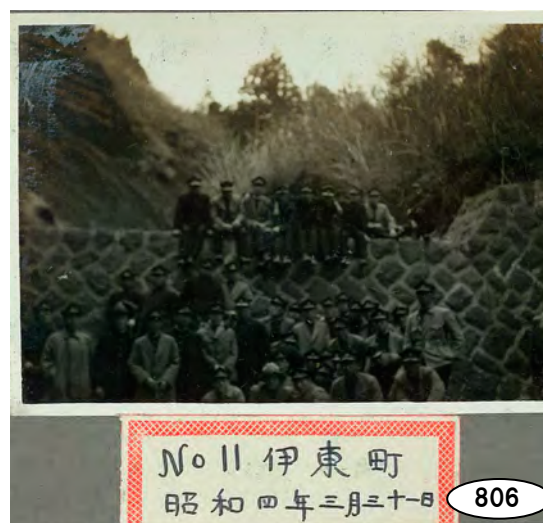
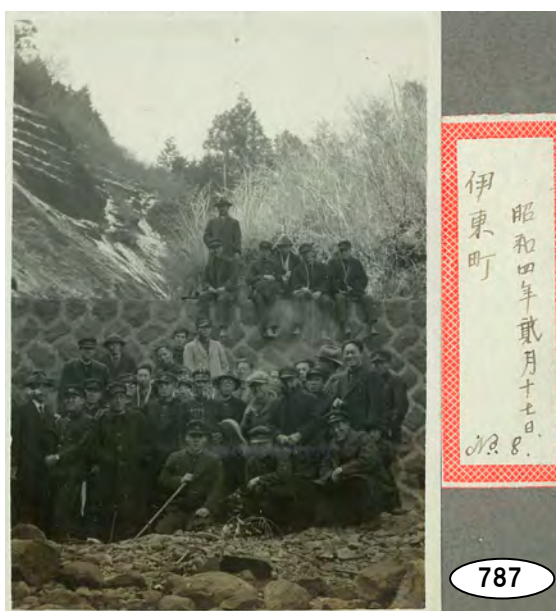
632

静岡県

熱海



伊東町





868

119
伊東町十月十三日



869

(20)
伊東町十月十三日



846

118
伊東一碧湖 五二二



848

118
一碧湖 五二二



844

117
伊東 五二二



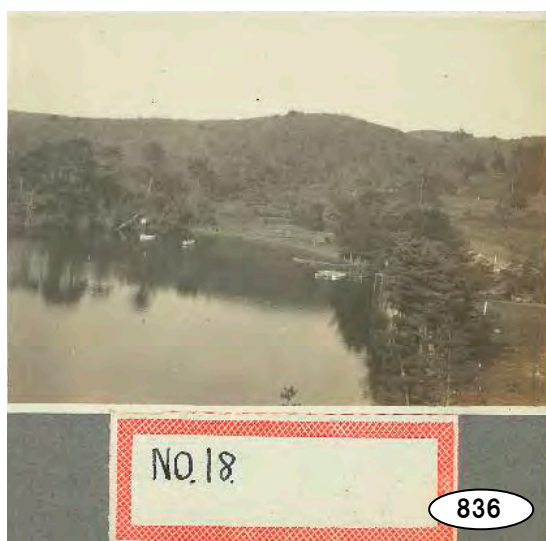
870



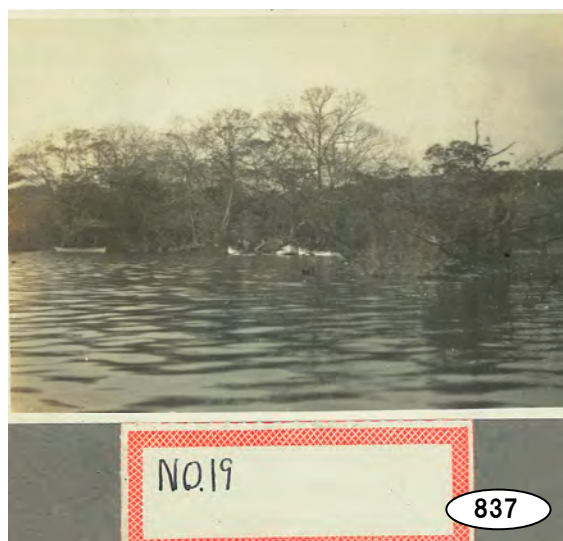
871



847



836



837

由比町



414



415



421

静岡県由比町和瀬川
才三堰堤ノ謫戸散後
大正十五年九月十九日



423

大正十五年九月十九日撮



422

由比町西山寺宇土街和瀬川
大正十五年九月十九日撮

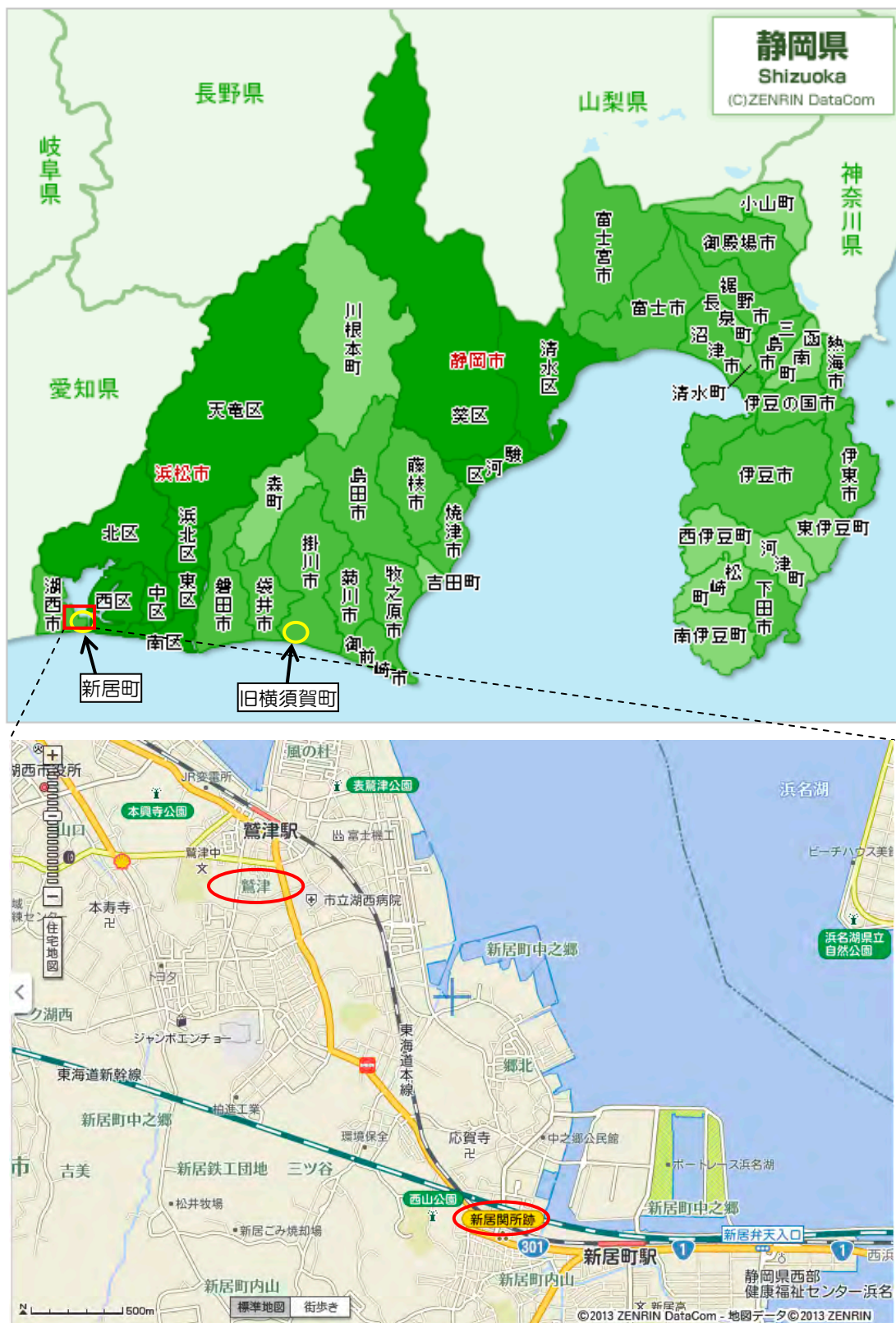


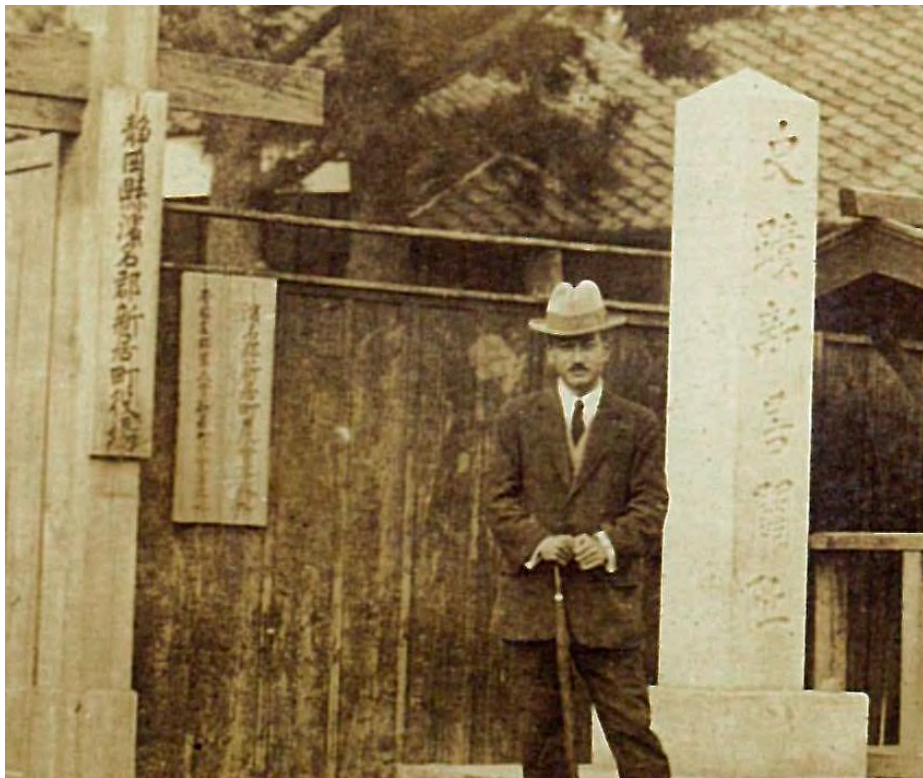
416

新居町

※東大演習林の新居試験地（海岸砂防の実験地）の近く。

（「特定地域」の「東大林学科」 p.91 を参照）





400 の拡大。左の看板に「静岡県濱名郡新居町役場」の文字あり。p.91 を参照

横須賀町



弁才天川口
昭和四年六月一日

445



弁才天川口
くろまつノ根
大沢技手 4.6.1

455



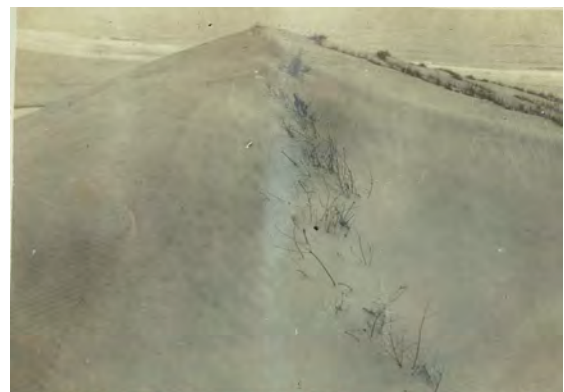
弁才天川口
石少丘遠望
昭和四年六月一日

446



弁才天川口、黒字所ハあきぐみヲ
混植 左方ノ黒松直生セル
あきぐみヲ混植セリ所
四年六月一日

447



弁才天川口
砂丘突端
四年六月一日

448



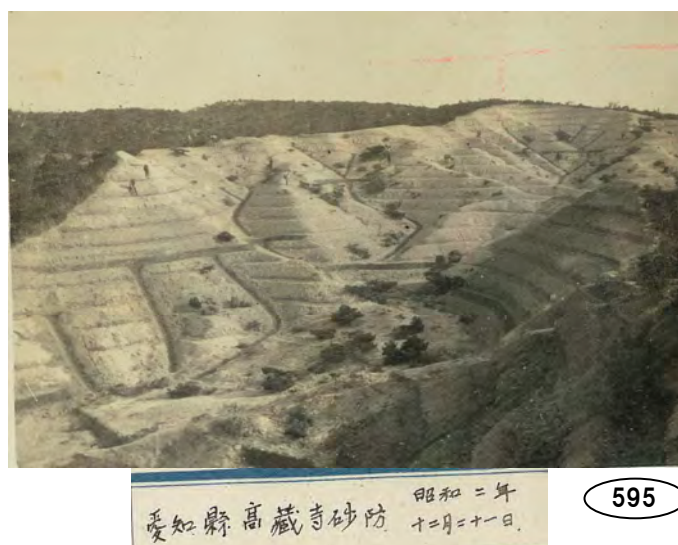
愛知県 高蔵寺村



584

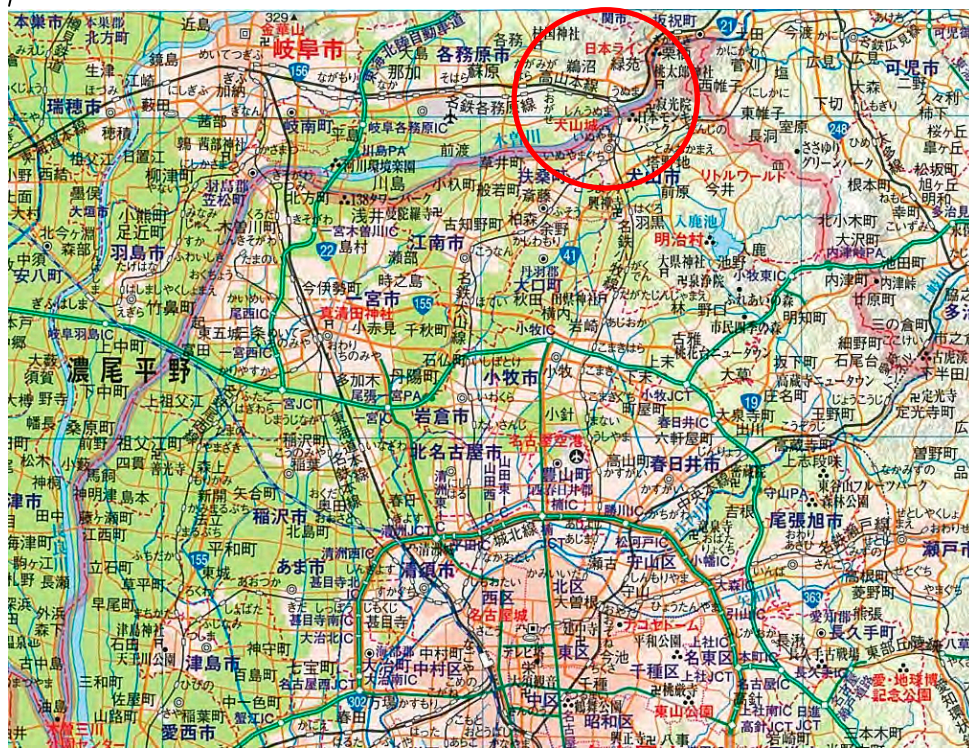


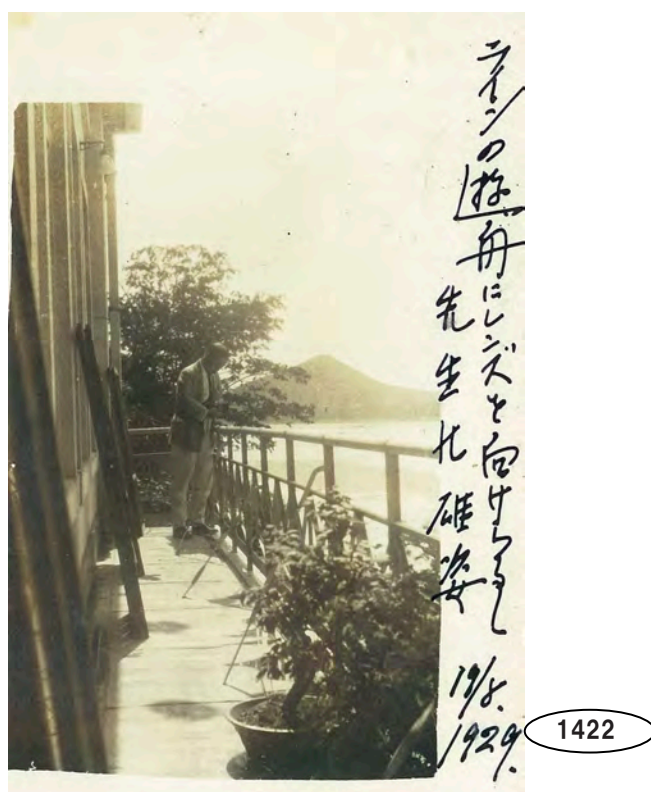
585



595

城東村(現:犬山市)





日本ライン（にほんライン）とは、岐阜県美濃加茂市から愛知県犬山市にかけての木曽川沿岸の峡谷の別称。風景がヨーロッパ中部を流れるライン川に似ていることから、志賀重昂によって命名された。全長 13km にわたって「溪流の美しさを味わいながら、約 1 時間半の川下り遊覧（「日本ライン下り）」ができる」とされている。

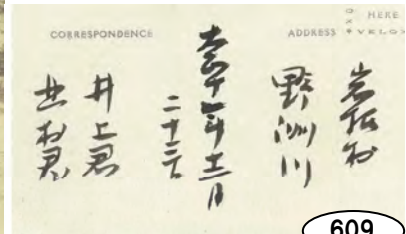
（鈴木雅一）

三重県 諸戸山林

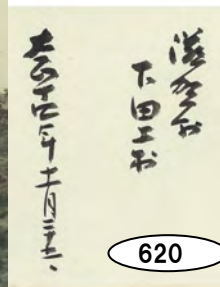


滋賀県





609



620



滋賀県
五月五日

561

京都府

亀岡市



京都 旭村

574



615

京都府
旭村
大正三年十月十一日



京都府旭村
大正三年十月二十六日

628



京都府
旭村 柳屋佐三
大正三年十月二十日

617



京都府 千歳村
七名川
大正十四年三月三十一日

624



京都府
千歳村
大正十四年三月三十一日

622

京都市西京区



京都府 松尾村
大正十四年一月十六日

556

城陽市



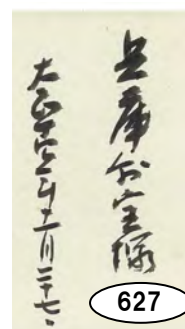
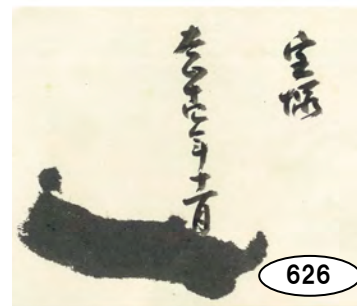
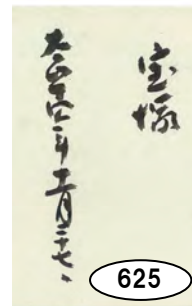
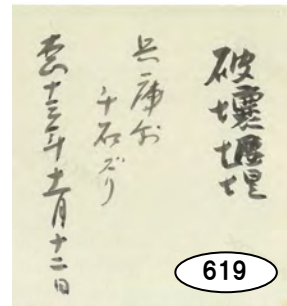
京都府 青谷町
大正十四年十二月

564

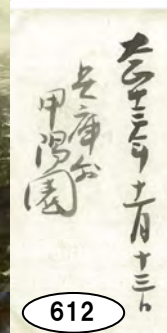
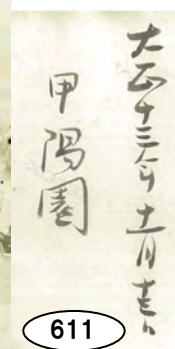
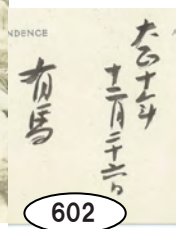
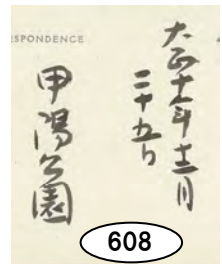
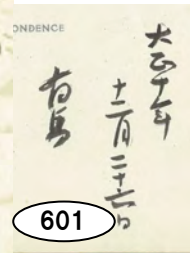
兵庫県

宝塚





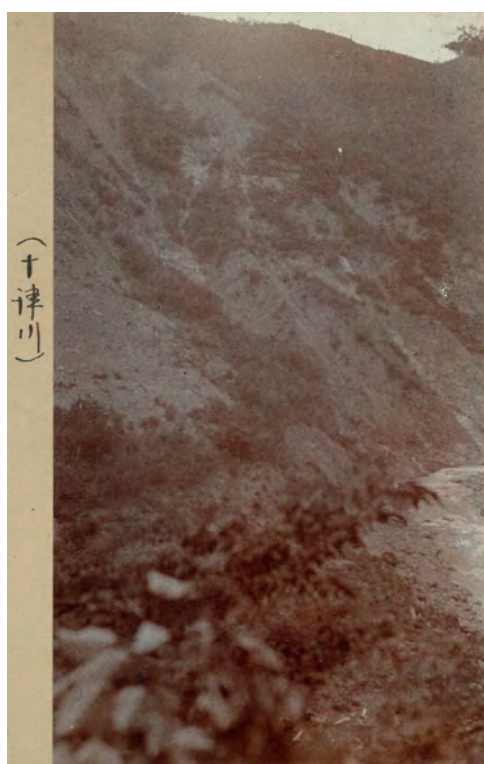
甲陽園



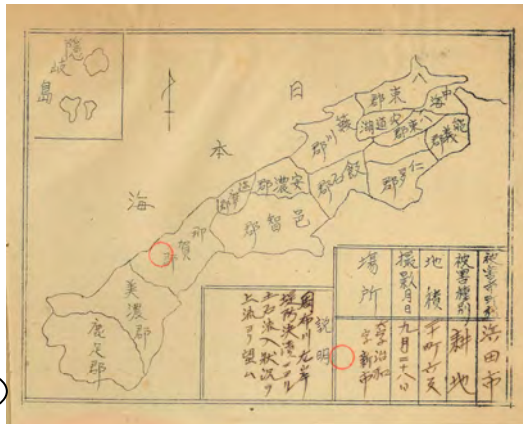
※大日本山林会報, 375 号(1914)の p. 53-55 に、小林省二君より博士がもらった写真である旨の記載あり



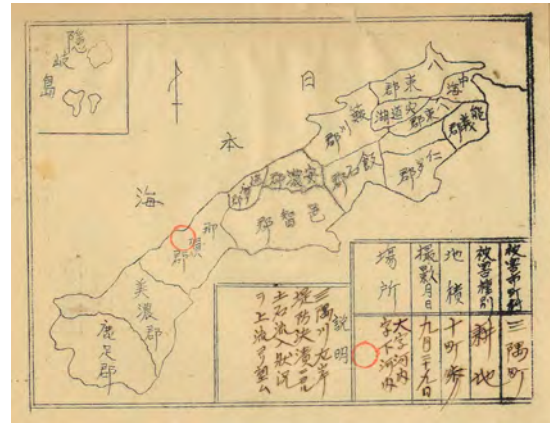
奈良県



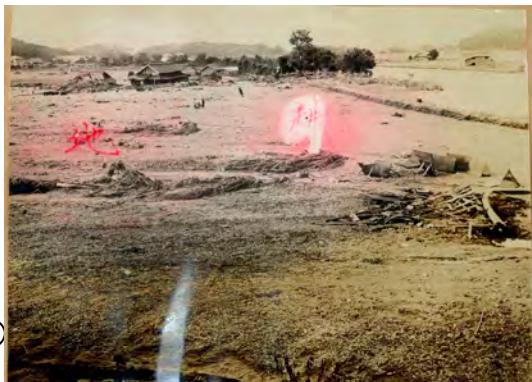
島根県



648



653



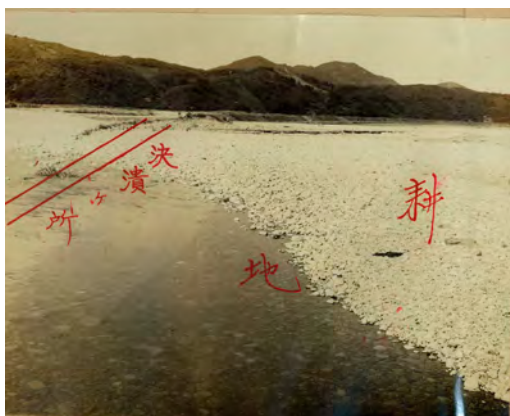
649



654



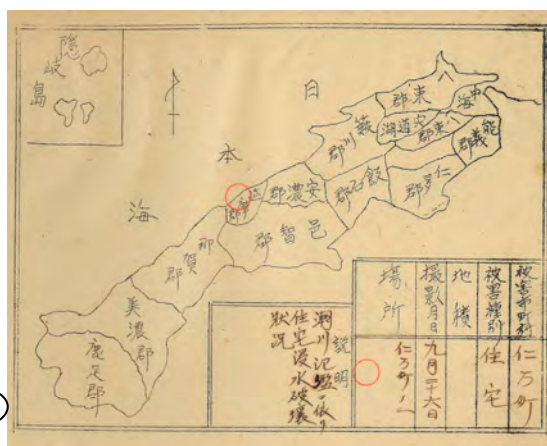
650



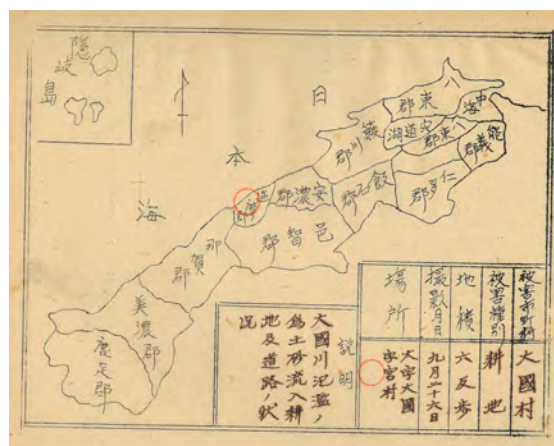
651



652



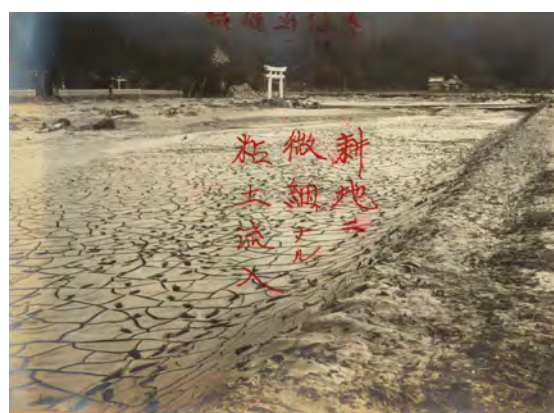
655



660



656



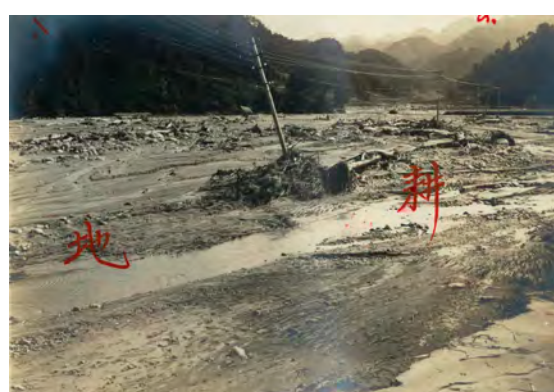
661



657



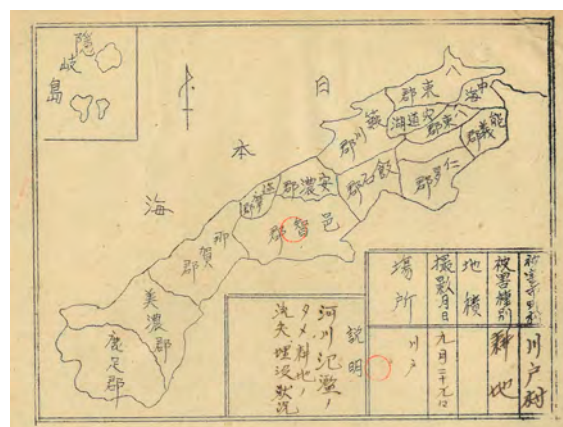
658



659



662



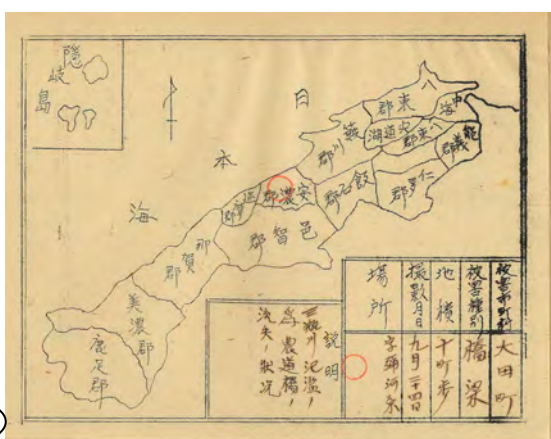
668



663



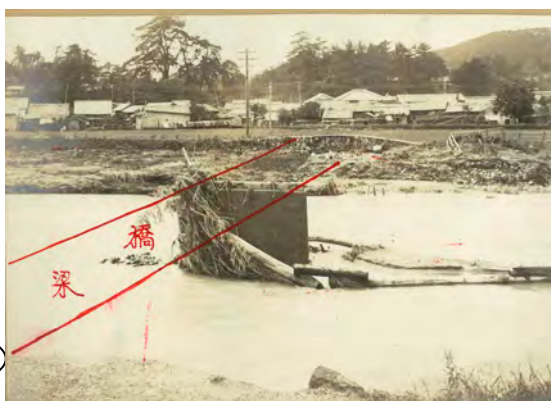
669



664



666



665



667

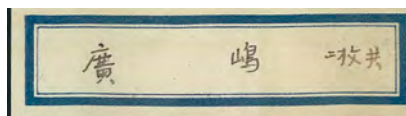
広島県



577



578



579



580



576

香川県



大川郡相生村、於此荒地用縣直管苗圃
苗圃地質和泉砂岩、細粉砂
大正十四年度

673



作田川流域 施行年度 大正十四年度縣直管
施業地 三臺郡粟井村安板嶺 4650
茅二郷石 二種 一抱石混 凝土 (野面石種)

676



從面積及黃虎^虎人^人金^金首^首指^指用^用此^此縣^縣黃^黃事^事施^施業^業從^從三^三豐^豐鄉^鄉此^此
 二^二村^村各^各地^地中^中之^之施^施業^業身^身度^度正^正在^在四^四年^年月^月前^前傳^傳耳^耳展^展大^大
 七^七月^月九^九日^日水^水災^災後^後之^之施^施業^業因^因此^此地^地下^下地^地災^災後^後之^之施^施業^業
 一^一其^其上^上二^二村^村之^之施^施業^業二^二村^村之^之施^施業^業二^二村^村之^之施^施業^業
 一^一其^其上^上二^二村^村之^之施^施業^業二^二村^村之^之施^施業^業二^二村^村之^之施^施業^業

675



大正九年皮縣管工事上高須村
神丘 三置郡上高須村大字上高須字東京五三八番地三
新田 高須川
大正十三年三月 上高須黒豆支五種於於六斗増大敗狀(元)
撮影 大正十四年七月(二十二年正月定立時撮影) (撮影)

674



第二聯
所在地 仲舒鄉郭野村字半山 356番地
土地所有權人 余 郭 潘 洪 七 普通水利組合
張 彭 三 合 元 川
五 合 元 川

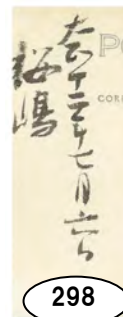
677



地盤保護工事成績 (永旺縣費工事)
大川郡鴨部村郷社鴨部神社
護土 粗梁 各田垣包 紫工 萌芽、状況

678

鹿児島県



県名不明

砂防施設



216



218



219



220



221



226



227



229



231



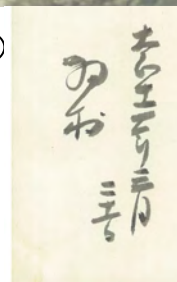
233

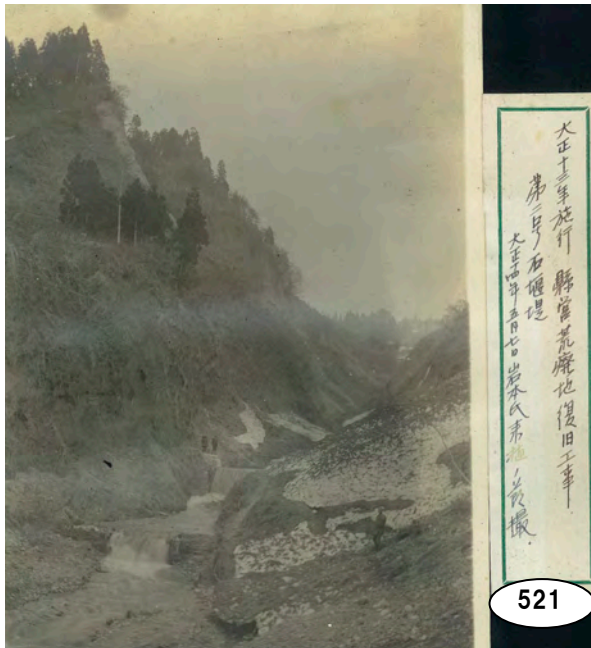


237



639





521



大正十三年三月
おお

641



523



POST
CORRESPONDENT
大正十三年三月
寺地

642



524



643



525



528



537



214



215



217



222



224



225



230

荒廃地



236



338



336

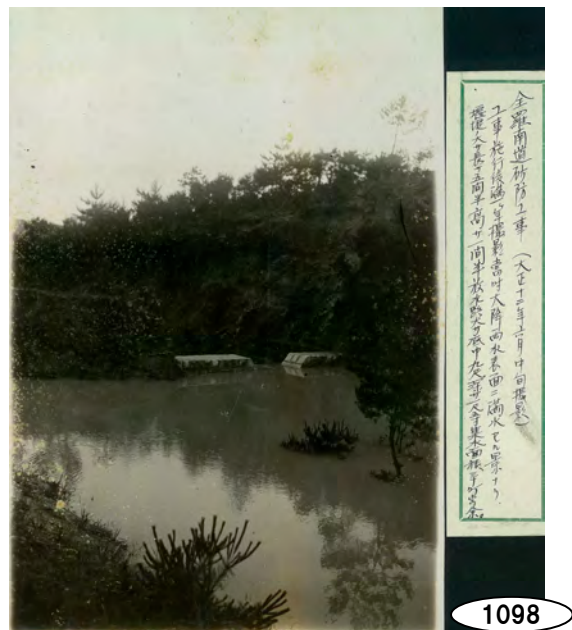


339



337

4. 朝鮮





1103



1104



1105



1106



1107



1108



1109



1110



1111



1112



1113



1114



1115



大正11年度施工時状況 上 No.2
下 No.3

1116



大正11年度起工最初山形明瞭

1117



大正11年度竣工後状況
大正11年5月17日撮影

1118



大正11年度施工地施工前状況
11年5月撮影

1119



施工植栽後満1年後状況

1120



1121



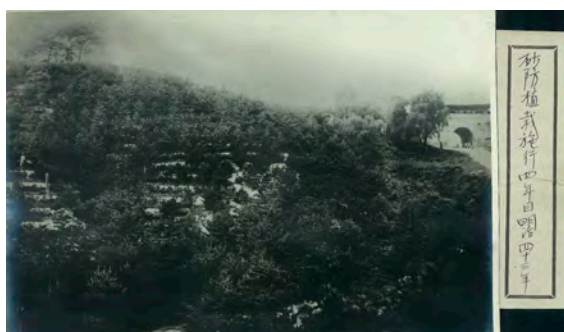
1122



1123



1124



1125



1126



1127



1128



1129



1130



1131



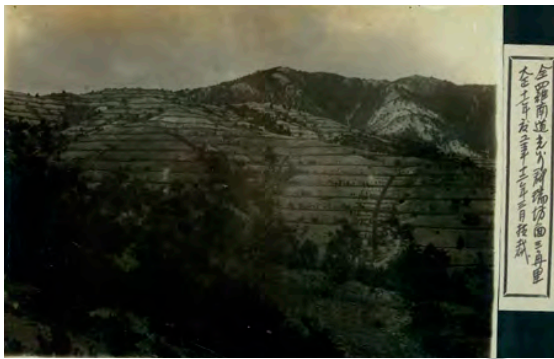
1132

朝鮮全南支分郡瑞坊石三角里
工事前、完工 大正十四年

1133



1134



1135



1136



1137



1138



1139



1140



溫井里, 龍南所 (江陵)
大正十四年十月二十日

1141

1142

海金剛 (江原道漢陽林)
大正十四年十月二十日



柳洞新築里, 左峰里 (江陵)
大正十四年十月二十二日撮影

1143

1144

柳洞新築里, 作業所前 (江原)
大正十四年十月二十四日



姑味城里行途上, 功器店河渡 (江陵)
大正十四年十月二十四日

1145

1146

姑味城里, 作業所前 (江陵)
大正十四年十月二十五日





新榮里橋上ニテ(江濱)
大正十四年十月二十五日撮

1147

1148

大鹿里峯ノ頂ニテ(江濱)
大正十四年十月二十六日



江嶺行途上、五湖里渡坊ニテ
(江濱) 大正十四年十月十七日撮

1149

1150

江嶺行途上、東草里海岸ニテ
(江濱) 大正十四年十月十七日撮



江嶺行途上、東草里海岸ニテ
(江濱) 大正十四年十月十七日撮

1151

1152

江嶺行途上、東草里海岸ニテ
(江濱) 大正十四年十月十七日撮





江嶺 行途上東草里海岸ニテ (江漢) 大正十四年十月二十九日撮影

1153

1154

高城 華勢乃前ニテ (江漢) 大正十四年十月二十九日撮影



温井里 萬物洞ニテ (江漢) 大正十四年十月二十九日撮影

1155



温井里 萬物洞ニテ (江漢) 大正十四年十月二十九日撮影

1156



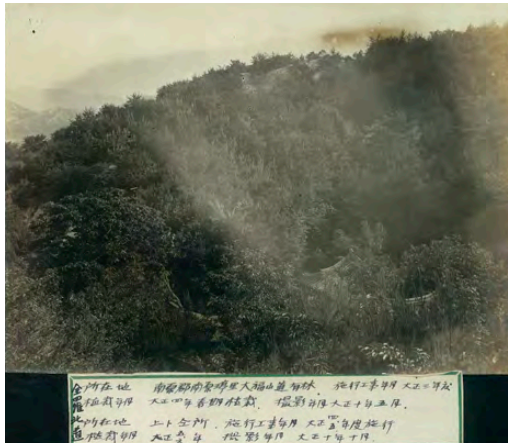
温井里 萬物洞ニテ (江漢) 大正十四年十月二十九日撮影

1157



所在地 南京郊外景面 瑞里大福山道 竹林
旅行工事年月 自大正四年一月—至大正五年三月
撮影年月 自大正五年一月—至大正六年四月
大正八年九月

1158



所在地 南陽郡南陽里大福山麓有林 施行二十五年 大正二年秋
撮影 大正四年春 撮影 大正十年五月
所在地 上ノ全所 施行二十五年 大正五年秋施行
撮影 大正五年 撮影 大正十年十月

1159



1160



所在地 南陽郡南陽里大福山麓有林 施行一四五年秋
撮影 大正五年二月 撮影 大正十年一月
所在地 南陽郡南陽里大福山麓有林 施行一四五年秋
撮影 大正五年二月 撮影 大正十年一月

1161



1162



所在地 南陽郡南陽里大福山麓有林 大正九年秋施行
大正十年四月撮影 大正十年六月撮影
所在地 南陽郡南陽里大福山麓有林 (南陽郡) 施行 大正十年
撮影 大正十年十一月撮影 撮影 大正十二年一月

1163



1164



所在地 南浦郡三岐面廣岐里面何林 施行工事大正六年
大正十年—大正十一年四月撮影大正十一年六月
所在地 南浦郡三岐面廣岐里 施行工事大正六年—大正十一年
撮影大正十一年三月—大正十一年四月撮影大正十一年六月

1165



1166



所在地 南浦郡三岐面 内牧里 施行工事大正六年—大正十一年
大正十年—大正十一年四月撮影大正十一年六月
所在地 南浦郡三岐面 内牧里 (地番17-21) 施行工事大正十
一年—大正十二年三月撮影大正十二年一月

1167



1168



所在地 南浦郡三岐面雙洞里 (地番123-15) 施行工事
大正十一年—大正十二年三月撮影大正十二年六月
所在地 南浦郡三岐面雙洞里 (地番123-15) 施行工事大正十
一年—大正十二年三月撮影大正十二年六月

1169



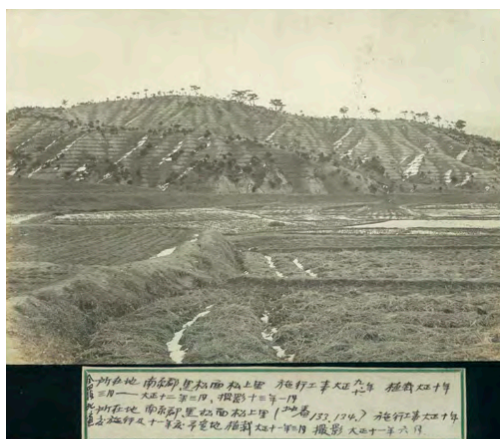
1170



1171



1172



1173



1174



1175



1176



所在地 南陽郡大山面 峻龍山上の見れ全景
撮影角度 大正十年六月
所在地 南陽郡正岐面内山 十二号施打工事
撮影 大正十一年一月撮影予定、十三年一月完成

1177



1178



所在地 星山面 梨園里
大正十二年六月撮影

1179



朝鮮 忠清南道 禮山郡 新陽面
大正十五年七月廿二日 水害
山腹崩壊死者一人 負傷者一人
崩壊した山腹は石が崩れ、谷に落ち、谷の底に石が堆積した。八月十四日に撮影

1180



朝鮮 忠清南道 禮山郡 新陽面
大正十五年七月廿二日、水害
今年八月廿二日撮影

1181

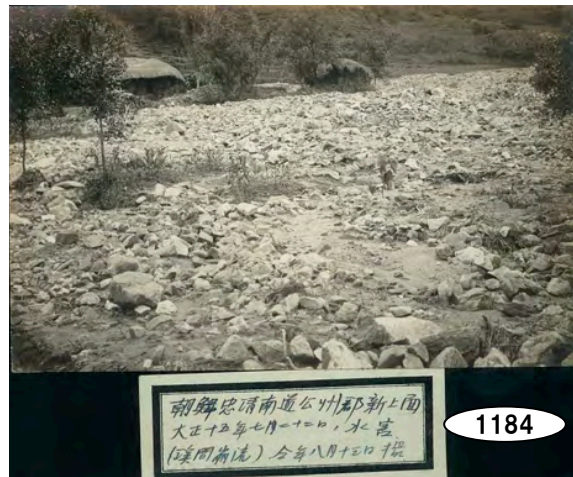


朝鮮 忠清南道 公州郡 新上里
大正十五年七月廿二日、水害(溪河崩壊)
八月十三日に撮影

1182



1183



1184



1185



1186



1187



1194



上 江東道懷德縣，多雲處林下
全環路林，小丘，景
大正五年八月十五日撮影

1188



上 江東道懷德縣，多雲處林下
全環路林，小丘，景
大正五年八月十五日撮影

1190



1189



1191

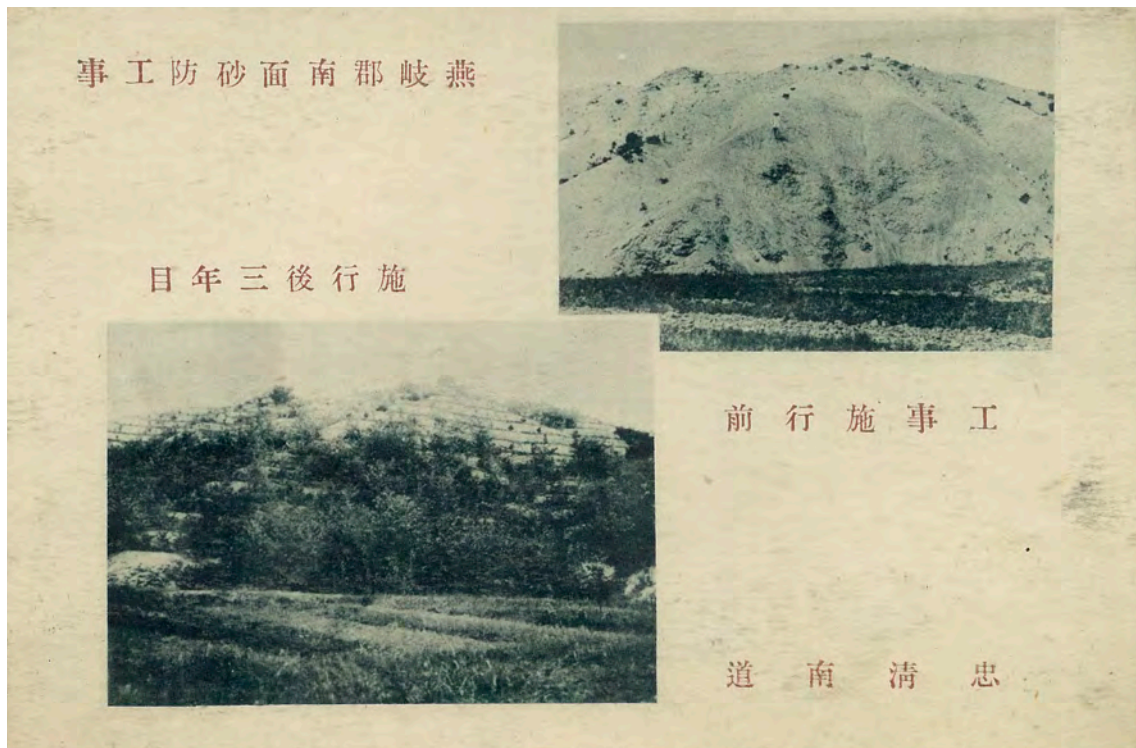


1192

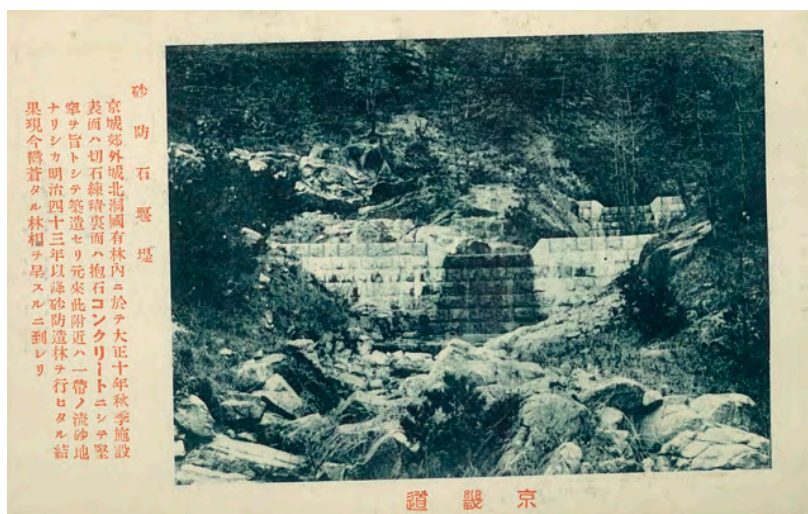
右 江東道懷德縣，多雲處林下
全環路林，小丘，景
大正五年八月十五日撮影



1193



1195



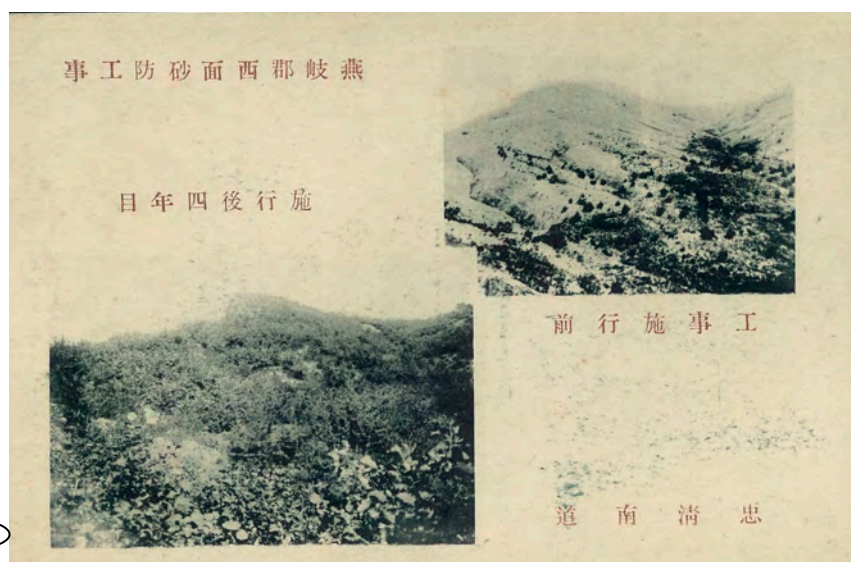
1196



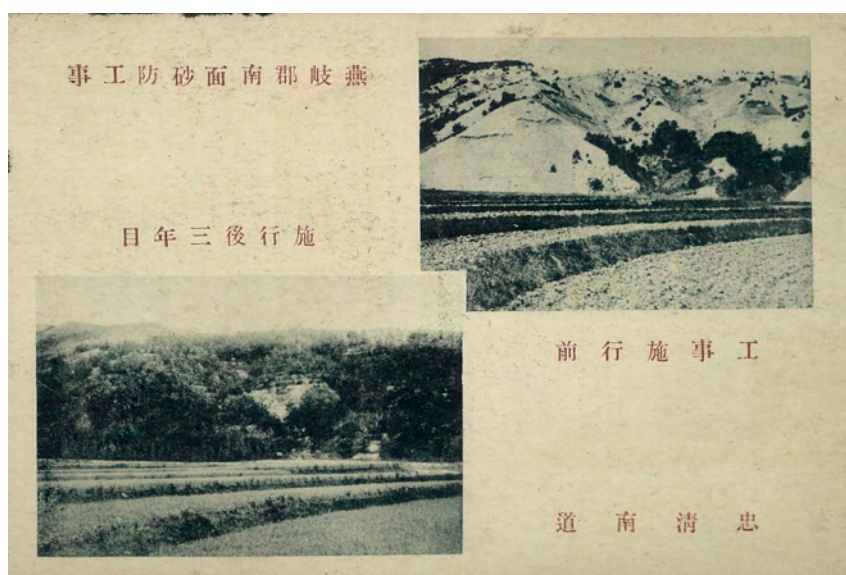
1197



1198



1199



1200



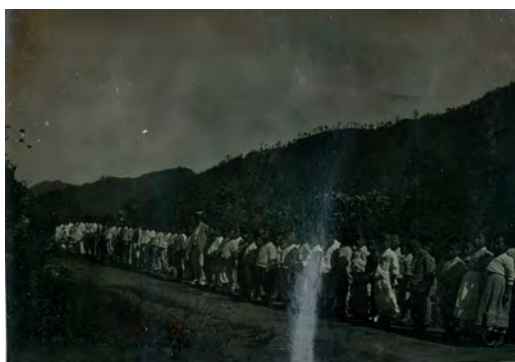
姑妹城里小學校
建築ハ郡ノ私立學校ノ建築
ノ再現アリ。種々面倒ナレ
ニテ貴仁園ノ長ニル学校
難成會ハ大難過吹ノ使渡
林ニ可ナリ面倒ヲ見中候。

1201



No. 2. 温井里
九月二十四日

1204



No. 4. 姑妹城里
九月二十五日

1206



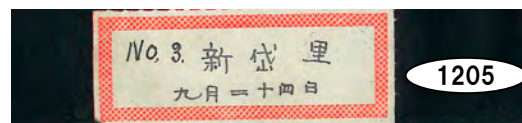
No. 0.
温井里
昭和三年九月十三日

1202



No. 1.
温井里
昭和三年九月十四日

1203



No. 3. 新岱里
九月二十四日

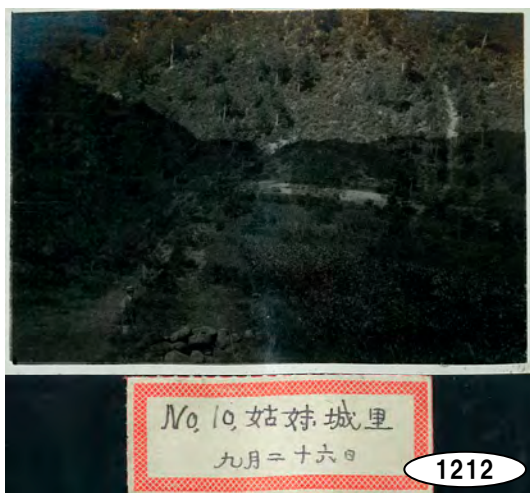
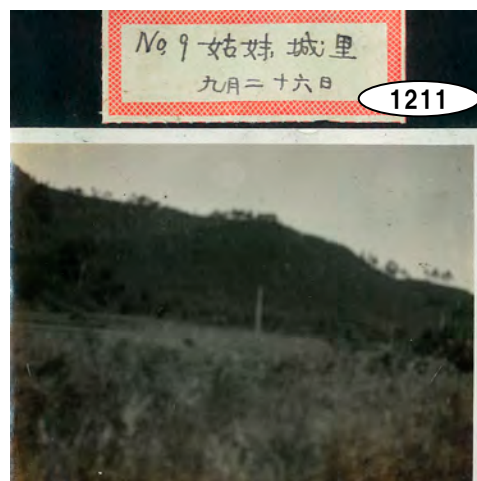
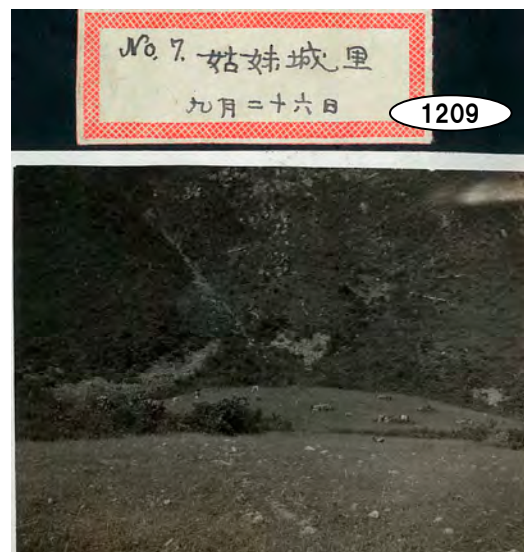
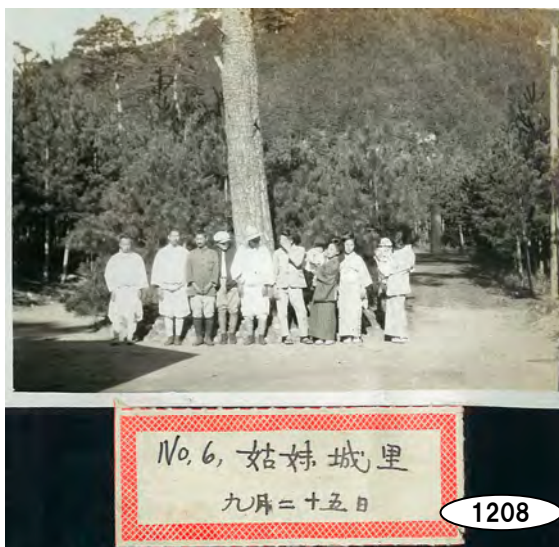
1205



No. 5 姑妹城里
九月二十五日

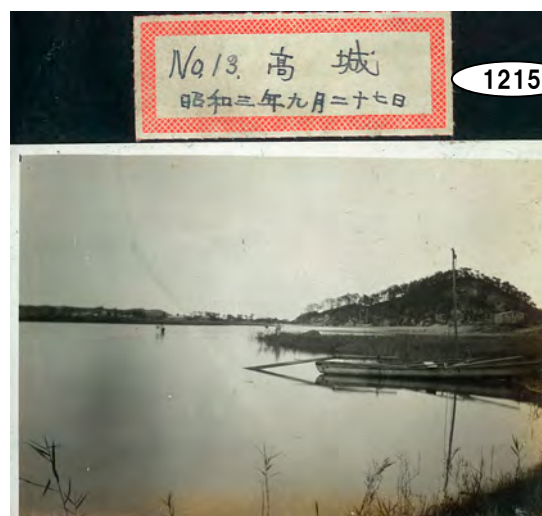
1207







1214



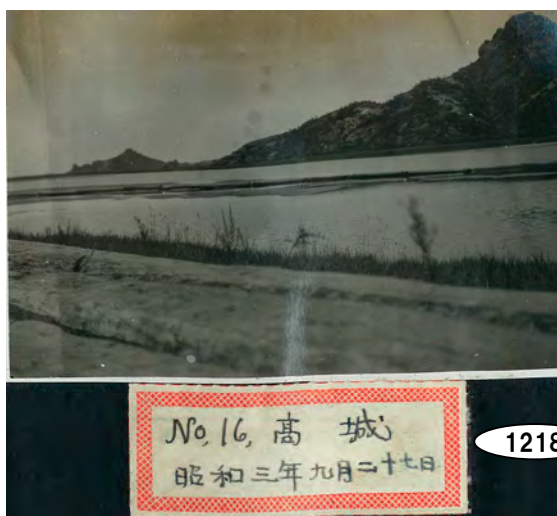
1215



1216



1217



1218



1219





No.1 驪州
昭和四年十月五日撮ス

1226



No.2 驪州
昭和四年十月五日撮ス

1227



No.3 驪州
昭和四年十月五日撮ス

1228



No.4 驪州
昭和四年十月五日撮ス

1229



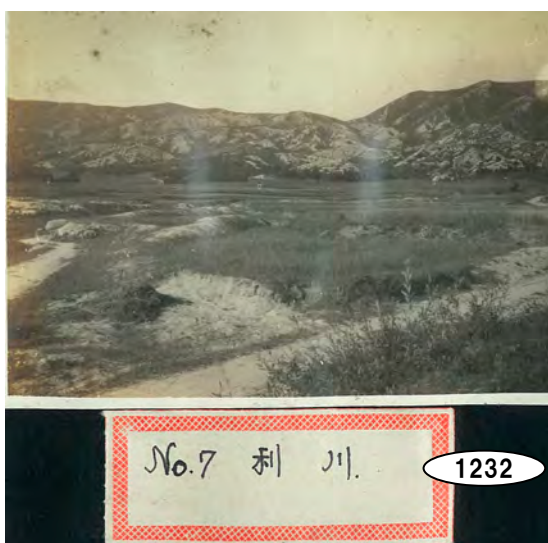
No.5 驪州
四年十月五日撮ス

1230



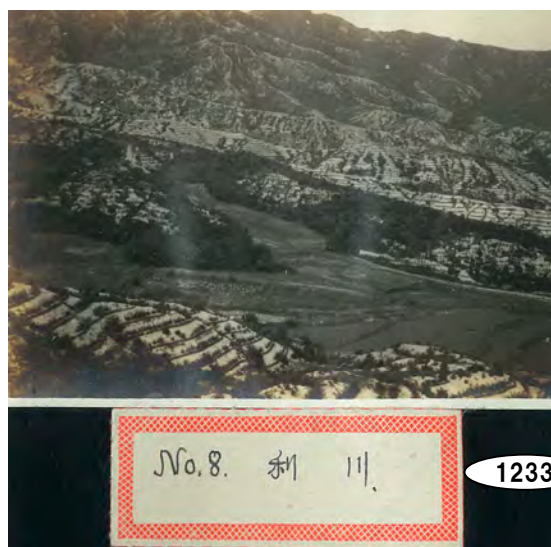
No.6 利川

1231



No.7 利川

1232



No.8. 利川

1233



No.9. 利川

昭和四年十月六日撮入

1234



No.10. 始興

昭和四年十月十二日撮入

1235



No.11. 始興

四年十月十二日撮入

1236



No.12. 始興

四年十月十二日撮入

1237



No.13. 楊州
昭和四年十月十三日

1238



No.14.
楊州
四年十月十三日

1239



No.15. 楊州
四年十月十三日撮ス

1240



No.16. 楊州
四年十月十三日撮ス

1241



No.1 龍仁
昭和五年七月二十日

1242



No.2 龍仁
昭和五年七月二十日

1243



No.3 龍仁
昭和五年七月二十日

1244



No.4 龍仁
昭和五年七月二十日

1245



No.5 龍仁
昭和五年七月二十日

1246



No.6 龍仁
五年七月二十日

1247



No.7 龍仁
昭和五年七月二十日

1248



No.8 龍仁
五年七月二十日

1249



No. 9. 龍仁.
五年七月二十日

1250



No. 10. 龍仁.
五年七月二十日

1251



No. 11. 龍仁.
五年七月二十日

1252



No. 12. 龍仁.
五年七月二十日

1253



No. 13. 龍仁.
五年七月二十二日

1254



No. 14. 楊州.
五年七月二十二日

1255



No. 21. 高城南江
五年七月=十七日

1262



No. 22 高城
五年七月=十七日

1263



No. 23 高城
五年七月=十七日

1264



No. 24 高城
五年七月=十七日

1265



No. 25. 高城
五年七月=二十八日

1266



No. 26. 儒城
五年七月三十日

1267



No. 27. 儒城.
五年七月三十日.

1268



No. 28. 29. 儒城.
五年七月三十一日.

1269



No. 30. 儒城.
五年七月三十一日

1270



No. 31. 儒城.
五年七月三十一日

1271



No. 32. 儒城.
五年七月三十一日

1272



No. 33. 南原.
五年八月一日

1273





No. 40. 金山.
五年八月四日

1280



No. 41. 光陽.
五年八月五日

1281



No. 42. 秋山里.
五年八月五日.

1282



No. 43. 秋山里.
五年八月五日

1283



No. 44. 秋山里.
五年八月五日

1284



No. 45. 秋山里.
五年八月五日

1285





1290



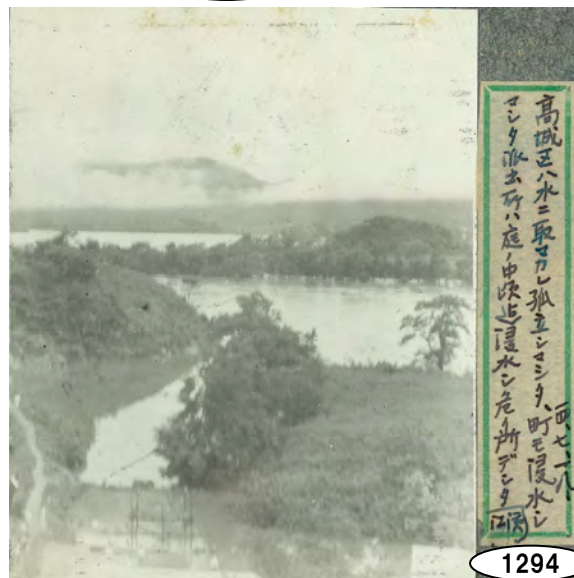
1291



1292



1293



1294



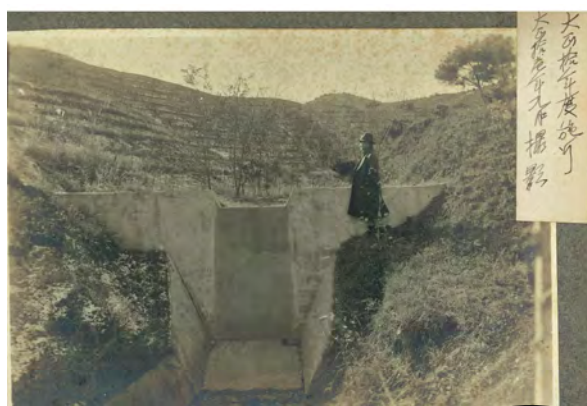
1295



自六日大洪水、多々流去せし木板、松島津
至八日海岸漂着。江、七、四、七、三、根

附錄
忠清南道忠清郡
西面東里
大正八年
諸戶先生以東場
附近

1296



大正七年度施行
大正七年九月攝影

1297



大正按金度施行
大正按金度施行

1298



大正九年度施行
大正九年九月撮要
(植栽後一ヶ月五ヶ月)

1299



大正庚午度施行
大正庚午九月撮影

1300

1301



1302



1303



1304



1306



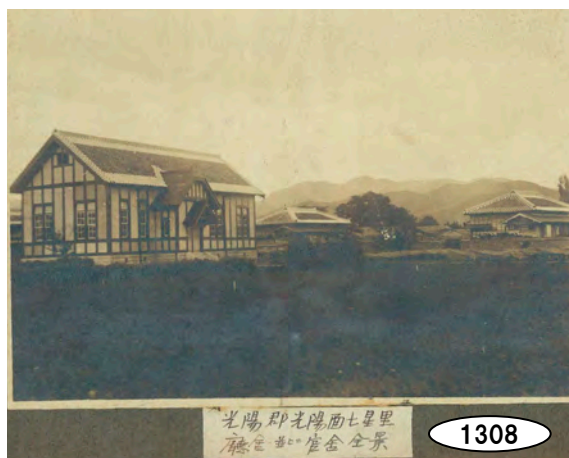
1305



演習林



1307



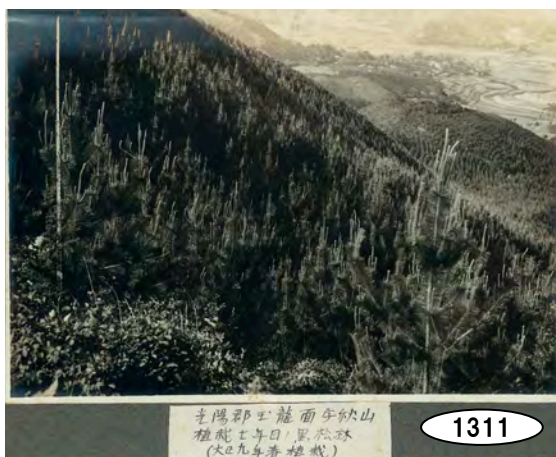
1308



1309



1310



1311



1312



1313



1314



1315



1316



1317



1318







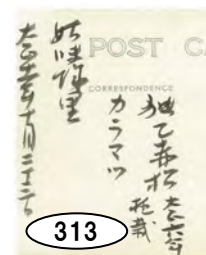
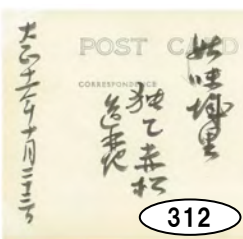
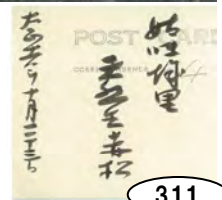
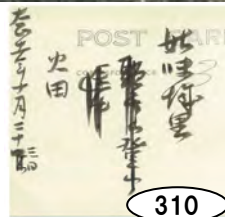
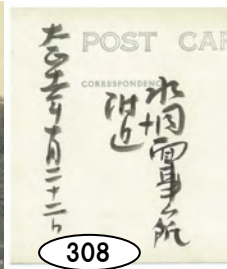
1419



1418

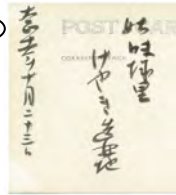


1420

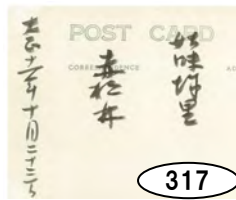
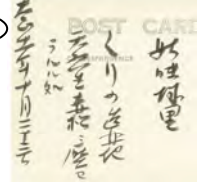




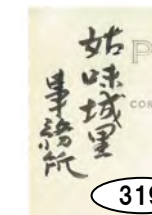
314



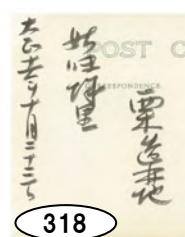
315



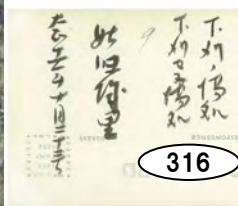
317



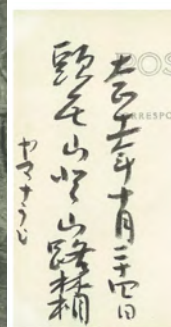
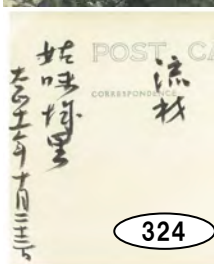
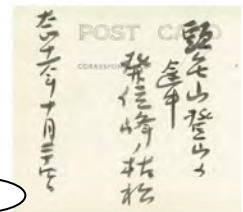
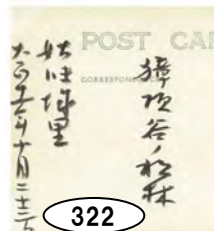
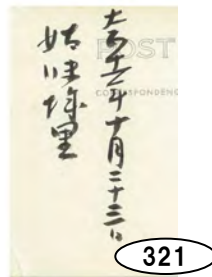
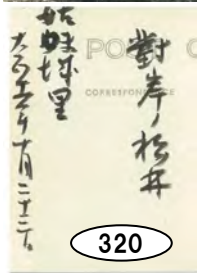
319

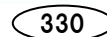
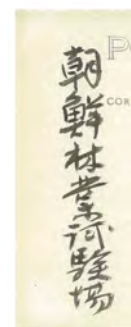
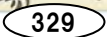
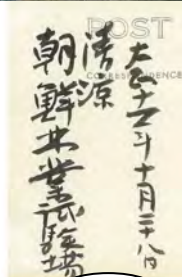
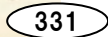
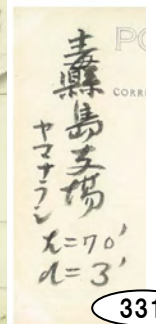
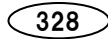
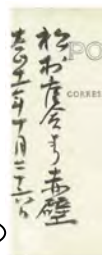
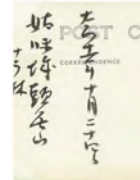
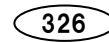
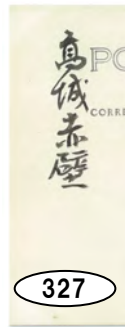


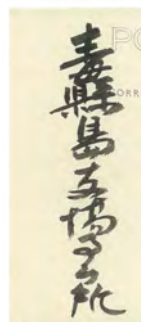
318



316



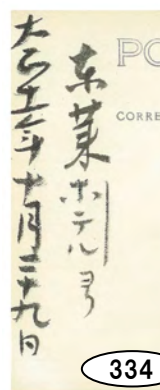




333



332



334



335

5. 森林林業

千葉県



1080



1081



1088



1089



1090



1091



1092



1093

長野県



木曾阿寺御料林伐木事業所 349



木曾阿寺御料林造材釣下 350



木曾阿寺御料林造材小谷出口及小屋 351



木曾阿寺御料林材用丹波手 352



木曾阿寺御料林材運野用良手前 353



木曾阿寺造林山路 354



屋小屋日及出堰谷小林造林料御寺阿曾木

355



場溜木及向橋手找良野用材運林料御寺阿曾木

356



屋在田及羅修出堰谷小林造林料御寺阿曾木

357



白及手棧用材運林料御寺阿曾木

358



場溜材運林料御寺阿曾木

359



路山林造及採伐木立林料御寺阿曾木

360



361



林料御寺阿曾木 362



△望ノ林料御傍近ヨリ醒寢字松上曾木

363



△望ノ林料御ヨリ場見達川小字松上曾木 364



林料御川 鯰字村瀧王曾木

365



め留大入寺阿字大村桑大郡摩筑西州信

374





383



384



385



386



532



533

岐阜県



愛知県



白鳥野材所内構材造材積

340



白鳥野材所内構材及川筋材

341



名古屋古屋市堀川堀民材積

342



濃州各務郡鷲存継立場

343



344



濃州加茂郡麻生網場

345



京都府



奈良県



538



539



540



670



672

6. 人物

写真の内容や記載以外に、アルバムでの写真の前後関係から、県別に整理した。
このため、写真が実際の撮影場所と異なる県に区分されている可能性がある。

青森県



大正十三年七月
青森大森日署

1355

福島県



458



472



475

東京都



龍ヶ崎
赤岩
昭和二年
八月十日

1370

新潟県



新潟県東頸城郡山形温泉坊
出發時
左西見自四時後影

520

神奈川県



1333



1334



1339



1367



1362



1421



1341



1343



平塚海岸 大正九年十月十四日

1361



品野瀧 中川方 昭和二年七月廿三日

1369



品野

昭和二年七月十六日

1364



9 稻根権現

956



7 湖尻橋南端

954



(11) 昭和五年十月十一日
元 稻根橋本屋

860



昭和四年二月四日
仙郎樓

972



(13) 湯河原清査園

862



鍛治屋澤
昭和四年十二月一日

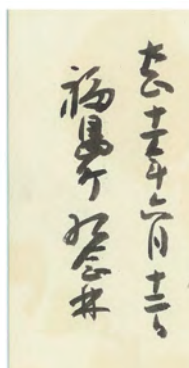
1424



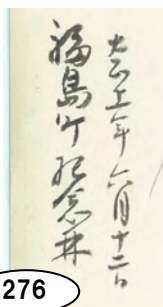
鍛治屋澤
昭和四年十二月一日

1425

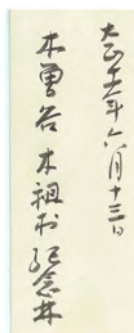
長野県



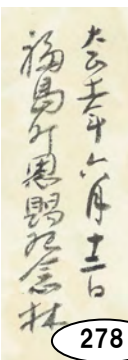
277



276



285



278



本國 中央部 和歌山
大正六年六月十日

288

大正六年六月十日
本國 中央部
和歌山

286



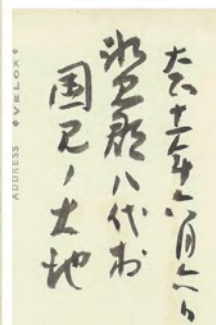
富山県



1344

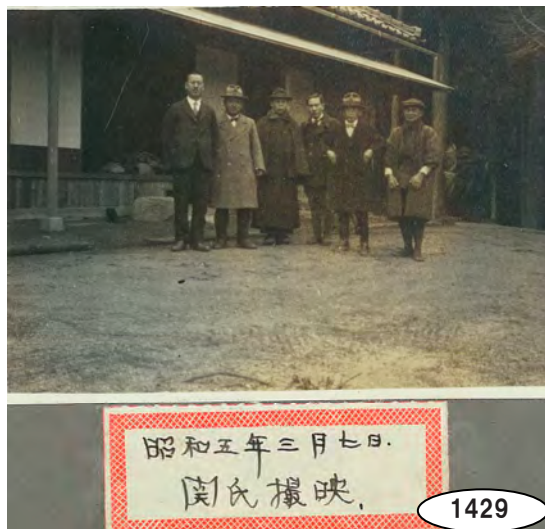


1345



275

静岡県





845



962



917



918



928



970



961



849



977

岐阜県



589

三重県

山田市 神路山

1359



1401



三重縣 智者山

1360



智者山

1404



智者山

1403



1406



1402



伊勢. 神路山
(大正八年八月十一日)

150



山田駅 (8.8.23)

159

滋賀県



滋賀県
下田 孝
龍白
大正十三年十月三日

621



滋賀縣野洲川
大正十三年一月十五日 攝

554



滋賀縣瀬田唐橋
昭和二年
十月三日
No. 10.

590

京都府



大正四年七月四日 西宮
甲陽土地株式会社

610



京都府
千歳石徳陽
大正四年十月三十日

623

奈良県



180



1405

鹿児島県



大正七年七月廿六日
鹿児島
福戸 龍

293

県名不明



148



145



165

7. 文化

写真の内容や記載以外に、アルバムでの写真の前後関係から、県別に整理した。
このため、写真が実際の撮影場所と異なる県に区分されている可能性がある。

福島県



478



479



480



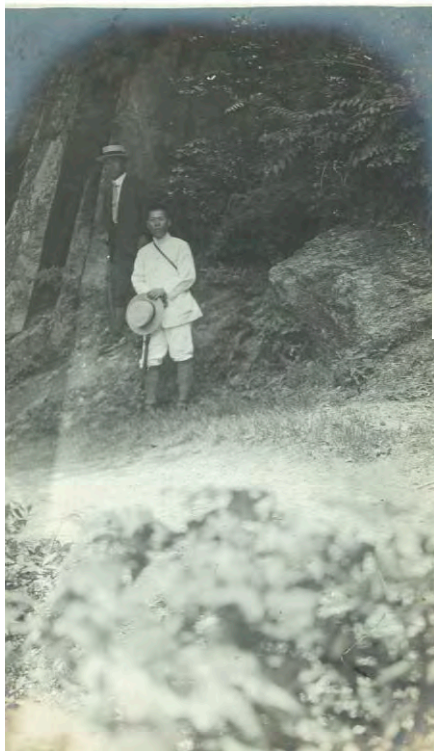
福島県熱塩温泉笹屋旅館前
大正十四年七月二十九日

483



469

埼玉県



大正十年二月三日
甲分長嶽

644



大正十年二月三日
甲分長嶽

645



葡萄園名は長平台平光三君
次が青島の中野 橋本ノ正典君
大正十年二月三日
甲分長嶽川

647

千葉県



1068



1070



1067



1069



1076



1071



1072



1075



1073



1077



1079



1082



1083



1084



1085



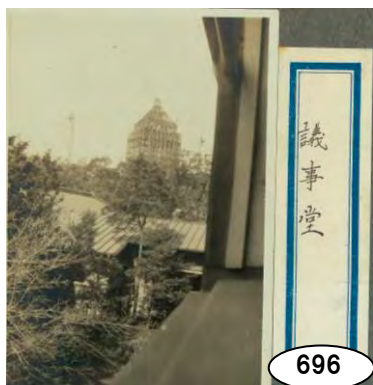
1087

東京都



お山野池
三月二十
大正十四
三月二十
世お

634



696

お山野池
三月二十
大正十四

635



お山野池
三月二十
大正十四
三月二十

636

お山野池
三月二十
大正十四
三月二十

637





1368



1371

新潟県



484



494

神奈川県



長野県



静岡県



402

16.14
二月六日
三嶋歌

984





伊東町 湯籠館
1899. 昭和四年二月十七日

788



伊東町 十月十三日

867



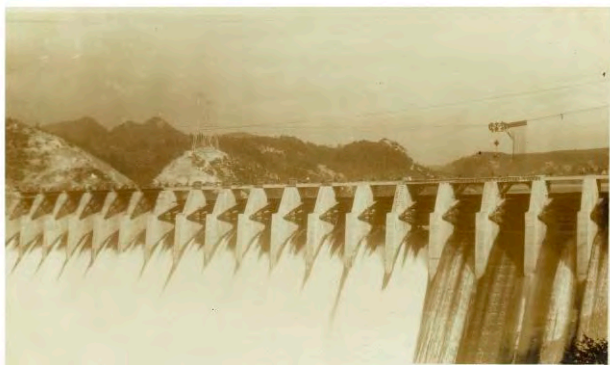
熱見駅 十月十三日

873



伊東町 湯籠館

866



大井町
工部局
大正三年八月

613



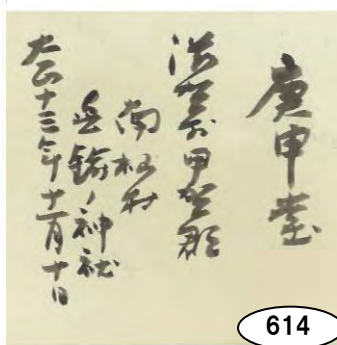
新天島、新坂、望山、大正四年五月七日撮影

403

愛知県



滋賀県



京都府



京都府旭村役場
昭和七年
七月廿七日

592



京都府旭村
昭和七年十月
廿七日

591



京都府十蔵村役場
昭和二年
七月

593



大正十一年十月
宇治水電工事

604



宇治水電工事
11年12月

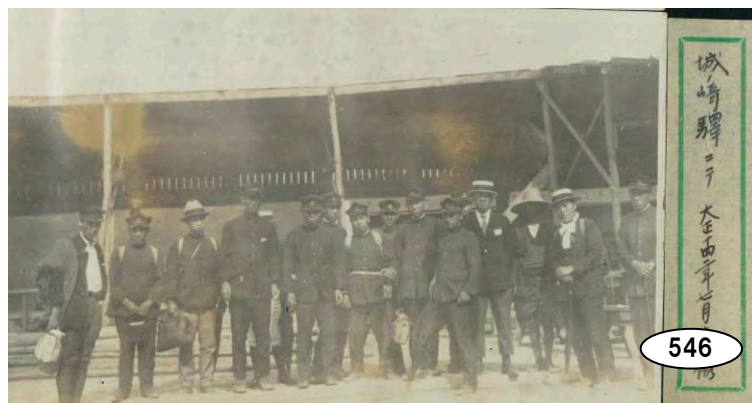
560



大正十一年十二月
宇治水電工事

607

兵庫県



大正 14 (1925) 年 5 月 23 日 午前 11 時 9 分発生
北但馬地震 M6.8 による被災写真と思われる。



547

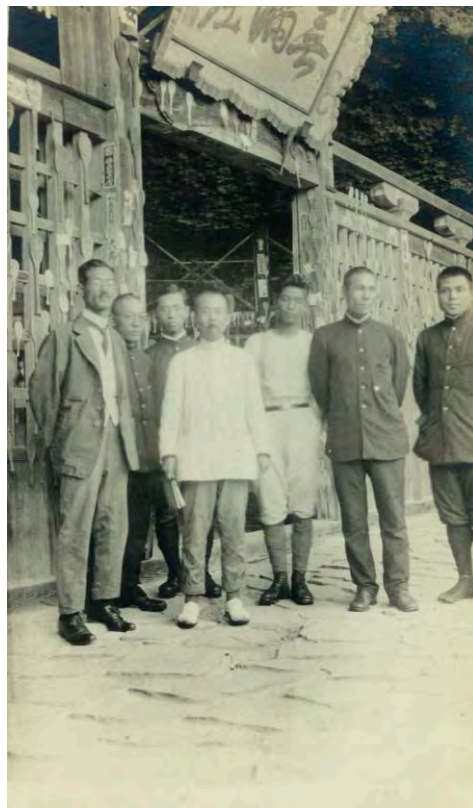


548

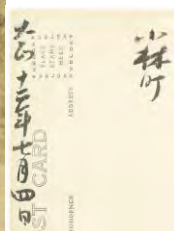
宮崎県



291



292



289

県名不明



故水菅多郎平氏「偉業」部
「まぶ」ノ上ノ(左)下ノ(右)
大正十三年十月十日

552



NO.7

825



NO.8

826



NO.9

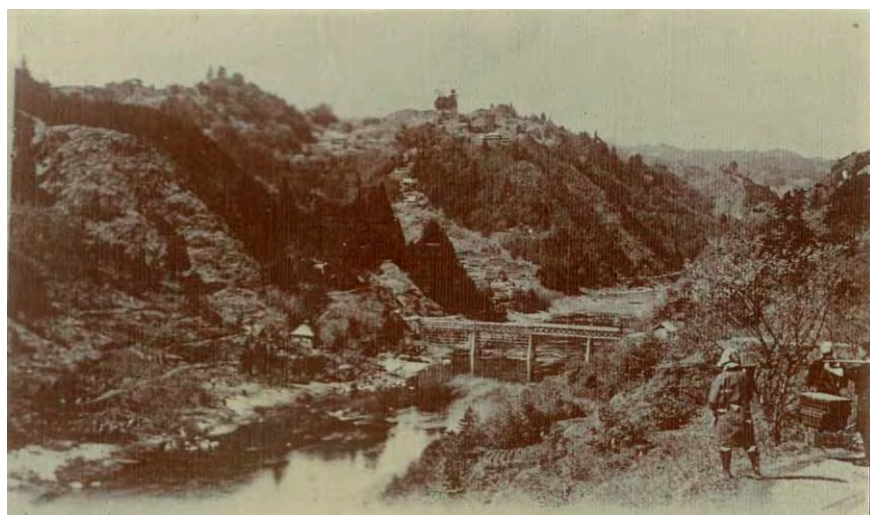
827



241



1034



244

参考資料

- ・ 諸戸北郎博士収集写真 DB 1
- ・ 諸戸北郎博士収集写真アルバム等カルテ . . 20

東京大学森林理水及び砂防工学研究所蔵

諸戸北郎博士収集写真アルバム等

DB

[illegible]

[illegible]

ID	表題	種別	神戸北部博士アルムナ			国名	地名・項域名	撮影年①	撮影年②	写真コメント	写真コメント2 (写真家観)	備考	老用 写真家	現 場	天 候	機 材	人 物	文 化	そ の 他
624	群馬 神奈川橋	18	88	中上	268	神奈川県				N68									
625	群馬 神奈川橋	18	89	中上	268	神奈川県				N68									
626	群馬 神奈川橋	18	90	中上	268	神奈川県				N68									
627	群馬 神奈川橋	18	91	中上	268	神奈川県				N68									
628	群馬 神奈川橋	18	92	中上	268	神奈川県				N68									
629	群馬 神奈川橋	18	93	中上	268	神奈川県				N68									
630	群馬 神奈川橋	18	94	中上	268	神奈川県				N68									
631	群馬 神奈川橋	18	95	中上	268	神奈川県				N68									
632	群馬 神奈川橋	18	96	中上	268	神奈川県				N68									
633	群馬 神奈川橋	18	97	中上	268	神奈川県				N68									
634	群馬 神奈川橋	18	98	中上	268	神奈川県				N68									
635	群馬 神奈川橋	18	99	中上	268	神奈川県				N68									
636	群馬 神奈川橋	18	100	中上	268	神奈川県				N68									
637	群馬 神奈川橋	18	101	中上	268	神奈川県				N68									
638	群馬 神奈川橋	18	102	中上	268	神奈川県				N68									
639	群馬 神奈川橋	18	103	中上	268	神奈川県				N68									
640	群馬 神奈川橋	18	104	中上	268	神奈川県				N68									
641	群馬 神奈川橋	18	105	中上	268	神奈川県				N68									
642	群馬 神奈川橋	18	106	中上	268	神奈川県				N68									
643	群馬 神奈川橋	18	107	中上	268	神奈川県				N68									
644	群馬 神奈川橋	18	108	中上	268	神奈川県				N68									
645	群馬 神奈川橋	18	109	中上	268	神奈川県				N68									
646	群馬 神奈川橋	18	110	中上	268	神奈川県				N68									
647	群馬 神奈川橋	18	111	中上	268	神奈川県				N68									
648	群馬 神奈川橋	18	112	中上	268	神奈川県				N68									
649	群馬 神奈川橋	18	113	中上	268	神奈川県				N68									
650	群馬 神奈川橋	18	114	中上	268	神奈川県				N68									
651	群馬 神奈川橋	18	115	中上	268	神奈川県				N68									
652	群馬 神奈川橋	18	116	中上	268	神奈川県				N68									
653	群馬 神奈川橋	18	117	中上	268	神奈川県				N68									
654	群馬 神奈川橋	18	118	中上	268	神奈川県				N68									
655	群馬 神奈川橋	18	119	中上	268	神奈川県				N68									
656	群馬 神奈川橋	18	120	中上	268	神奈川県				N68									
657	群馬 神奈川橋	18	121	中上	268	神奈川県				N68									
658	群馬 神奈川橋	18	122	中上	268	神奈川県				N68									
659	群馬 神奈川橋	18	123	中上	268	神奈川県				N68									
660	群馬 神奈川橋	18	124	中上	268	神奈川県				N68									
661	群馬 神奈川橋	18	125	中上	268	神奈川県				N68									
662	群馬 神奈川橋	18	126	中上	268	神奈川県				N68									
663	群馬 神奈川橋	18	127	中上	268	神奈川県				N68									
664	群馬 神奈川橋	18	128	中上	268	神奈川県				N68									
665	群馬 神奈川橋	18	129	中上	268	神奈川県				N68									
666	群馬 神奈川橋	18	130	中上	268	神奈川県				N68									
667	群馬 神奈川橋	18	131	中上	268	神奈川県				N68									
668	群馬 神奈川橋	18	132	中上	268	神奈川県				N68									
669	群馬 神奈川橋	18	133	中上	268	神奈川県				N68									
670	群馬 神奈川橋	18	134	中上	268	神奈川県				N68									
671	群馬 神奈川橋	18	135	中上	268	神奈川県				N68									
672	群馬 神奈川橋	18	136	中上	268	神奈川県				N68									
673	群馬 神奈川橋	18	137	中上	268	神奈川県				N68									
674	群馬 神奈川橋	18	138	中上	268	神奈川県				N68									
675	群馬 神奈川橋	18	139	中上	268	神奈川県				N68									
676	群馬 神奈川橋	18	140	中上	268	神奈川県				N68									
677	群馬 神奈川橋	18	141	中上	268	神奈川県				N68									
678	群馬 神奈川橋	18	142	中上	268	神奈川県				N68									
679	群馬 神奈川橋	18	143	中上	268	神奈川県				N68									
680	群馬 神奈川橋	18	144	中上	268	神奈川県				N68									
681	群馬 神奈川橋	18	145	中上	268	神奈川県				N68									
682	群馬 神奈川橋	18	146	中上	268	神奈川県				N68									
683	群馬 神奈川橋	18	147	中上	268	神奈川県				N68									
684	群馬 神奈川橋	18	148	中上	268	神奈川県				N68									
685	群馬 神奈川橋	18	149	中上	268	神奈川県				N68									
686	群馬 神奈川橋	18	150	中上	268	神奈川県				N68									
687	群馬 神奈川橋	18	151	中上	268	神奈川県				N68									
688	群馬 神奈川橋	18	152	中上	268	神奈川県				N68									
689	群馬 神奈川橋	18	153	中上	268	神奈川県				N68									
690	群馬 神奈川橋	18	154	中上	268	神奈川県				N68									
691	群馬 神奈川橋	18	155	中上	268	神奈川県				N68									
692	群馬 神奈川橋	18	156	中上	268	神奈川県				N68									
693	群馬 神奈川橋	18	157	中上	268	神奈川県				N68									
694	群馬 神奈川橋	18	158	中上	268	神奈川県				N68									
695	群馬 神奈川橋	18	159	中上	268	神奈川県				N68									
696	群馬 神奈川橋	18	160	中上	268	神奈川県				N68									
697	群馬 神奈川橋	18	161	中上	268	神奈川県				N68									
698	群馬 神奈川橋	18	162	中上	268	神奈川県				N68									
699	群馬 神奈川橋	18	163	中上	268	神奈川県				N68									
700	群馬 神奈川橋	18	164	中上	268	神奈川県				N68									

[illegible]

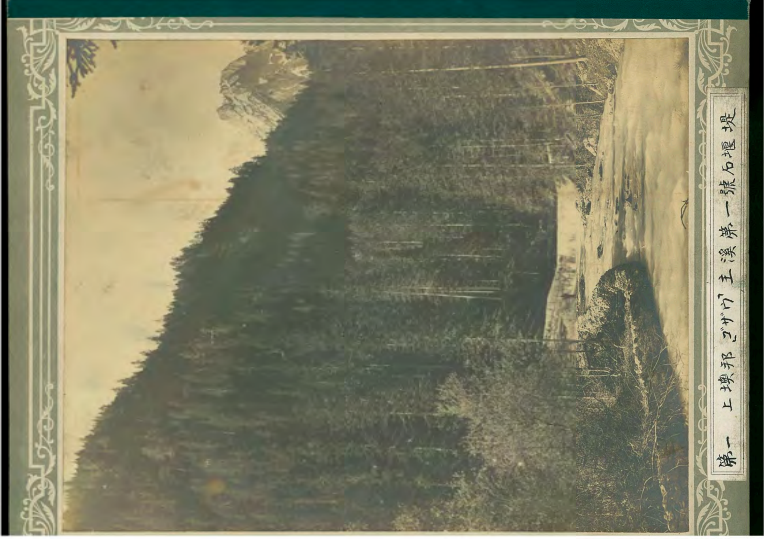
[illegible]

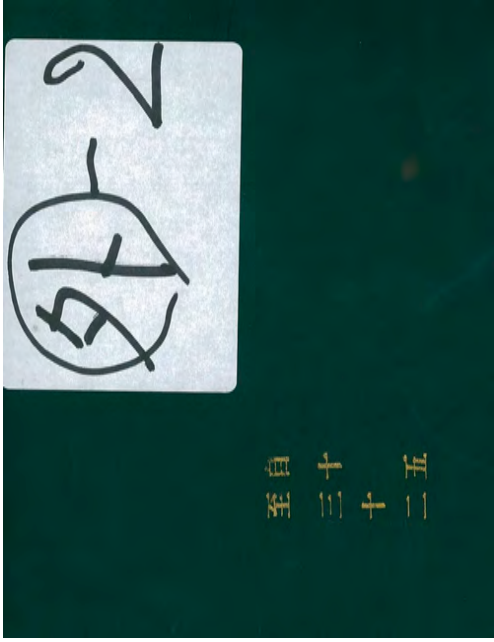
ID	報道種別	アルム名	ページ	写真 番号	写真 位置	写真 掲載 紙面	題名 報道所載名	地名・派流名	撮影年①	撮影年②	写真コメント	写真コメント2 (写真家署名)	備考	父名	母名
1337	人物	人物	21	55	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月			
1338	人物	人物	21	56	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月	第五編 菊田信雄 昭和二年九月			
1339	人物	人物	22	57	左	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月			
1340	人物	人物	22	58	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月			
1341	人物	人物	22	59	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月	第六編 菊田信雄 昭和二年九月			
1342	人物	人物	23	60	左	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月			
1343	人物	人物	23	61	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月			
1344	人物	人物	23	62	中	117	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月	第七編 菊田信雄 昭和二年九月			
1345	人物	人物	24	63	中心	88	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1346	人物	人物	24	64	左	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1347	人物	人物	25	65	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1348	人物	人物	25	66	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1349	人物	人物	26	67	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1350	人物	人物	26	68	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1351	人物	人物	27	69	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1352	人物	人物	27	70	左	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1353	人物	人物	28	71	左	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1354	人物	人物	28	72	左	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1355	人物	人物	29	73	中	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1356	人物	人物	29	74	右	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1357	人物	人物	30	75	右	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1358	人物	人物	30	76	右	109	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1359	人物	人物	31	77	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1360	人物	人物	31	78	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1361	人物	人物	32	79	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1362	人物	人物	32	80	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1363	人物	人物	33	81	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1364	人物	人物	33	82	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1365	人物	人物	34	83	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1366	人物	人物	34	84	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1367	人物	人物	35	85	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1368	人物	人物	35	86	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1369	人物	人物	36	87	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1370	人物	人物	36	88	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1371	人物	人物	37	89	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1372	人物	人物	37	90	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1373	人物	人物	38	91	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1374	人物	人物	38	92	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1375	人物	人物	39	93	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1376	人物	人物	39	94	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1377	人物	人物	40	95	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1378	人物	人物	40	96	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1379	人物	人物	41	97	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1380	人物	人物	41	98	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1381	人物	人物	42	99	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1382	人物	人物	42	100	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1383	人物	人物	43	101	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1384	人物	人物	43	102	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1385	人物	人物	44	103	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1386	人物	人物	44	104	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1387	人物	人物	45	105	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1388	人物	人物	45	106	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1389	人物	人物	46	107	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1390	人物	人物	46	108	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1391	人物	人物	47	109	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1392	人物	人物	47	110	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1393	人物	人物	48	111	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1394	人物	人物	48	112	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1395	人物	人物	49	113	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1396	人物	人物	49	114	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1397	人物	人物	50	115	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1398	人物	人物	50	116	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1399	人物	人物	51	117	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1400	人物	人物	51	118	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1401	人物	人物	52	119	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1402	人物	人物	52	120	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1403	人物	人物	53	121	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1404	人物	人物	53	122	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1405	人物	人物	54	123	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1406	人物	人物	54	124	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1407	人物	人物	55	125	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1408	人物	人物	55	126	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1409	人物	人物	56	127	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1410	人物	人物	56	128	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1411	人物	人物	57	129	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1412	人物	人物	57	130	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1413	人物	人物	58	131	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1414	人物	人物	58	132	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1415	人物	人物	59	133	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1416	人物	人物	59	134	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1417	人物	人物	60	135	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1418	人物	人物	60	136	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			
1419	人物	人物	61	137	中	107	昭和12年9月	昭和12年9月	1927年9月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月	第八編 菊田信雄 昭和二年九月			

東京大学森林理水及び砂防工学研究所蔵

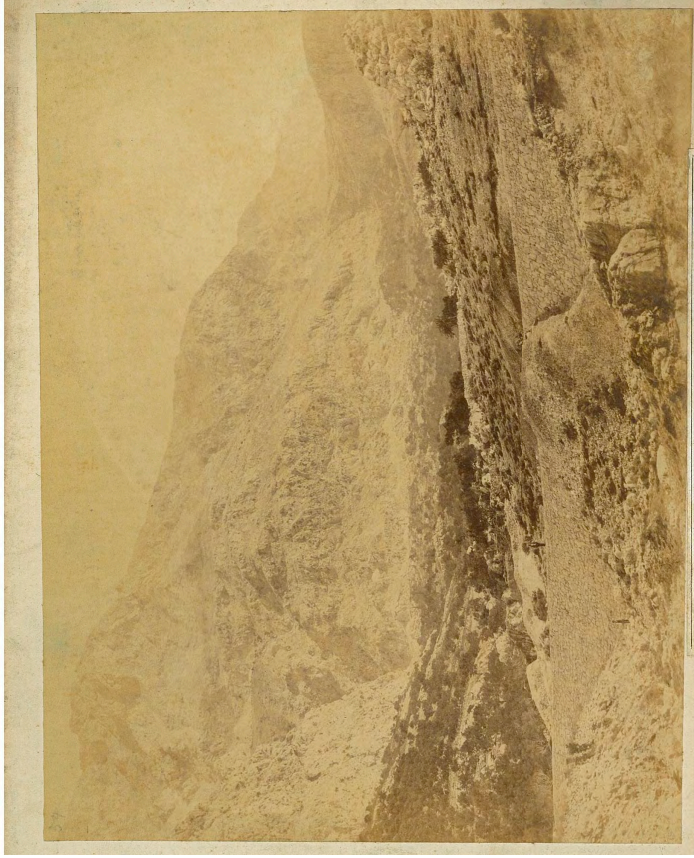
諸戸北郎博士収集写真アルバム等

カルテ

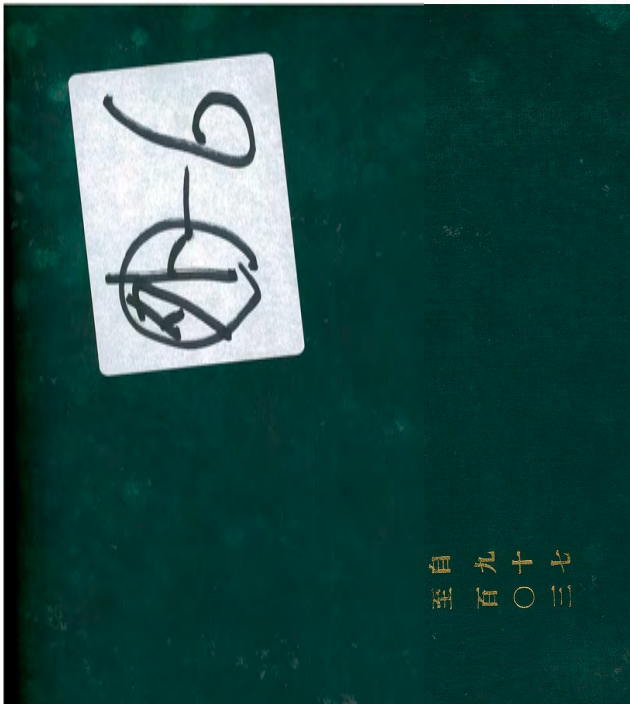
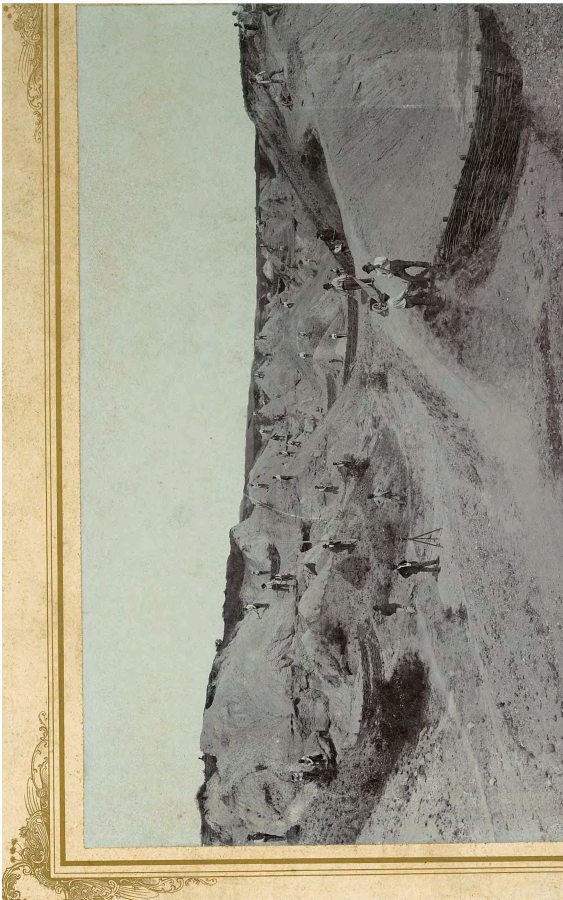
通番	外1	種別	写真（現場）		資料名	第一集 奥國砂防工写真 自一号至十四	
形態	アルバム				色	深緑	
総ページ数	28	総写真（図面）枚数	14	寸法	縦297mm横240mm	写真・図面サイズ	縦240mm横188mm、綴り折（縦）
被写体	国・県・地域名	オーストリア		被写体年次	1910年頃	ID	1~14
資料内容	オーストリアの砂防堰堤、山腹崩壊写真。 写真裏面にドイツ語で注記あり。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
							
備考							

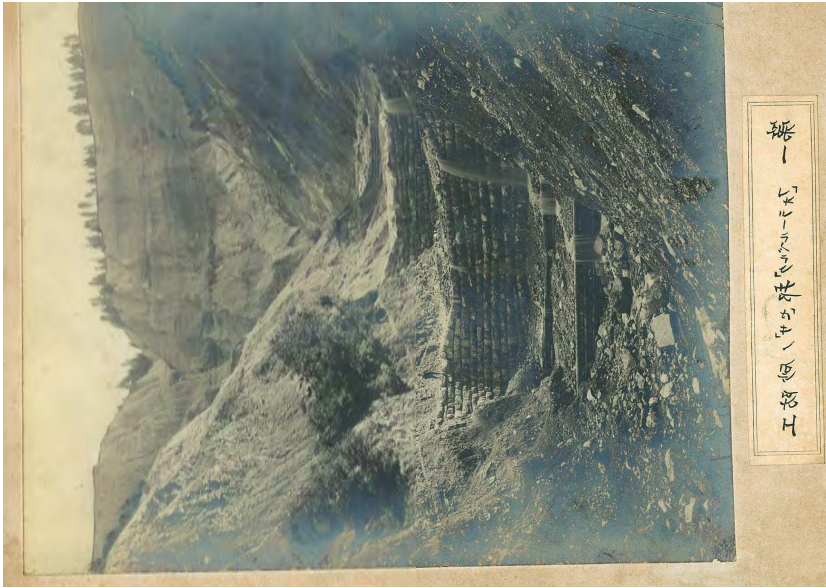
通番	外2	種別	写真（現場）			資料名	第二集 奥国砂防工写真 自十五至三十二		
形態	アルバム		寸法		縦233mm横297mm	色	深緑	保存状態	表紙破損有、台紙破損有
総ページ数	36	総写真（図面）枚数	18	写真数/1p	写真数1p	1	写真・図面サイズ	縦188mm横240mm、綴り折（横）	
被写体	国・県・地域名	オーストリア		被写体年次	1910年頃		ID：15~32		
資料内容	オーストリアの治水工事、砂防堰堤、家屋被害、山腹崩壊写真。 写真裏面にドイツ語で注記あり（ただし、表記が切れているもの多）								
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況					
									
									
備考									

通番	外 3	種別	写真（現場）	資料名	第三集 奥國砂防工寫真 自三十三至五十一				
形態	アルバム			寸法	縦 233 mm横 297 mm	色	深緑	保存状態	
総ページ数	32	総写真（図面）枚数	19	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ		縦 193 mm横 250 mm、綴り折（横）	
被写体	国・県・地域名	オーストリア			被写体年次	1910 年頃		ID : 33~51	
資料内容	オーストリアの砂防堰堤施工前施工後比較写真。 写真裏面にドイツ語で注記あり。一部台紙 1 枚に写真複数を張り付けたページあり。 ※第三集は至五十一であるが、第四集は自五十四となっている。								
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況					
									
備考									

通番	外 4	種別	写真（現場）			資料名		第四集 奥國砂防工寫真 自五十四至七十四				
形態	アルバム					色	深緑	保存状態				
総ページ数	36	総写真（図面）枚数	21	寸法	縦 233 mm横 297 mm	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦 193 mm横 250 mm、綴り折（横）			
被写体	国・県・地域名		オーストリア			被写体年次		1910 年頃	ID：52~72			
資料内容			オーストリアの砂防堰堤施工前施工後比較写真。一部台紙 1 枚に写真複数を張り付けたページあり。 写真裏面にドイツ語で注記あり。 ※第三集は至五十一であるが、第四集は自五十四となっている。									
			資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況						
												
												
備考												

通番	外5	種別	写真（現場）			資料名	第六集 奥国砂防工写真 自八十九至九十六		
形態	アルバム		寸法		縦297mm横240mm	色	深緑	保存状態	
総ページ数	16	総写真（図面）枚数	8	写真数/1p		1	写真・図面サイズ	縦240mm横183mm、綴り折（縦）	
被写体	国・県・地域名	オーストリア		被写体年次	1910年頃	ID：73~80			
資料内容	オーストリアの砂防堰堤、治水工事写真。 写真裏面は番号のみ記載あり。 ※第五集は無。								
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況				
									
備考									

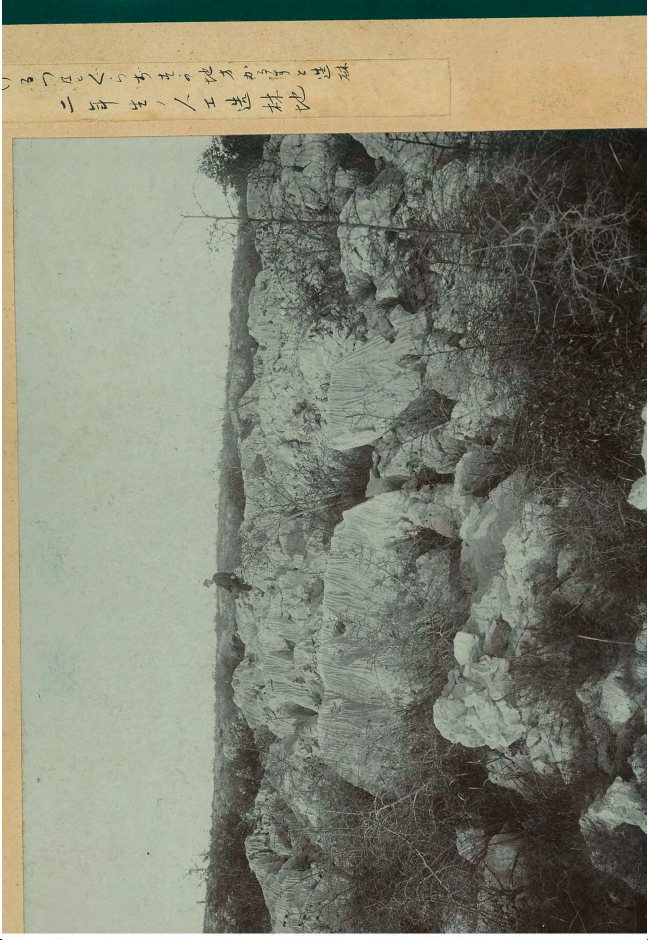
通番	外 6	種別	写真（現場）			資料名		第七集 奥國砂防工寫真 自九十七至百〇三		
形態	アルバム		寸法		縦 325 mm横 390 mm		色	深緑	保存状態	
総ページ数	13	総写真（図面）枚数	7	写真数	1 p	1	写真・図面サイズ		縦 240 mm横 183 mm、綴り折（縦）	
被写体	国・県・地域名		オーストリア			被写体年次		1910 年頃		ID：81~87
資料内容			オーストリアの砂防堰堤写真。裏表紙に写真あり。 写真裏面にドイツ語で注記あり。							
資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況							
										
										
備考										

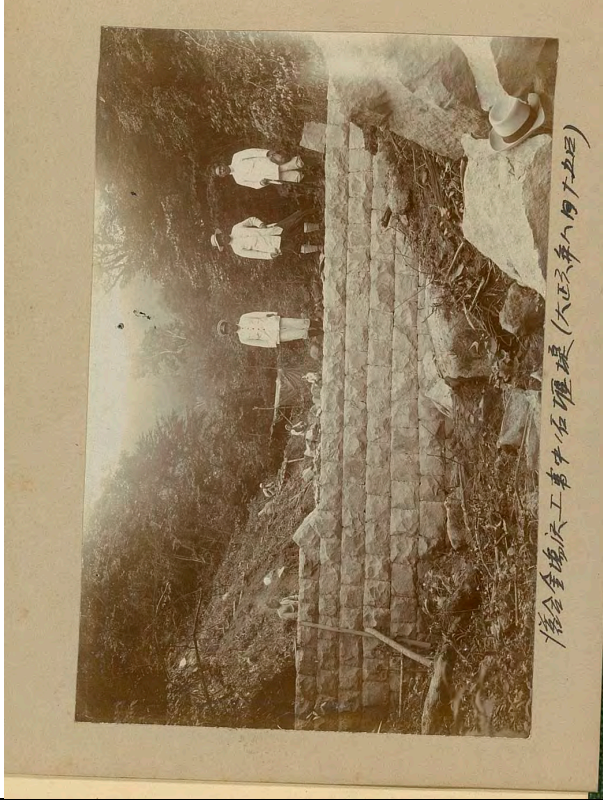
通番	外 7	種別	写真（現場）			資料名		第九集 奥國砂防工写真 自百〇八至百十八		
形態	アルバム			寸法			色	深緑	保存状態	
総ページ数	21	総写真（図面）枚数	11	写真数/1 p	縦 297 mm横 240 mm		1	写真・図面サイズ	縦 235 mm横 190 mm、綴り折（縦）	
被写体	国・県・地域名		オーストリア			被写体年次		1910 年頃	ID:88～98	
資料内容			オーストリアの砂防堰堤写真。裏表紙に写真あり。 写真裏面にドイツ語で注記あり。 ※第八集は無。							
資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況							
										
第九集 奥國砂防工写真			奥國砂防工写真 第一集							
備考										

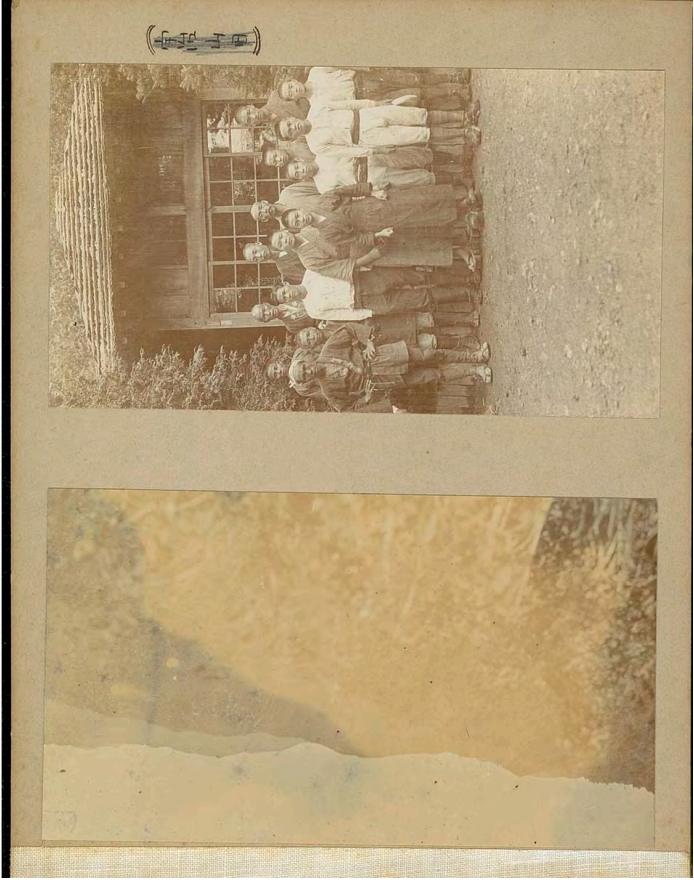
通番	外 8	種別	写真（現場）	資料名	第十集 奥國「カルスト」造林写真 自百四十四至百五十一	
形態	アルバム		寸法	縦 325 mm 横 390 mm	色	深緑
総ページ数	16	総写真（図面）枚数	8	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ
被写体	国・県・地域名	オーストリア		被写体年次	1910 年頃	縦 220 mm 横 305 mm、綴り折（横）
資料内容	オーストリアの人工造林地写真。 写真裏面番号のみ記載。 ※第十集と十一集は自至番号が前後する。					
資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況			
						
備考						

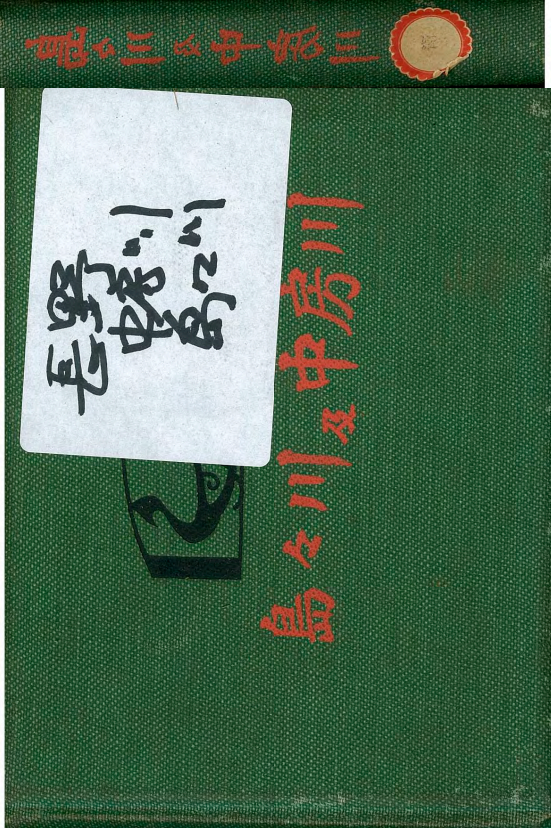
諸戸北郎博士・撮影写真等資料（東大砂防教室所蔵）カルテ

作成日：平成24年11月7日

通番	外9	種別	写真（現場）		資料名	第十一集 奥國「カルスト」造林写真 自百二十九至百四十三	
形態	アルバム		寸法	縦325mm横390mm	色	深緑	保存状態
総ページ数	24	総写真（図面）枚数	12	写真数/1p	1	写真・図面サイズ	縦250mm横300mm、綴り折（横）
被写体	国・県・地域名		オーストリア		被写体年次	1910年頃	ID:99~110
資料内容	オーストリアの人工造林地写真。 写真裏面番号のみ記載。 ※第十集と十一集は自至番号が前後する。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

通番	東京-1	種別	写真（現場）、写真（スナップ）	資料名	東京		
形態	アルバム		寸法	縦 150 mm横 210 mm	色	黄緑	保存状態
総ページ数	24	総写真（図面）枚数	24	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦 102 mm 横 142 mm
被写体	国・県・地域名	日本	東京都	被写体年次	大正 5 年	ID:119～142	
資料内容	砂防堰堤、護岸写真。スナップ写真。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

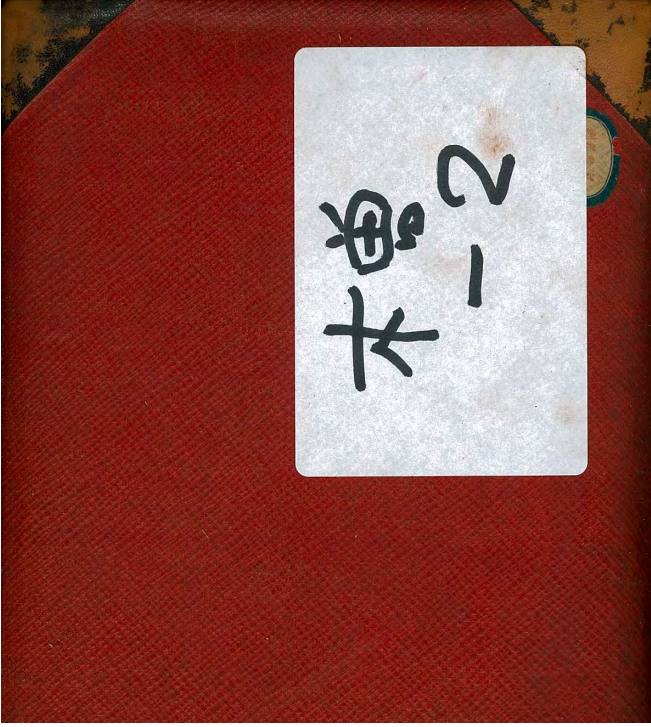
通番	東京-2	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	智者山及東京府		
形態	アルバム		寸法	縦 150 mm横 210 mm	色	黄緑	保存状態	写真色褪せ
総ページ数	25	総写真（図面）枚数	50	写真数/1 p	2	写真・図面サイズ		縦 126 mm 横 72 mm
被写体	国・県・地域名	日本	東京都	被写体年次		大正 8 年		ID:143~196
資料内容	溪流、河床、山岳写真。砂防堰堤写真。スナップ写真。							
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況				
								
備考								

通番	長野 中房川 島々川	種別	写真（現場）		資料名	島々川及中房川	
形態	アルバム		寸法	縦 150 mm 横 210 mm	色	黄緑	保存状態
総ページ数	24	総写真（図面）枚数	48	写真数/1 p	2	写真・図面サイズ	縦 126 mm 横 72 mm
被写体	国・県・地域名	日本	長野県		被写体年次	大正 8 年	
資料内容	溪流、河床、砂防堰堤写真。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

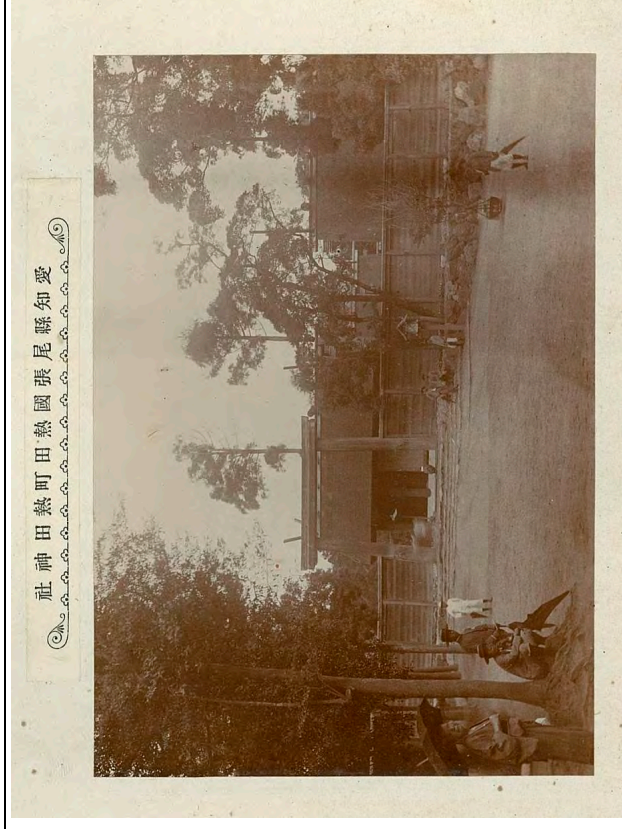
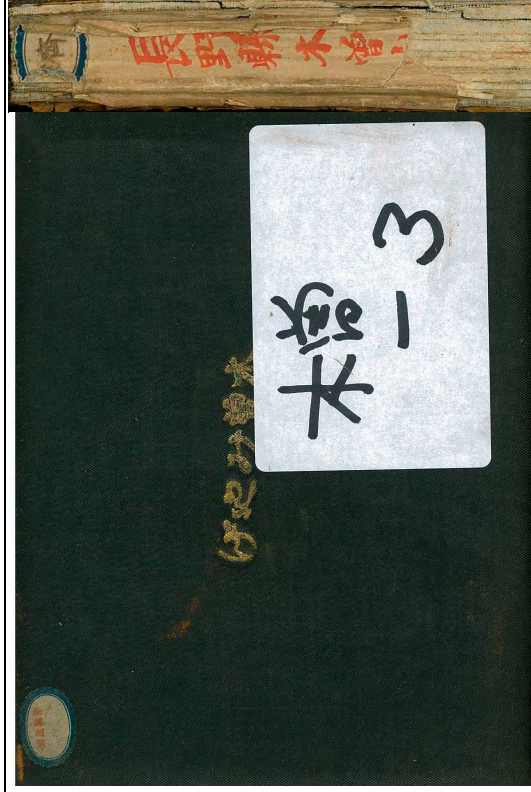
通番	富山/木曾-1	種別	写真（現場）、写真（スナップ）			資料名	→木曾・富山 ←朝鮮		
形態	アルバム		寸法		縦 250 mm横 180 mm	色	薄茶	保存状態	切り込みから外れた写真あり。紛失 注意
総ページ数	29、15	総写真（図面）数	枚	64、14	写真数/1 p	2	写真・図面サイズ		縦 138 mm 横 87 mm（縦横両方有）
被写体	国・県・地域名		日本		富山・木曾、朝鮮		被写体年次		大正 11 年
資料内容		溪流、河床、山岳砂写真。スナップ写真。切り込みに差し込む形式のアルバム。 各写真裏に日本語で記載あり。一部に 1 ページに 3 枚以上のページあり。 表側より、木曾・富山、裏面からは朝鮮の写真となっている。数字については木曾・富山、朝鮮の順。							
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況				



備考

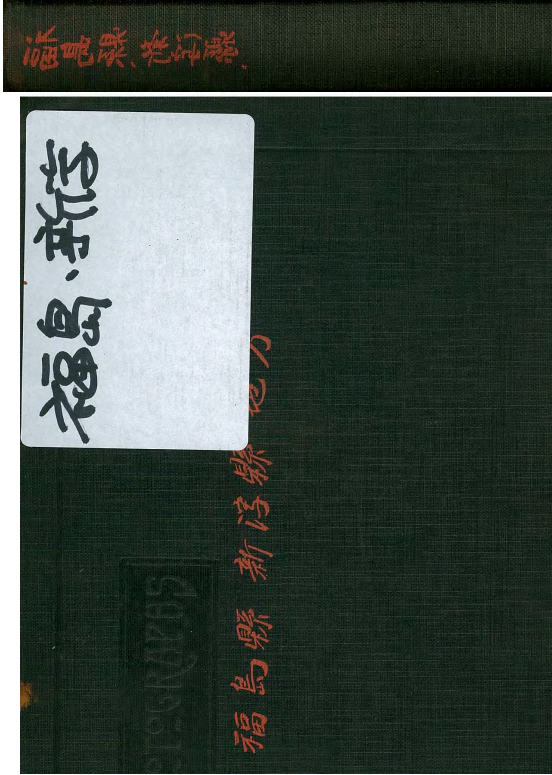
通番	木曾-2	種別	写真（現場）			資料名		不明（表紙等に記載なし）			
形態	アルバム		寸法		縦160 mm横225 mm	色	朱	保存状態	背表紙破損。表紙紛失注意。		
総ページ数	30	総写真（図面）枚数	30	写真数/1 p	写真・図面サイズ 縦101 mm横148 mm（縦横両方有）						
被写体	国・県・地域名	日本 長野県 木曽		被写体年次	不明		ID:336～365				
資料内容	造林、河川による材木運搬の様子写真。										
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況						
											
備考											

通番	木曾・3	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	木曾みやげ	
形態	アルバム			寸法	縦160 mm横210 mm	色	黒
総ページ数	30	総写真（図面）枚数	30	写真数/1 p	写真・図面サイズ	縦96 mm横138 mm（横）	
被写体	国・県・地域名	日本 長野県 木曾		被写体年次	不明		
資料内容	造林、河川による材木運搬の様子写真。スナップ写真。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			



備考

通番	静岡	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	静岡県	
形態	アルバム		縦 180 mm 横 275 mm	色	黒	保存状態	ページー一部破損。
総ページ数	28	総写真（図面）枚数	寸法	56	3 他	写真・図面サイズ	縦 82 mm 横 210 mm（横）
被写体	国・県・地域名	日本	静岡県		被写体年次	大正 13 年	
資料内容	砂防堰堤写真。スナップ写真。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

通番	福島・新潟	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	福島県	新潟縣地方	
形態	アルバム		寸法		色	黒	保存状態	背表紙破損。
総ページ数	34	総写真（図面）枚数	73	写真数/1p	3	写真・図面サイズ 縦80mm横136mm（横）		
被写体	国・県・地域名	日本 福島県 新潟県		被写体年次		大正14年		
資料内容	砂防堰堤写真。スナップ写真。							
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況			
								
備考								

通番	中部・関 西-1	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	中部及関西地方		
形態	アルバム		寸法	縦 180 mm横 275 mm	色	黒	保存状態	
総ページ数	27	総写真（図面）枚数	63	写真数/1 p	3 他	写真・図面サイズ	縦 82 mm横 132 mm	
被写体	国・県・地域名	日本	中部・関西	被写体年次	大正 13 年		ID:529～598	
資料内容	砂防堰堤写真。スナップ写真。							
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況				
備考								

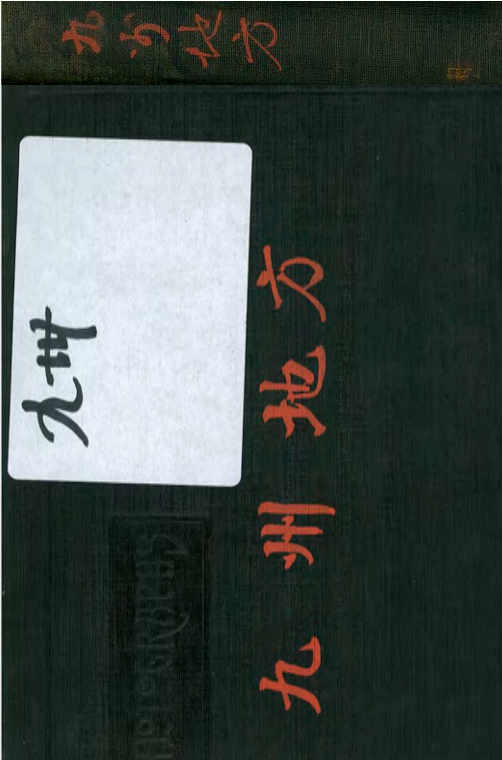
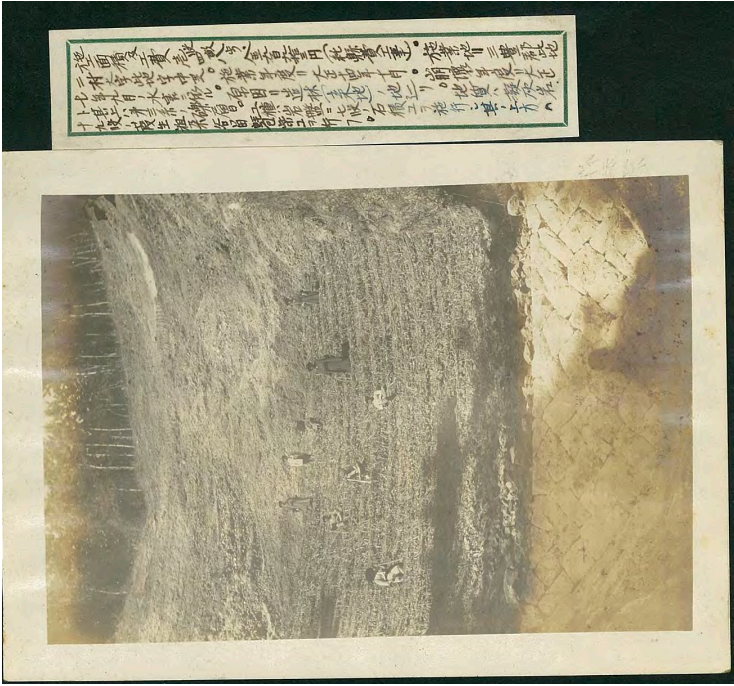
通番	関西-2	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	関西地方	
形態	アルバム		寸法	縦250mm横200mm	色	茶	保存状態
総ページ数	25	総写真（図面）枚数	49	写真数/1p	2	写真・図面サイズ	縦138mm横88mm
被写体	国・県・地域名	日本 兵庫県、京都府、岐阜県		被写体年次	大正13年～		
資料内容	ID:599～647						

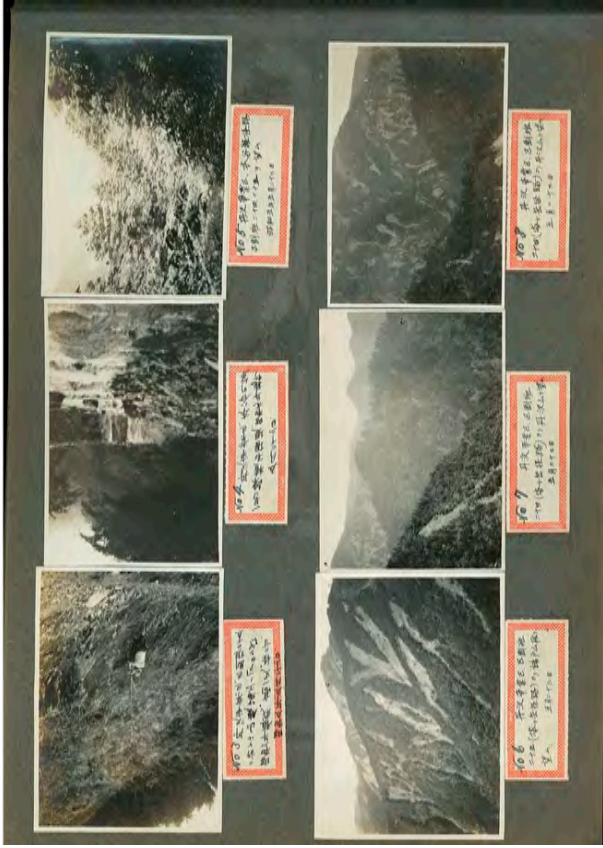
資料内容
砂防堰堤写真。スナップ写真。
中央部に写真がなく、裏側に写真が納めてある。
各写真裏に日本語で記載あり。

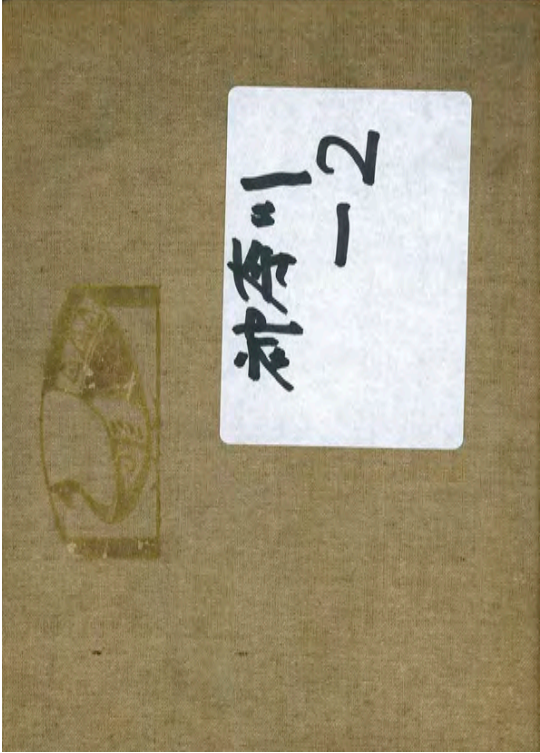
資料（アルバム）表紙状況	資料（アルバム）内写真整理状況
	

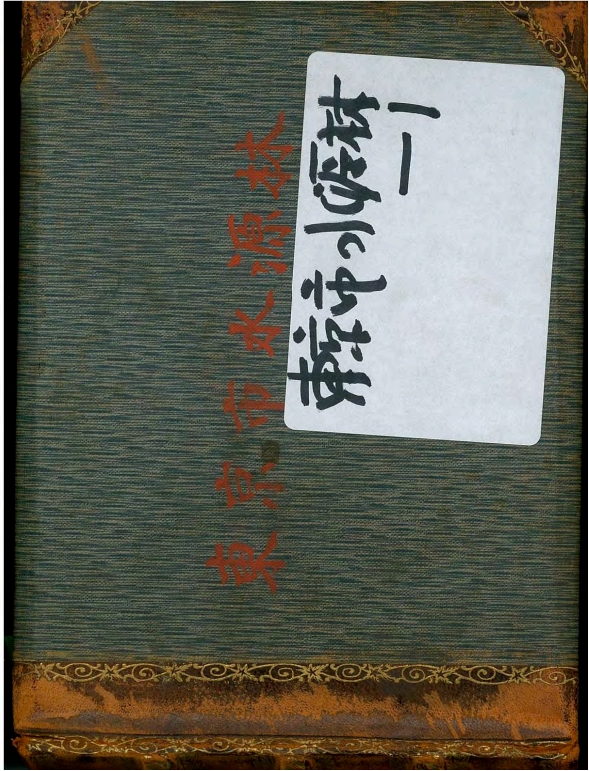
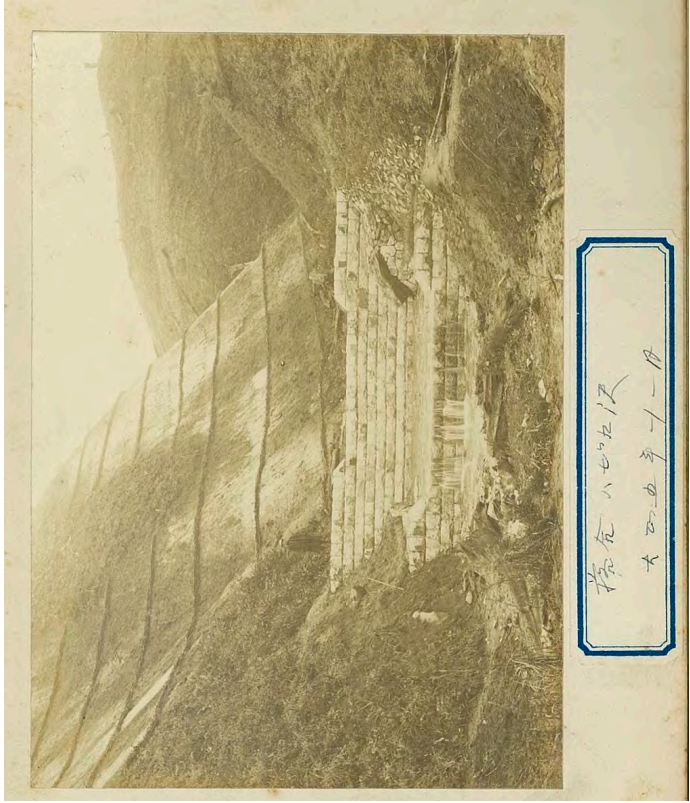
備考

通番	島根	種別	写真（現場）		資料名	不明（表紙等に特定の記載なし）			
形態	アルバム		寸法	縦250 mm横190 mm	色	茶	保存状態	表紙破損。	
総ページ数	12	総写真（図面）枚数	22	写真数/1 p	2	写真・図面サイズ		縦110 mm横254 mm	
被写体	国・県・地域名	日本 島根県		被写体年次	日付のみで年次不明		ID:648～669		
資料内容	被災状況、砂防堰堤写真、写真位置図。張り込まれていないバラの写真あり。								
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況				
									
備考									

通番	九州	種別	写真（現場）				資料名	九州地方			
形態	アルバム			寸法		縦 180 mm横 270 mm	色	黒	保存状態		
総ページ数	7	総写真（図面）枚数	9	写真数	1 p		1	写真・図面サイズ		縦 120 mm横 142 mm	
被写体	国・県・地域名	日本 香川県他		被写体年次		大正 10 年～		ID:670～678			
資料内容	山腹工、砂防堰堤写真。 1 ページ目のみ写真数が 3 枚になっている。										
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況							
											
備考											

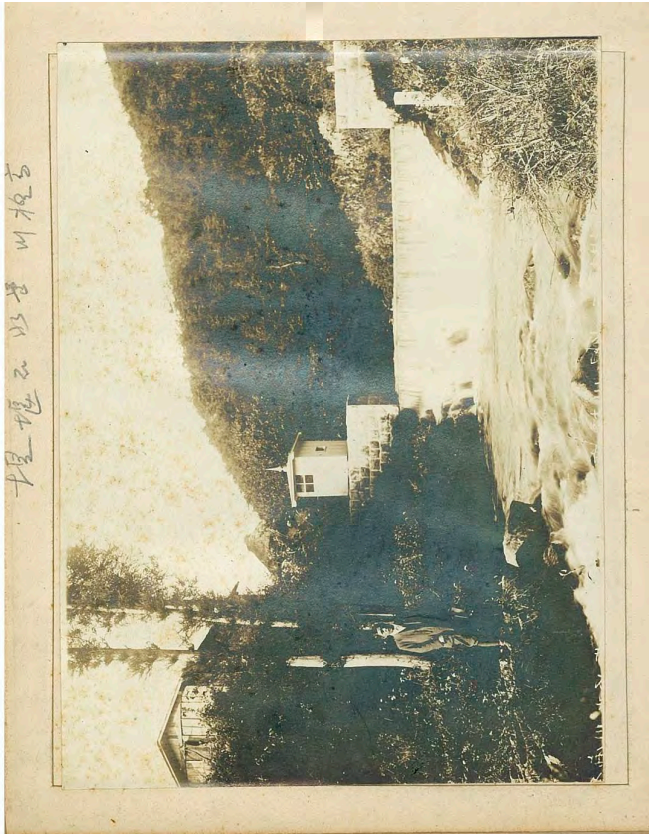
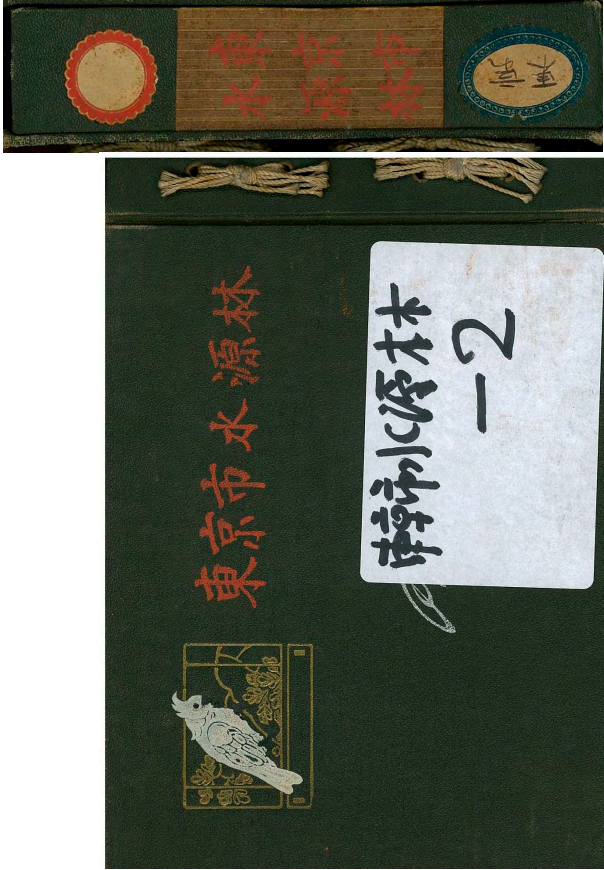
通番	神奈川-1	種別	写真（現場）		資料名		神奈川県（表紙）	
形態	アルバム		寸法		縦 185 mm横 295 mm	色	茶	保存状態
総ページ数	22	総写真（図面）枚数	74	写真数/1 p	2 枚他	写真・図面サイズ		縦 110 mm横 158 mm
被写体	国・県・地域名	日本	神奈川県		被写体年次		昭和 2 年	
資料内容	渓流、山岳、山腹工、砂防堰堤写真。 1 ページ当たりの写真枚数は、不規則。最大 6 枚。							
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況				
								
備考								

通番	神奈川-2	種別	写真（現場）		写真（スナップ）		資料名	神奈川県（背表紙）			
形態	アルバム		寸法		縦 190 mm	横 260 mm	色	茶	保存状態		
総ページ数	40	総写真（図面）枚数	226	写真数/1 p	2 枚他					写真・図面サイズ	縦 87 mm 横 124 mm
被写体	国・県・地域名	日本	神奈川県	被写体年次						昭和 3 年～	ID:759～984
資料内容	山腹工、砂防堰堤写真。スナップ写真 1 ページ当たりの写真枚数は、不規則。最大 8 枚。										
資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況								
											
備考											

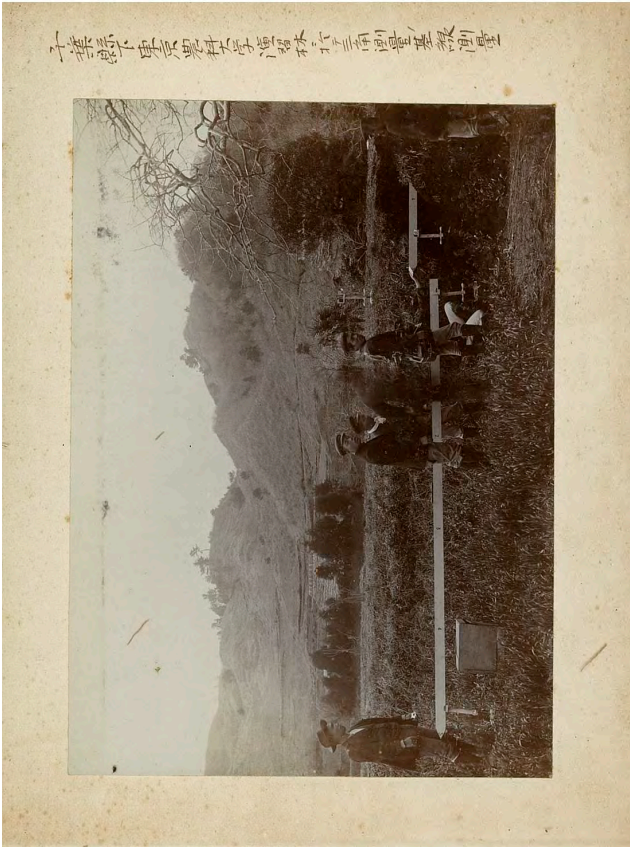
通番	東京市水 源林-1	種別	写真（現場）写真（スナップ）		資料名	東京市水源林	
形態	アルバム		寸法	縦150mm横200mm	色	青	保存状態
総ページ数	50	総写真（図面）枚数	50	写真数1p	1	写真・図面サイズ	縦94mm 横136mm
被写体	国・県・地域名	日本 東京都		被写体年次	大正9年～		
資料内容	砂防堰堤写真。スナップ写真						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

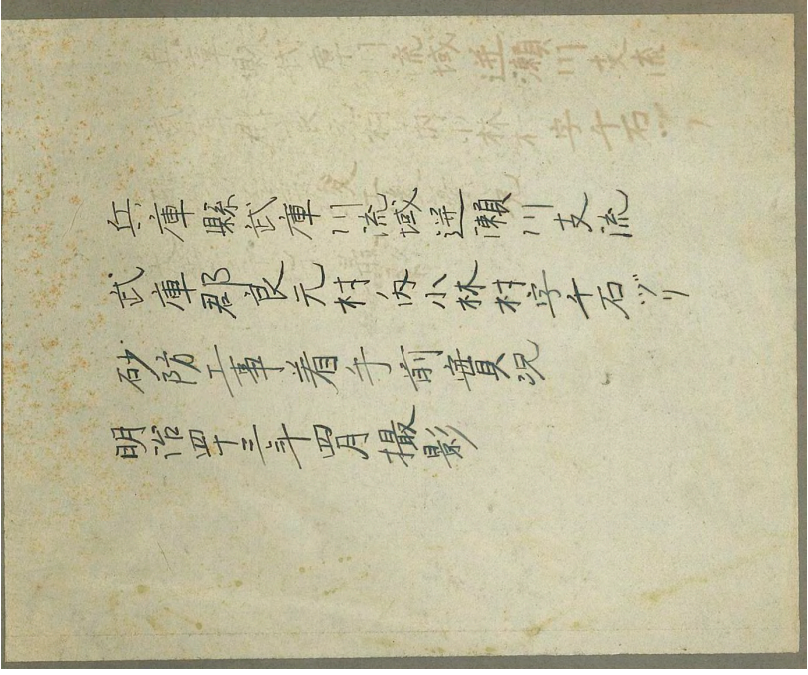
通番	東京市水 源林-2	種別	写真（現場）写真（スナップ）			資料名	東京市水源林			
形態	アルバム		寸法	縦 150 mm	横 220 mm	色	黒	保存状態		
総ページ数	24	総写真（図面）枚数	24	写真数/ 1 p		1	写真・図面サイズ		縦 115 mm	横 158 mm
被写体	国・県・地域名	日本 東京都		被写体年次		大正 9 年～		ID:1035～1058		
資料内容		砂防堰堤写真。スナップ写真								

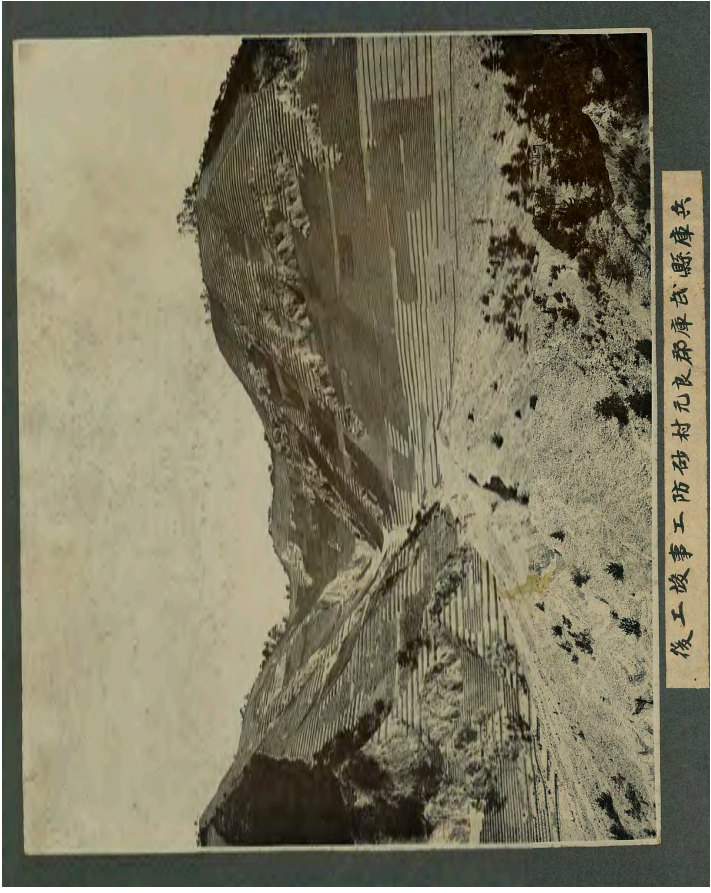
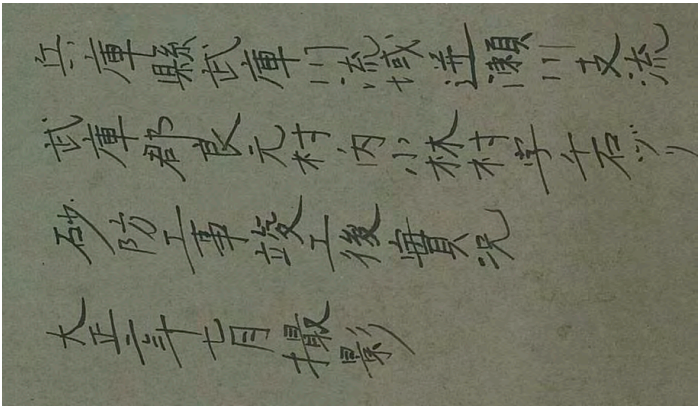
資料（アルバム）表紙状況	資料（アルバム）内写真整理状況
--------------	-----------------

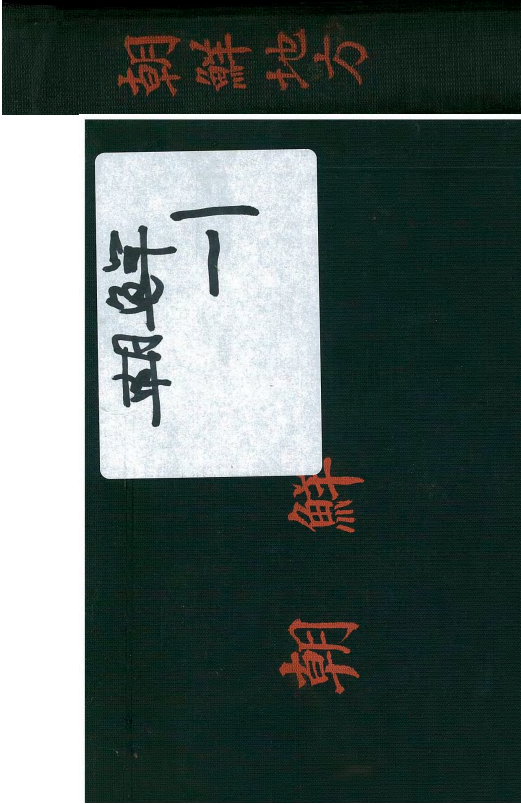


備考

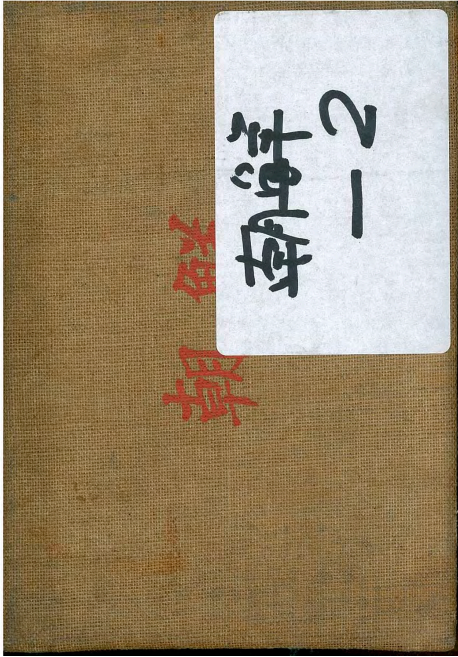
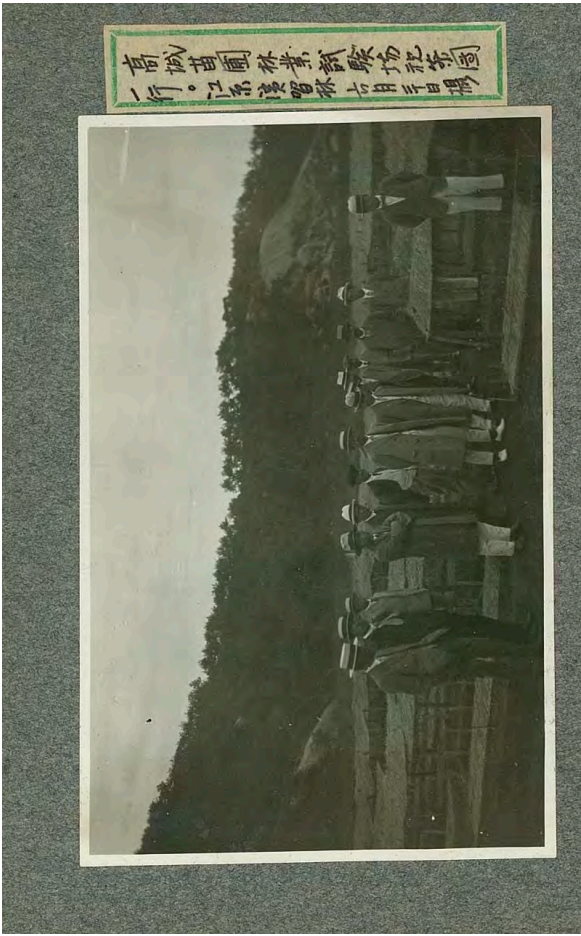
通番	千葉	種別	写真（現場）写真（スナップ）		資料名	千葉縣	
形態	アルバム		寸法	縦 150 mm 横 220 mm	色	白	保存状態
総ページ数	36	総写真（図面）枚数	36	写真数 / 1 p	1	写真・図面サイズ 縦 103 mm 横 146 mm	
被写体	国・県・地域名	日本 千葉縣		被写体年次		不明	
資料内容	測量写真。スナップ写真。						
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況			
							
備考							

通番	兵庫 逆瀬川 着手前	種別	写真（現場）		資料名	兵庫縣武庫郡良元村砂防工事着工前			
形態	写真台紙貼り		寸法		色	灰色	保存状態		
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦 103 mm 横 205 mm		
被写体	国・県・地域名	日本 兵庫県		被写体年次	明治 43 年		ID:1095		
資料内容	逆瀬川砂防工事着手前の写真。 裏面に「兵庫縣武庫川流域逆瀬川支流武庫郡良元村ノ内小林村字千石ヅリ砂防工事着手前實況明治四十三年四月撮影」の文字有り。								
資料表面				資料裏面					
									
備考									

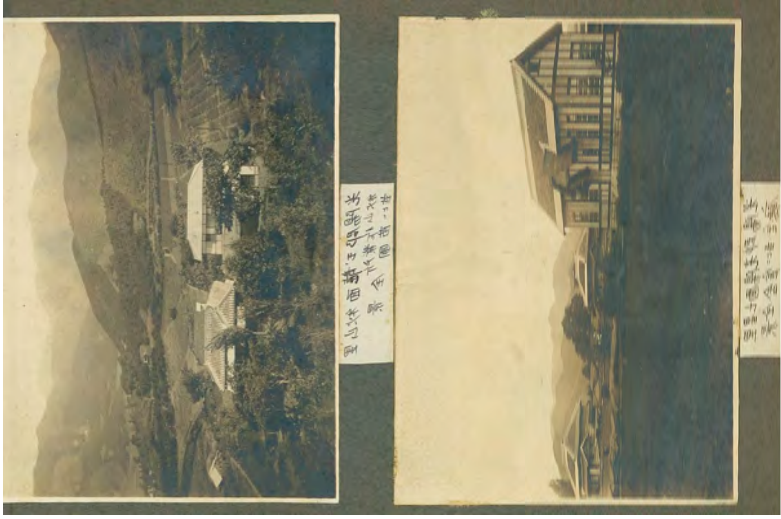
通番	兵庫 逆瀬川竣工後	種別	写真（現場）			資料名	兵庫縣武庫郡良元村砂防工事竣工後		
形態	写真台紙貼り	寸法	縦 253 mm	横 350 mm	色	灰色	保存状態		
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦 103 mm	横 205 mm	
被写体	国・県・地域名	日本	兵庫県			被写体年次	大正 2 年	ID:1096	
資料内容	逆瀬川砂防工事竣工後の写真。 裏面に「兵庫縣武庫川流域逆瀬川支流武庫郡良元村ノ内小林村字千石ヅリ砂防工事竣工後實況大正二年七月撮影」の文字有り。								
資料表面					資料裏面				
									
備考									

通番	朝鮮-1	種別	写真（現場）、写真（スナップ）		資料名	朝鮮地方		
形態	アルバム		寸法		色	黒	保存状態	一部写真剥離あり
総ページ数	72	総写真（図面）枚数	189	写真数/1 p	1 他		写真・図面サイズ	縦 112 mm横 156 mm
被写体	国・県・地域名		朝鮮		被写体年次		大正 12 年～	
資料内容	山腹工、砂防堰堤写真。スナップ写真。 1 ページ当たりの写真枚数は、不規則。最大 6 枚。							
資料（アルバム）表紙状況					資料（アルバム）内写真整理状況			
								
備考								

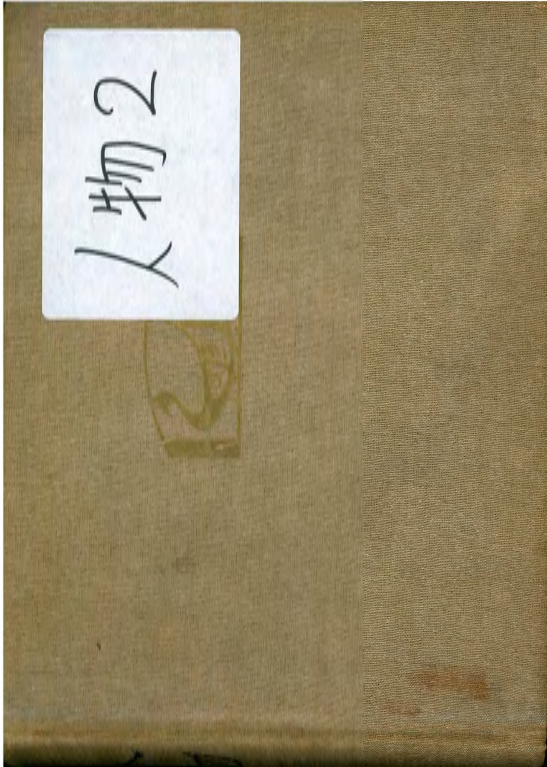
通番	朝鮮-2	種別	写真（現場）		資料名	朝鮮	
形態	アルバム		寸法	縦 130 mm 横 190 mm	色	茶	保存状態
総ページ数	18	総写真（図面）枚数	18	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦 110 mm 横 158 mm（綴り折）
被写体	国・県・地域名	朝鮮		被写体年次	大正 8 年		
資料内容	山腹工、砂防堰堤、洪水被害状況写真。						

資料（アルバム）表紙状況	資料（アルバム）内写真整理状況
	

備考	
----	--

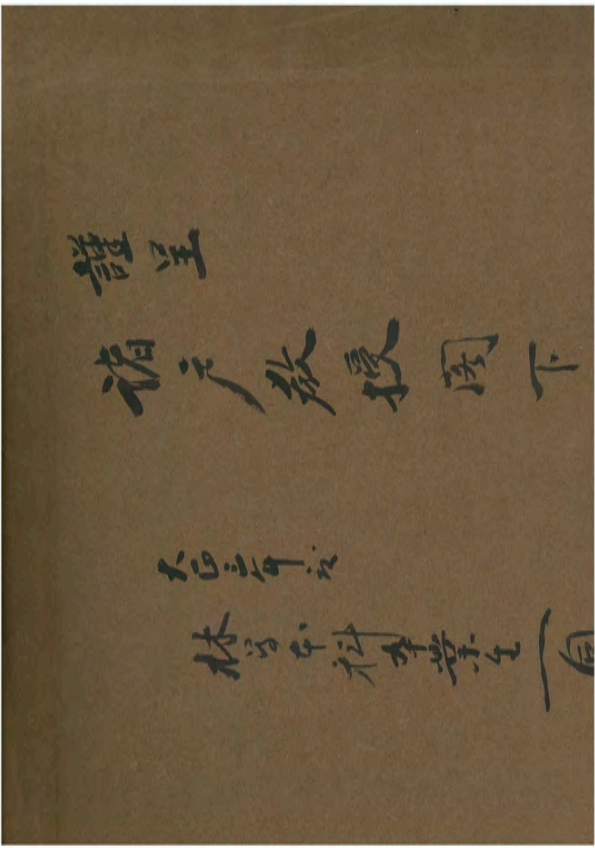
通番	朝鮮-3	種別	写真（現場）			資料名	朝鮮演習林				
形態	アルバム		寸法		縦 185 mm横 295 mm	色	茶	保存状態			
総ページ数	13	総写真（図面）枚数	26	写真数/1 p	写真・図面サイズ 縦 106 mm 横 152 mm						
被写体	国・県・地域名		朝鮮		被写体年次	大正 7 年 ID:1307～1332					
資料内容		演習林写真。									
資料（アルバム）表紙状況						資料（アルバム）内写真整理状況					
											
備考											

通番	人物・1	種別	写真（スナップ）			資料名	人物				
形態	アルバム		寸法		縦185 mm横295 mm	色	茶	保存状態			
総ページ数	27	総写真（図面）枚数	78	写真数/1 p			2他	写真・図面サイズ	縦106 mm横148 mm、		
被写体	国・県・地域名	日本				被写体年次		大正15年～	ID:1333～1410		
資料内容		スナップ写真。 1ページ当たりの写真枚数は、不規則。最大6枚。									
資料（アルバム）表紙状況				資料（アルバム）内写真整理状況							
											
備考											

通番	人物-2	種別	写真（スナップ）			資料名		人物	
形態	アルバム		寸法		縦 190 mm横 260 mm	色	茶	保存状態	
総ページ数	8	総写真（図面）枚数	30	写真数/1 p	4 他		写真・図面サイズ		縦 110 mm横 157 mm、
被写体	国・県・地域名	日本	被写体年次		昭和 3 年～		ID:1411～1440		
資料内容	スナップ写真。 1 ページ当たりの写真枚数は、不規則。最大 5 枚。								
資料（アルバム）表紙状況			資料（アルバム）内写真整理状況						
									
備考									

通番	人物・3	種別	写真（スナップ）			資料名	集合写真1		
形態	写真台紙貼り		寸法		縦340 mm横420 mm	色	茶	保存状態	台紙に破れあり。
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p		1		写真・図面サイズ	縦220 mm 横270 mm、
		日本				被写体年次		大正3年	ID:1441

資料内容	白色の建物前における集合写真。裏面に「謹呈諸戸教授閣下大正三年林学卒業生一同」の文字有り。
------	---



備考

通番	人物-4	種別	写真（スナップ）		資料名	集合写真2			
形態	写真台紙貼り		寸法		色	薄茶	保存状態		
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1p	縦340mm横420mm	1	写真・図面サイズ	縦220mm 横270mm、	
被写体	国・県・地域名	日本			被写体年次	不明		ID:1442	
資料内容	屋内における集合写真。写真内に「第八回荒廃地復旧技術講習会」の文字有り。								
資料（アルバム）内写真整理状況									



備考

通番	人物-5	種別	写真（スナップ）	資料名	集合写真 3			
形態	写真台紙貼り			色	薄茶	保存状態		
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	寸法	縦 335 mm横 405 mm	写真数/1 p		
被写体	国・県・地域名	日本		被写体年次	不明	写真・図面サイズ	縦 210 mm 横 270 mm、 ID:1443	
資料内容	建物前における集合写真。							
資料（アルバム）内写真整理状況								



備考

通番	人物-6	種別	写真（スナップ）			資料名	集合写真 4		
形態	写真台紙貼り		寸法		縦 340 mm 横 420 mm	色	薄茶	保存状態	
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p		1	写真・図面サイズ		縦 210 mm 横 270 mm、
被写体	国・県・地域名	日本				被写体年次		不明 ID:1444	
資料内容	森林前広場における集合写真。								
資料（アルバム）内写真整理状況									

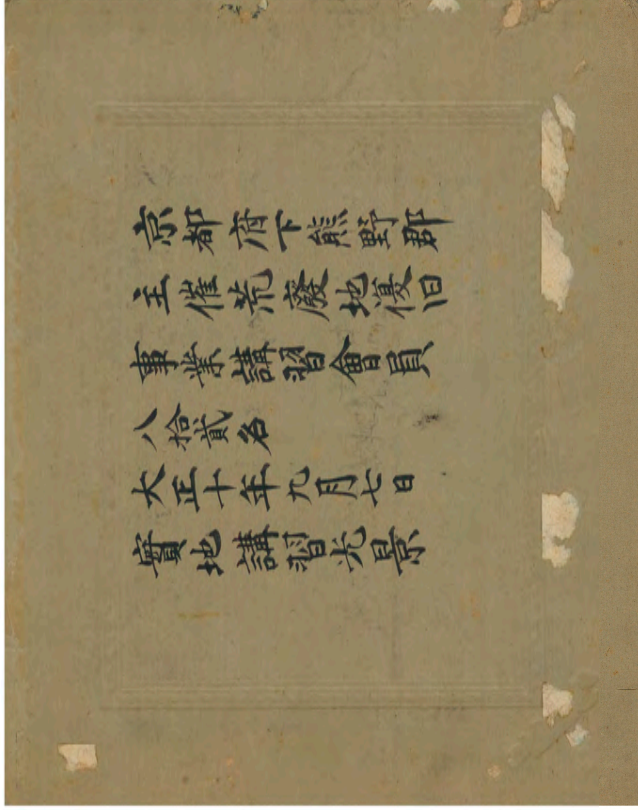


備考

通番	人物-7	種別	写真（スナップ）			資料名	集合写真 5				
形態	写真台紙貼り		寸法		縦 310 mm横 400 mm	色	薄茶	保存状態	写真の一部損傷あり。		
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/ 1 p	写真・図面サイズ						
被写体	国・県・地域名	日本			被写体年次		不明		ID:1445		
資料内容	建物前における集合写真。右側に「林学科」の文字有り。										
資料（アルバム）内写真整理状況											

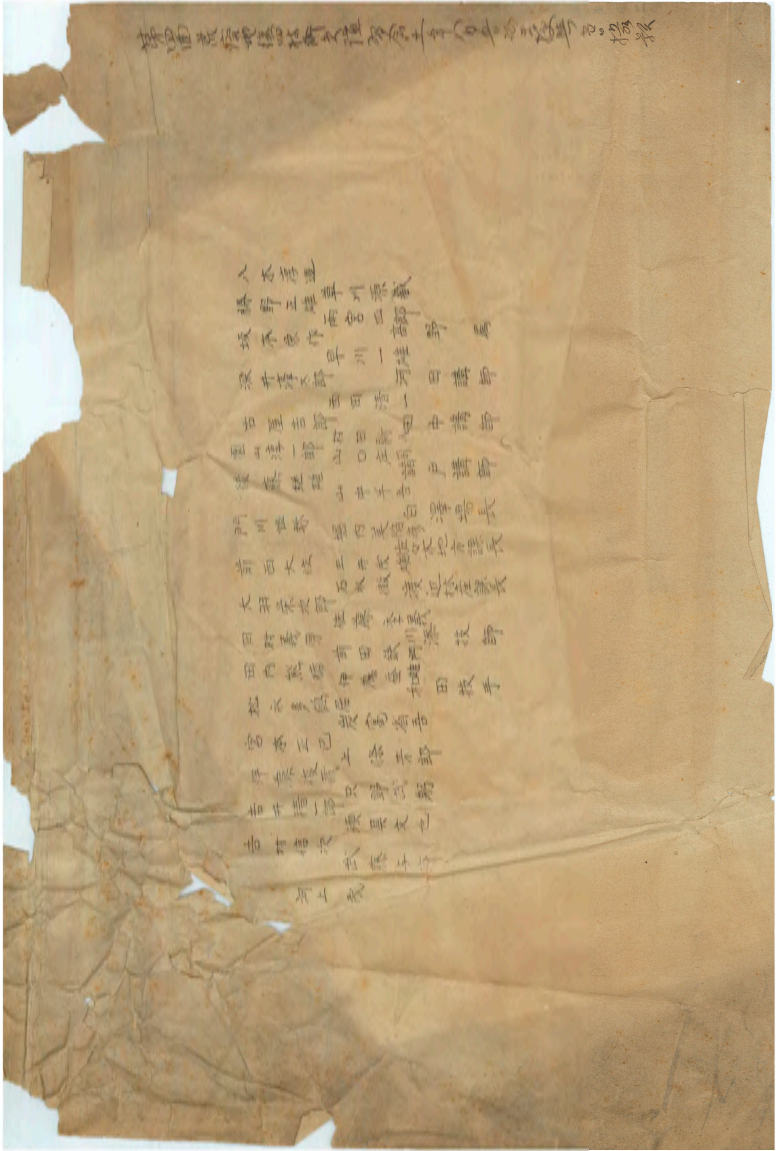


備考

通番	人物・8	種別	写真（スナップ）		資料名	集合写真6			
形態	写真台紙貼り		寸法	縦310 mm横400 mm	色	薄茶	保存状態	写真の一部損傷あり。	
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ	縦210 mm 横275 mm、		
被写体	国・県・地域名	日本			被写体年次	不明		ID:1446	
資料内容									
資料（アルバム）内写真整理状況									
 									
備考									

通番	人物-9	種別	写真（スナップ）		資料名	集合写真 7			
形態	写真台紙貼り		寸法		色	薄茶	保存状態	写真の一部損傷あり。	
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	写真数/1 p	1	1	写真・図面サイズ	縦 210 mm	横 275 mm、
被写体	国・県・地域名		日本		被写体年次		不明		
資料内容		ID:1447							
資料（アルバム）内写真整理状況									
									
備考									

通番	人物・10	種別	名簿	資料名	集合写真8			
形態	写真台紙貼り			色	薄茶	保存状態	写真の一部損傷あり。	
総ページ数	1	総写真（図面）枚数	1	寸法	縦310 mm横400 mm	写真数/1 p	1	写真・図面サイズ
被写体	国・県・地域名	日本		被写体年次	不明		縦210 mm 横275 mm、	
資料内容		ID:1448						
資料（アルバム）内写真整理状況								



備考

この冊子は、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構の「木村基金」の助成により作成されたものです。